

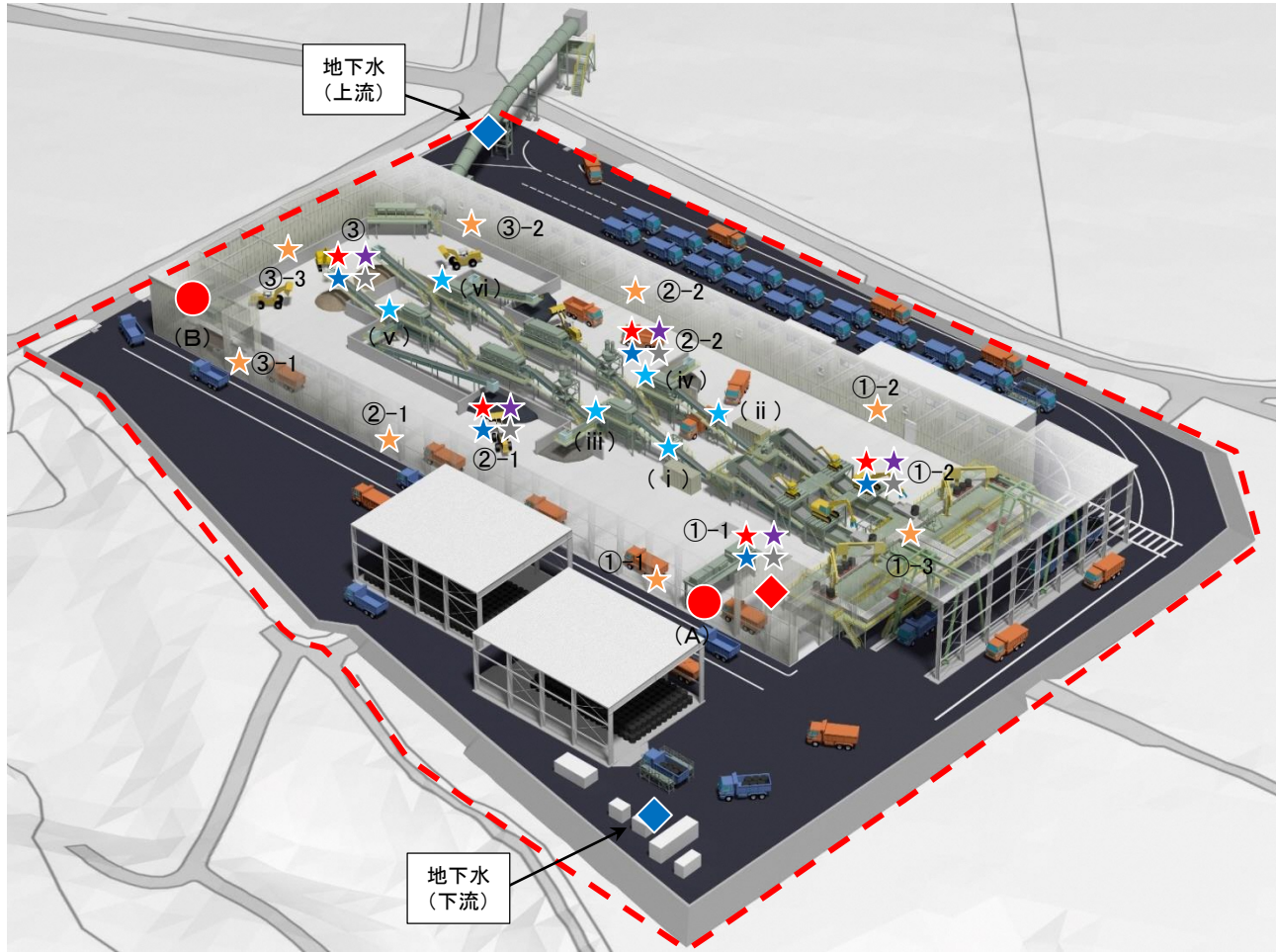


モニタリング等の状況の詳細について

2021年3月
環境省

受入・分別施設のモニタリング結果（月次測定）

受入・分別施設（大熊①工区）のモニタリング測定地点（月次測定）



★：施設の位置



【凡例】

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| ◆：地下水中の放射能濃度等 | ●：排気中の放射能濃度 | ◆：排水中の放射能濃度 |
| ★：粉じん濃度 | ★：空間線量率(作業環境) | ★：空気中の放射能濃度 |
| ★：表面汚染密度(床) | ★：表面汚染密度(壁) | ★：表面汚染密度(設備) |
| --- | --- | --- |

受入・分別施設（大熊①工区）のモニタリング測定結果（月次測定）

◆ 地下水中の放射能濃度等

測定日	測定地点	上流			下流		
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/10	(稼働前)	23	17	ND	27	5.9	ND
2020/7/9 ~2021/1/11	(稼働後)※	43	20	ND	50	21	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

● 排気中の放射能濃度

測定地点		2020/7/16 ~2021/1/21 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1Bq/m³、ドレン部：0.5Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆ 排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★ 粉じん濃度

測定地点	2020/7/9 ~2021/1/11 粉じん濃度※ (mg/m ³)
①-1	1.5
①-2	1.4
②-1	1.1
②-2	1.6
③	1.9

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

★ 空間線量率（作業環境）

測定地点	2020/7/2 ~2021/1/12 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
①-1	0.11	0.14
①-2	0.09	0.10
②-1	0.14	0.17
②-2	0.09	0.11
③	0.11	0.15

★ 空気中の放射能濃度

測定地点	2020/7/2~2021/1/12	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①-1	ND	ND
①-2	ND	ND
②-1	ND	ND
②-2	ND	ND
③	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

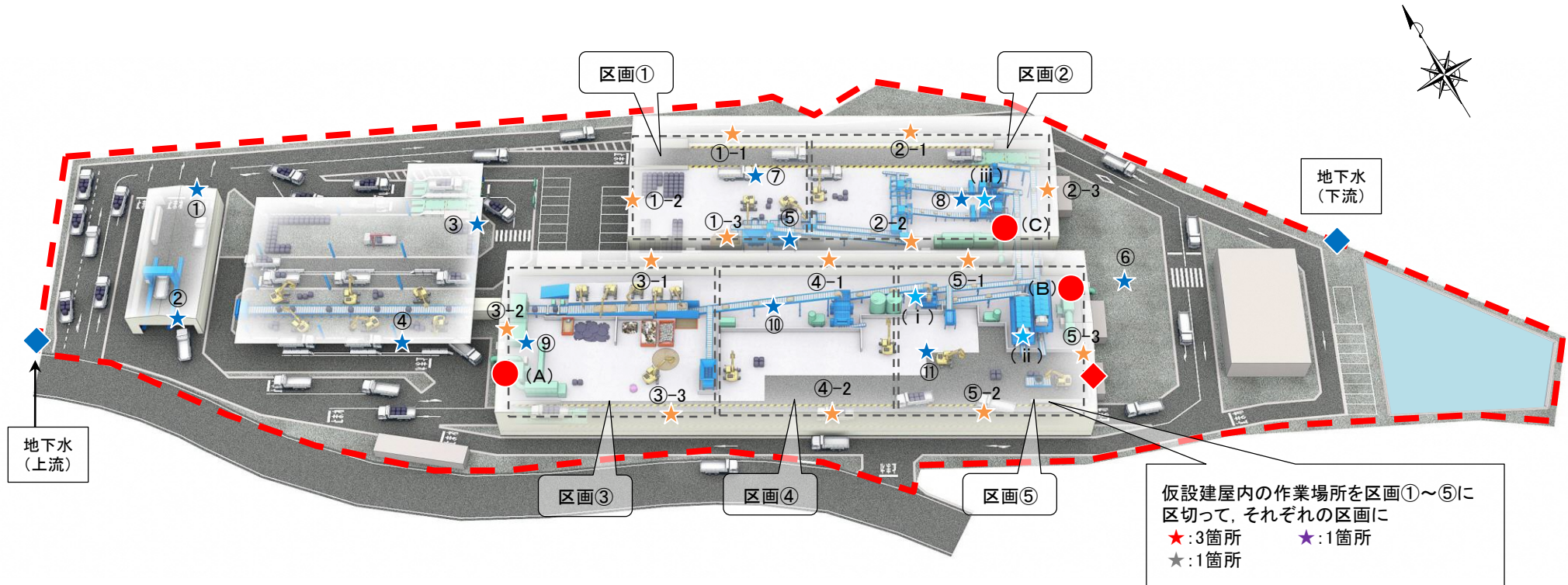
測定地点		2020/7/8 ~2021/1/13 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①-1	ND
	①-2	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	③	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	③-1	ND
設備	③-2	ND
	③-3	ND
	(i) 一次分別設備 (A)	ND
	(ii) 一次分別設備 (B)	ND
	(iii) 改質材添加装置 (A)	ND
	(iv) 改質材添加装置 (B)	ND
(v) 二次分別設備 (A)	ND	
(vi) 二次分別設備 (B)	ND	

表面汚染密度検出下限値：0.40Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設（大熊②工区、第1期）のモニタリング測定地点（月次測定）



【凡例】

- ◆ : 地下水中の放射能濃度等
- ★ : 粉じん濃度
- ★ : 表面汚染密度(床)
- : 敷地境界線
- : 排気中の放射能濃度
- ★ : 空間線量率(作業環境)
- ★ : 表面汚染密度(壁)
- ◆ : 排水中の放射能濃度
- ☆ : 空気中の放射能濃度
- ★ : 表面汚染密度(設備)

★ : 施設の位置



受入・分別施設（大熊②工区、第1期）のモニタリング測定結果（月次測定）

◆地下水中の放射能濃度等

測定日	測定地点	上流			下流		
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2017/7/7	(稼働前)	12	5.1	ND	11	7.2	ND
2020/7/2 ~2021/1/7	(稼働後) ※	28	10	ND	17	16	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点		2020/7/3 ~2021/1/8 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2Bq/m³、ドレン部：0.7Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

◆排水中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2020/12/10	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2020/7/3 ~2021/1/8 粉じん濃度※ (mg/m ³)
①-1	1.1
①-2	1.7
①-3	1.7
②-1	1.6
②-2	1.7
②-3	1.3
③-1	1.5
③-2	2.5
③-3	2.6
④-1	3.4
④-2	5.6
④-3	5.4
⑤-1	4.8
⑤-2	6.0
⑤-3	4.9

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2020/7/10 ~2021/1/15 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
①	0.17	0.19
②	0.16	0.21
③	0.15	0.49
④	0.25	0.35
⑤	0.17	0.19
⑥	0.17	0.22
⑦	0.33	0.58
⑧	0.14	0.18
⑨	0.12	0.17
⑩	0.17	0.38
⑪	0.14	0.30

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/7/10~2021/1/15	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①	ND	ND
②	ND	ND
③	ND	ND
④	ND	ND
⑤	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0×10⁻²Bq/cm³、セシウム137：1.0×10⁻²Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

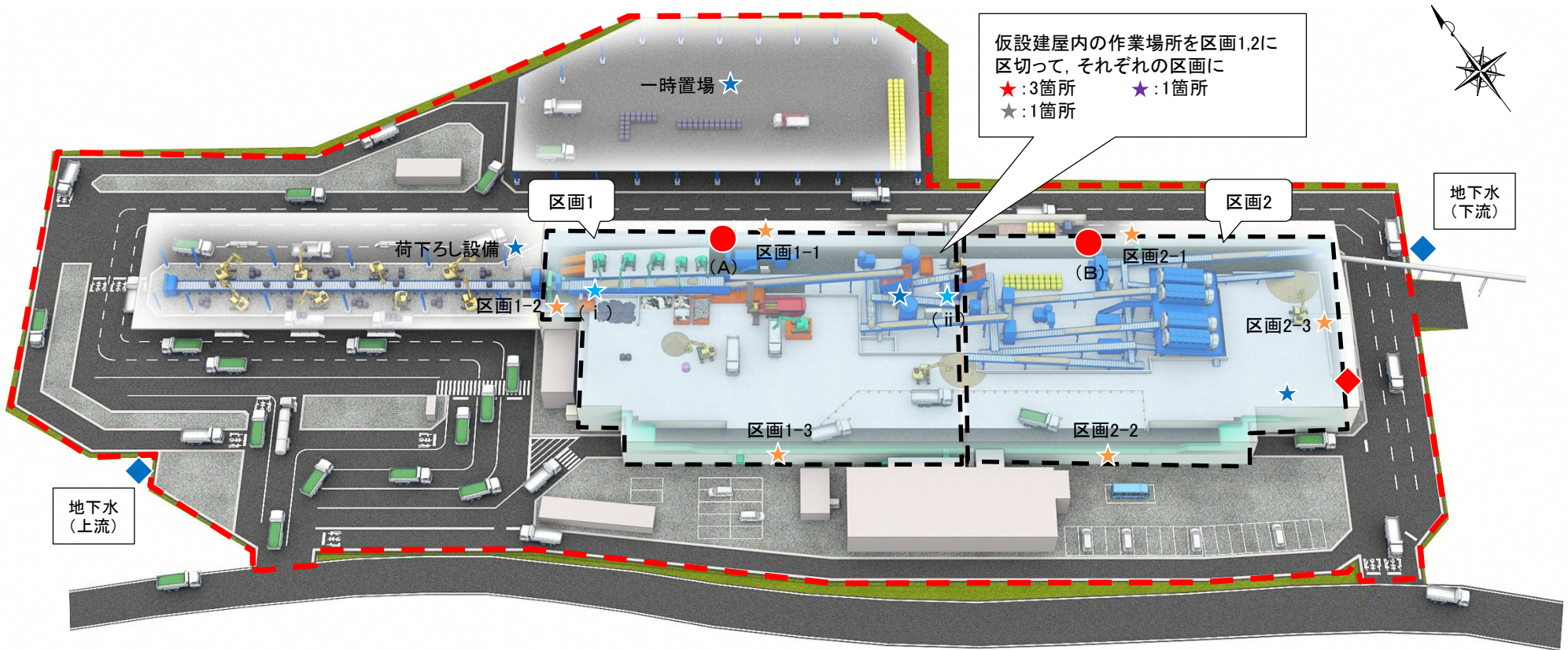
測定地点		2020/7/10 ~2021/1/15 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	④-1	ND
	④-2	ND
	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	設備	(i) 改質設備
(ii) 二次分別設備		ND
(iii) 濃度測定設備		ND

表面汚染密度検出下限値：0.14Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設（大熊②工区、第2期）のモニタリング測定地点（月次測定）



仮設建屋内の作業場所を区画1,2に区切って、それぞれの区画に
 ★:3箇所 ☆:1箇所
 ☆:1箇所

地下水
(上流)

地下水
(下流)

【凡例】

★:施設の位置

- ◆ : 地下水中の放射能濃度等
- : 排気中の放射能濃度
- ◆ (red) : 排水中の放射能濃度
- ★ (red) : 粉じん濃度
- ★ (blue) : 空間線量率(作業環境)
- ★ (purple) : 空気中の放射能濃度
- ★ (grey) : 表面汚染密度(床)
- ★ (orange) : 表面汚染密度(壁)
- ★ (light blue) : 表面汚染密度(設備)
- - - : 敷地境界線



受入・分別施設（大熊②工区、第2期）のモニタリング測定結果（月次測定）

◆地下水中の放射能濃度等

測定日	測定地点	上流			下流		
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2018/6/13	(稼働前)	11	9.0	ND	7.9	6.2	ND
2020/7/2 ~2021/1/7	(稼働後) ※	15	17	ND	7.9	8.3	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点		2020/7/2 ~2021/1/7 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1Bq/m³、ドレン部：0.5Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

◆排水中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2020/9/15 ~2020/12/18	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2020/7/3 ~2021/1/8 粉じん濃度※ (mg/m ³)
区画1-1	3.3
区画1-2	2.6
区画1-3	6.0
区画2-1	4.1
区画2-2	5.7
区画2-3	5.3

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2020/7/10 ~2021/1/15 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
区画1	0.07	0.11
区画2	0.09	0.15
荷下ろし設備	0.20	0.25
一時置場	0.15	0.21

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/7/10~2021/1/15	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
区画1	ND	ND
区画2	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

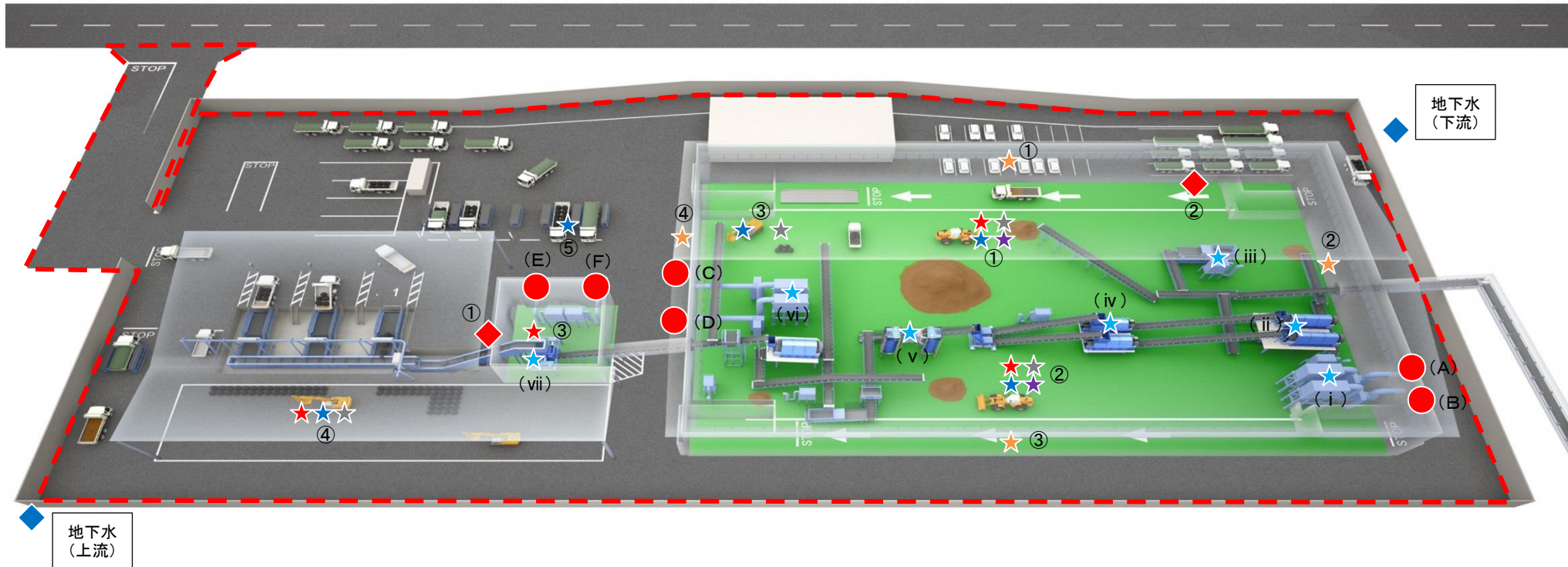
測定地点		2020/7/10 ~2021/1/15 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	区画1	ND
	区画2	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
設備	(i) 破袋機操作盤	ND
	(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設（大熊③工区）のモニタリング測定地点（月次測定）



地下水
(上流)

地下水
(下流)

【凡例】

★：施設の位置

◆：地下水中の放射能濃度等

●：排気中の放射能濃度

◆：排水中の放射能濃度

★：粉じん濃度

★：空間線量率(作業環境)

★：空気中の放射能濃度

★：表面汚染密度(床)

★：表面汚染密度(壁)

★：表面汚染密度(設備)

---：敷地境界線



受入・分別施設（大熊③工区）のモニタリング測定結果（月次測定）

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目	上流			下流		
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/6	(稼働前)	17	7.5	ND	17	22	ND
2020/7/2 ~2021/1/7	(稼働後)※	23	16	ND	15	22	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点		2020/7/7 ~2021/1/19 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機F	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.3Bq/m³、ドレン部：0.6Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≤1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2020/7/3 ~2021/1/8 粉じん濃度※ (mg/m ³)
①	3.6
②	4.6
③	2.8
④	1.3

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2020/7/3 ~2021/1/8 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
①	0.20	0.27
②	0.20	0.24
③	0.17	0.20
④	0.21	0.24
⑤	0.19	0.25

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/7/3~2021/1/8	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①	ND	ND
②	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

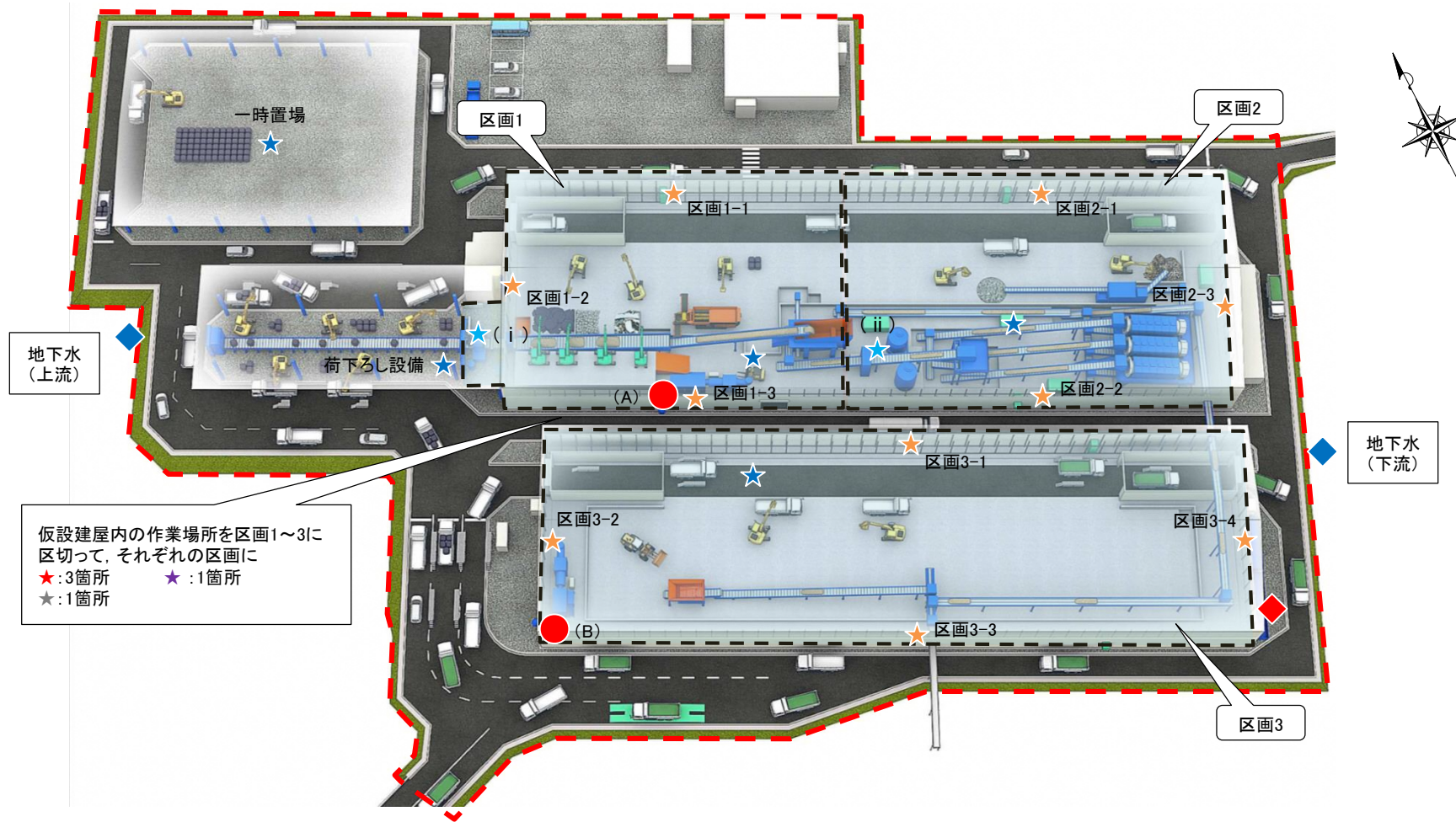
測定地点		2020/7/3 ~2021/1/8 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
設備	(i) 集じん機②	ND
	(ii) 分別機	ND
	(iii) 集じん機①	ND
	(iv) ベルトコンベア	ND
	(v) 改質材貯留サイロ	ND
	(vi) 集じん機③	ND
	(vii) 破袋機	ND

表面汚染密度検出下限値：0.72Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設（大熊④工区）のモニタリング測定地点（月次測定）



仮設建屋内の作業場所を区画1～3に区切って、それぞれの区画に
 ★: 3箇所 ☆: 1箇所
 ☆: 1箇所

★: 施設の位置



- 【凡例】**
- ◆ : 地下水中の放射能濃度等
 - : 排気中の放射能濃度
 - ◆ : 排水中の放射能濃度
 - ★ : 粉じん濃度
 - ★ : 空間線量率(作業環境)
 - ★ : 空気中の放射能濃度
 - ★ : 表面汚染密度(床)
 - ★ : 表面汚染密度(壁)
 - ★ : 表面汚染密度(設備)
 - - - : 敷地境界線

受入・分別施設（大熊④工区）のモニタリング測定結果（月次測定）

◆地下水中の放射能濃度等

測定日	測定地点	上流			下流		
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2019/7/24	(稼働前)	12	8.1	ND	14	5.0	ND
2020/7/2 ~2021/1/7	(稼働後)※	31	7.7	ND	20	12	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点		2020/7/1 ~2021/1/6 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1Bq/m³、ドレン部：0.5Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≤1

◆排水中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2020/7/10 ~2021/1/20	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

★粉じん濃度

測定地点	2020/7/1 ~2021/1/6 粉じん濃度※ (mg/m ³)
区画1-1	0.2
区画1-2	4.5
区画1-3	3.8
区画2-1	3.3
区画2-2	5.3
区画2-3	4.8
区画3-1	2.2
区画3-2	2.3
区画3-3	2.2

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2020/7/10 ~2021/1/15 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
区画1	0.20	0.28
区画2	0.18	0.24
区画3	0.28	0.31
荷下ろし設備	0.29	0.43
一時置場	0.45	0.58

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/7/10~2021/1/15	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
区画1	ND	ND
区画2	ND	ND
区画3	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

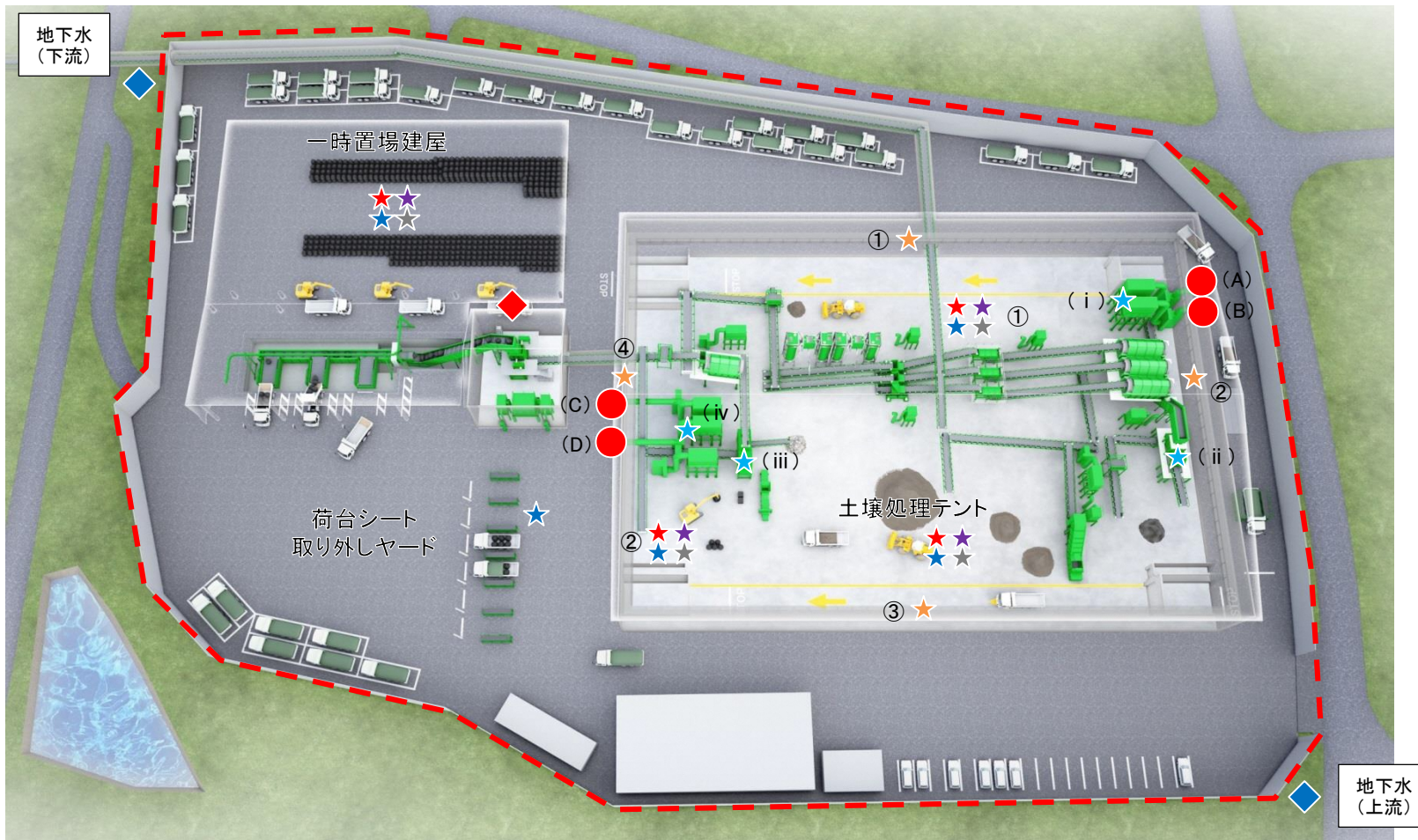
測定地点		2020/7/10 ~2021/1/15 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
床	区画1	ND	
	区画2	ND	
	区画3	ND	
壁	区画1-1	ND	
	区画1-2	ND	
	区画1-3	ND	
	区画2-1	ND	
	区画2-2	ND	
	区画2-3	ND	
	区画3-1	ND	
	区画3-2	ND	
	区画3-3	ND	
	区画3-4	ND	
	設備	(i) 破袋機操作盤	ND
		(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設（大熊⑤工区）のモニタリング測定地点（月次測定）



★：施設の位置



【凡例】

- ◆：地下水中の放射能濃度等
- ：排気中の放射能濃度
- ◆：排水中の放射能濃度
- ★：粉じん濃度
- ★：空間線量率（作業環境）
- ★：空気中の放射能濃度
- ★：表面汚染密度（床）
- ★：表面汚染密度（壁）
- ★：表面汚染密度（設備）
- - -：敷地境界線

受入・分別施設（大熊⑤工区）のモニタリング測定結果（月次測定）

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点 測定項目	上流			下流		
	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2019/7/26 (稼働前)	16	20	ND	21	10	ND
2020/7/2 ~2021/1/12 (稼働後)※	16	23	ND	22	19	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点		2020/7/8 ~2021/1/12 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2Bq/m³、ドレン部：1.0Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≤1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2020/7/8 ~2021/1/12 粉じん濃度※ (mg/m ³)
①	7.3
②	3.6
土壌処理テント	5.8
一時置場建屋	0.2

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2020/7/8 ~2021/1/12 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
①	0.24	0.28
②	0.35	0.44
土壌処理テント	0.39	0.45
一時置場建屋	0.33	0.43
荷台シート取り外しヤード	0.48	0.59

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/7/8~2021/1/12	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①	ND	ND
②	ND	ND
土壌処理テント	ND	ND
一時置場建屋	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

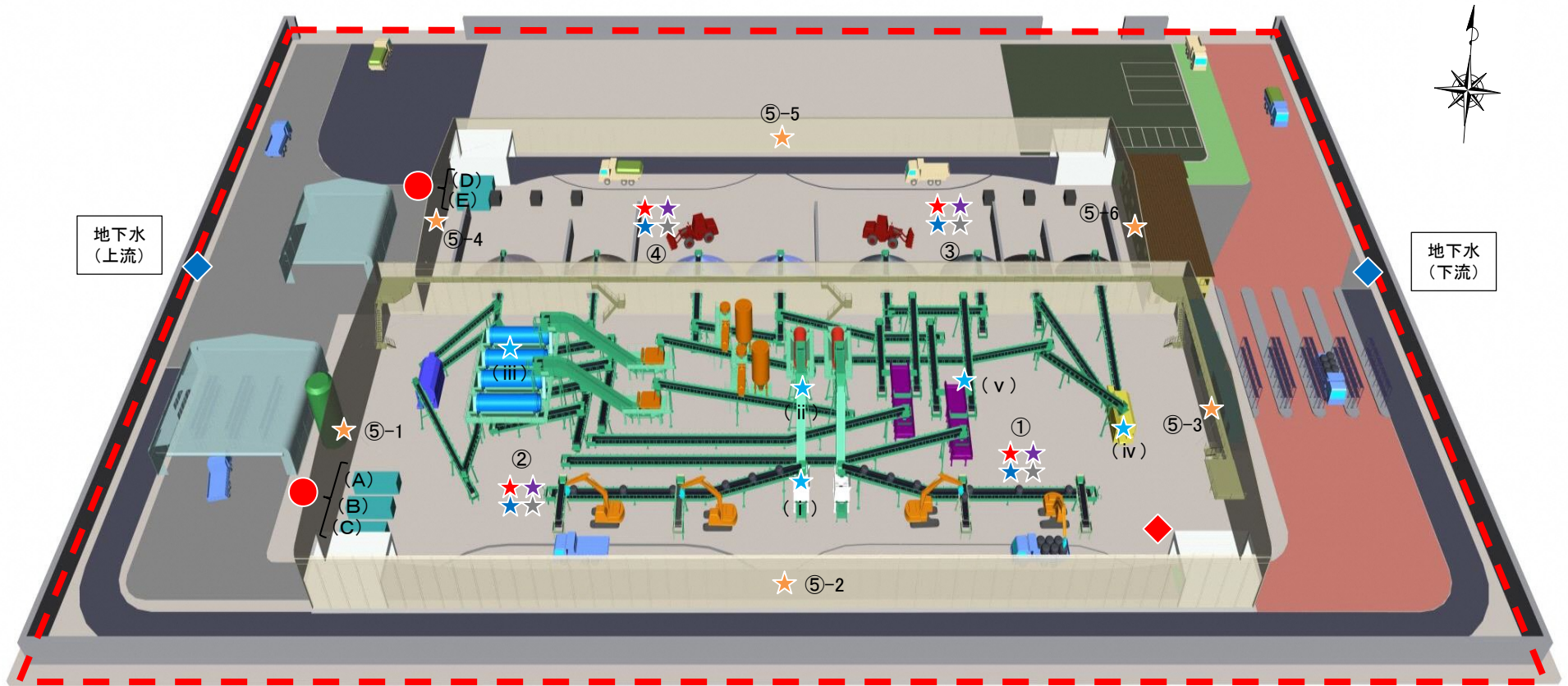
測定地点		2020/7/8 ~2021/1/12 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	土壌処理テント	ND
	一時置場建屋	ND
壁	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
設備	(i) 集じん機No.14,15	ND
	(ii) ベルトセパレータ	ND
	(iii) バリセパレータ	ND
	(iv) 集じん機No.12,13	ND

表面汚染密度検出下限値：0.80Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設（双葉①工区、第1期）のモニタリング測定地点（月次測定）



★：施設の位置



【凡例】

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| ◆：地下水中の放射能濃度等 | ●：排気中の放射能濃度 | ◆：排水中の放射能濃度 |
| ★：粉じん濃度 | ★：空間線量率(作業環境) | ★：空気中の放射能濃度 |
| ★：表面汚染密度(床) | ★：表面汚染密度(壁) | ★：表面汚染密度(設備) |
| ---：敷地境界線 | | |

受入・分別施設（双葉①工区、第1期）のモニタリング測定結果（月次測定）

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点 測定項目 測定日	上流			下流		
	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2017/6/1 (稼働前)	46	54	ND	49	30	ND
2020/7/2 ~2021/1/6 (稼働後)※	68	47	ND	35	34	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点		2020/7/6 ~2021/1/12 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2Bq/m³、ドレン部：0.6Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≤1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2020/7/14 ~2021/1/14 粉じん濃度※ (mg/m ³)
①受入 東	1.9
②受入 西	6.2
③搬出 東	1.6
④搬出 西	1.4

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2020/7/14 ~2021/1/14 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
①受入 東	0.29	0.32
②受入 西	0.18	0.22
③搬出 東	0.13	0.18
④搬出 西	0.19	0.21

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/7/14~2021/1/14	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①受入 東	ND	ND
②受入 西	ND	ND
③搬出 東	ND	ND
④搬出 西	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：4.0×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：3.0×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点		2020/7/7 ~2021/1/7 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①受入 東	ND
	②受入 西	ND
	③搬出 東	ND
	④搬出 西	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND
	(v) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.73Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設（双葉①工区、第2期）のモニタリング測定地点（月次測定）



★: 施設の位置

【凡例】

- | | | |
|-----------------|-----------------|----------------|
| ◆ : 地下水中の放射能濃度等 | ● : 排気中の放射能濃度 | ◆ : 排水中の放射能濃度 |
| ★ : 粉じん濃度 | ★ : 空間線量率(作業環境) | ★ : 空気中の放射能濃度 |
| ★ : 表面汚染密度(床) | ★ : 表面汚染密度(壁) | ★ : 表面汚染密度(設備) |
| --- : 敷地境界線 | | |

受入・分別施設（双葉①工区、第2期）のモニタリング測定結果（月次測定）

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点 測定項目	上流			下流		
	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/3 (稼働前)	34	9.7	ND	47	12	ND
2020/7/2 ~2021/1/6 (稼働後) ※	41	24	ND	29	18	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点		2020/7/13 ~2021/1/18 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機F	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2Bq/m³、ドレン部：0.6Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≤1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2020/7/9 ~2021/1/19 粉じん濃度※ (mg/m ³)
①搬出 西	2.5
②搬出 東	1.7
③受入 西	3.9
④受入 東	7.9

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2020/7/9 ~2021/1/19 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
①搬出 西	0.10	0.13
②搬出 東	0.11	0.19
③受入 西	0.08	0.09
④受入 東	0.07	0.08

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/7/9~2021/1/19	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①搬出 西	ND	ND
②搬出 東	ND	ND
③受入 西	ND	ND
④受入 東	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：3.0×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：3.0×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

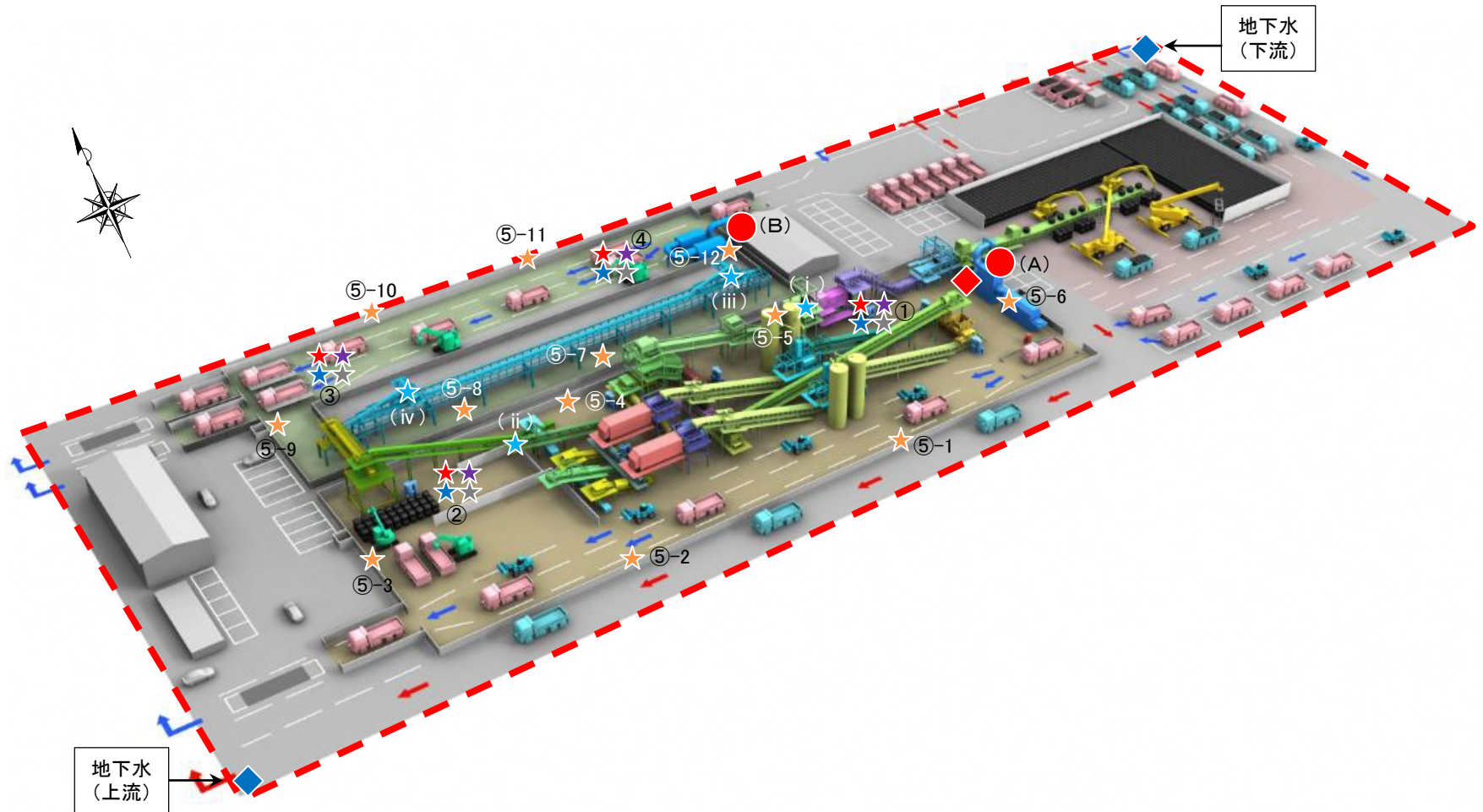
測定地点		2020/7/25 ~2021/1/23 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①搬出 西	ND
	②搬出 東	ND
	③受入 西	ND
	④受入 東	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.68Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設（双葉②工区）のモニタリング測定地点（月次測定）



★: 施設の位置



【凡例】

- | | | |
|-----------------|-----------------|----------------|
| ◆ : 地下水中の放射能濃度等 | ● : 排気中の放射能濃度 | ◆ : 排水中の放射能濃度 |
| ★ : 粉じん濃度 | ★ : 空間線量率(作業環境) | ★ : 空気中の放射能濃度 |
| ★ : 表面汚染密度(床) | ★ : 表面汚染密度(壁) | ★ : 表面汚染密度(設備) |
| --- : 敷地境界線 | | |

受入・分別施設（双葉②工区）のモニタリング測定結果（月次測定）

◆地下水中の放射能濃度等

測定日	測定地点	上流			下流		
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2019/1/17	(稼働前)	47	10	ND	26	12	ND
2020/7/1 ~2021/1/7	(稼働後)※	54	14	ND	40	20	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点		2020/7/1 ~2021/1/7 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2Bq/m³、ドレン部：1.0Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≤1

◆排水中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2020/7/1 ~2020/10/12	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

★粉じん濃度

測定地点	2020/7/1 ~2021/1/7 粉じん濃度※ (mg/m ³)
①	2.5
②	3.6
③	2.5
④	1.5

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2020/7/1 ~2021/1/7 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
①	0.09	0.12
②	0.11	0.15
③	0.18	0.22
④	0.16	0.19

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/7/1~2021/1/7	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①	ND	ND
②	ND	ND
③	ND	ND
④	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点		2020/7/1 ~2021/1/7 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
	⑤-7	ND
	⑤-8	ND
	⑤-9	ND
	⑤-10	ND
	⑤-11	ND
	⑤-12	ND
設備	(i) 破袋機	ND
	(ii) 20mmφボア集塵機	ND
	(iii) トリッパーコンベア	ND
	(iv) トリッパーコンベア	ND

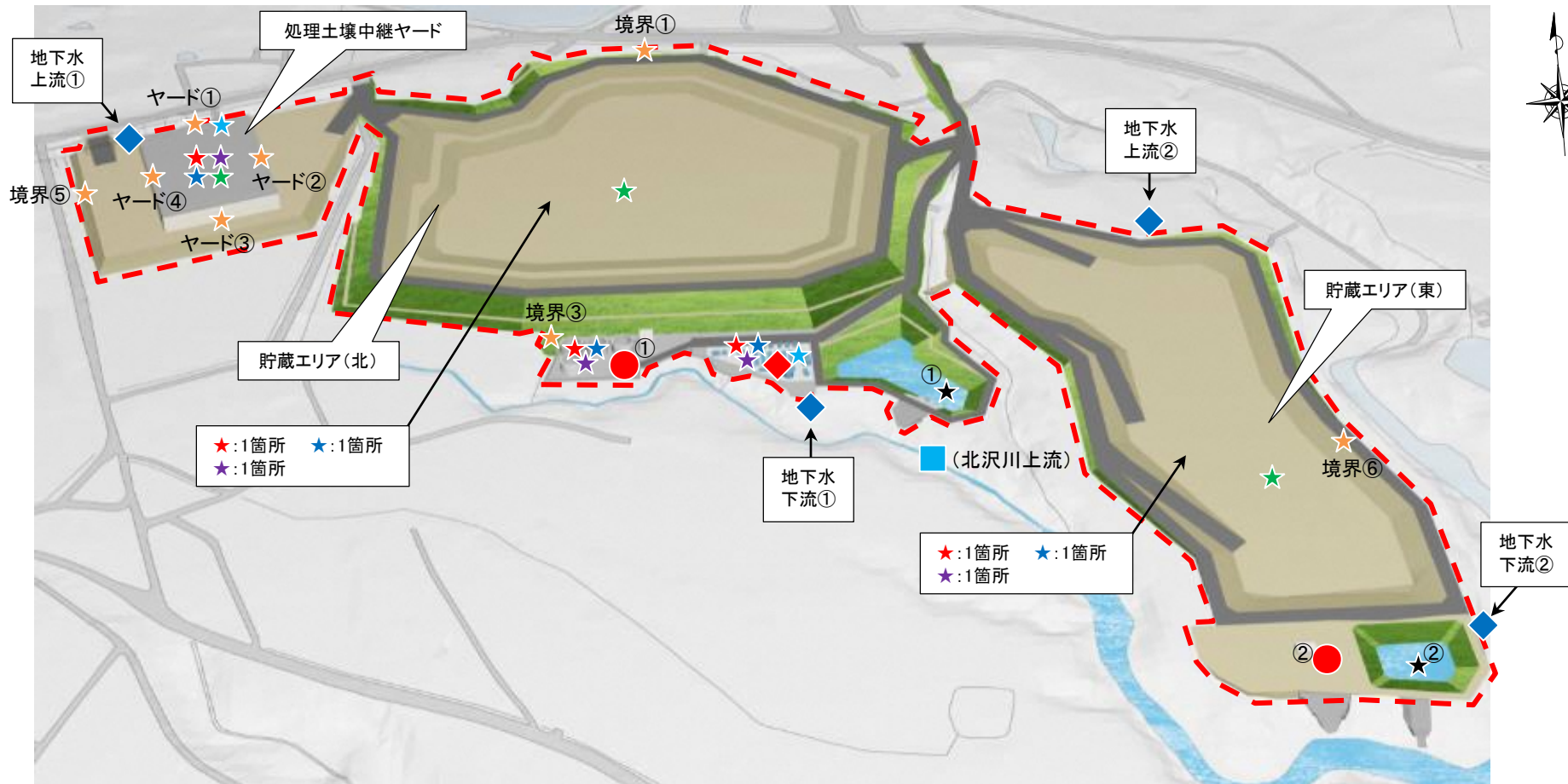
表面汚染密度検出下限値：0.70Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設のモニタリング結果（月次測定等）

土壌貯蔵施設（大熊①工区）のモニタリング測定地点（月次測定等）



【凡例】

★：施設の位置

- ◆：地下水(井戸)中の電気伝導率等、放射能濃度
- ★：沈砂池からの放流水の浮遊物質
- ☆：空間線量率(作業環境)
- ☆：表面汚染密度(設備)
- ：地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- ：放流先河川の放射能濃度
- ☆：空気中の放射能濃度
- ☆：表面汚染密度(重機)
- ◆：浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★：粉じん濃度
- ☆：表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)
-

土壌貯蔵施設（大熊①工区）のモニタリング測定結果（月次測定等）

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点	測定項目	上流①		上流②		下流①		下流②	
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
2018/7/11 (上流①、下流①)	(稼働前)	240	8.1	110	25	32	9.5	42	23
2020/2/24 (上流②、下流②)									
2020/7/8	(稼働後) ※	160	11	93	14	150	9.1	31	9.9
~2021/1/12									

※期間中の最大値を示す。

◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定地点	測定項目	上流①		上流②		下流①		下流②	
		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11 (上流①、下流①)	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
2020/2/24 (上流②、下流②)									
2020/7/1	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
~2021/1/25									

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
集排水設備①	2018/7/11	(稼働前)	ND
	2020/7/8 ~2021/1/11	(稼働後)	ND
集排水設備②	2020/3/5	(稼働前)	ND
	2020/7/8 ~2021/1/12	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目		水素イオン濃度 (pH)		生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
	最小値	最大値	7.2	7.8	1.0~3.7	20~58	5~30
2020/7/8 ~2021/1/12							

pH基準：5.8~8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2020/7/1 ~2021/1/25		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2020/7/1 ~2021/1/14	546	0.0	4.9	ND	17225

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値 (6.5Bq/L) 未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定地点	測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) ※1 (mg/L)
沈砂池①	2020/7/8 ~2021/1/11		18
沈砂池② ※2	2020/7/20 ~2020/11/9		59

SS基準：60mg/L

浮遊物質 (SS) の報告下限値：1mg/L

※1 期間中の最大値を示す。

※2 沈砂池②：12月、1月は放流実績がないため測定なし。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)		ND	ND
2020/7/9 ~2021/1/11	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度 [Bq/L] の基準：セシウム134の濃度 / 60 + セシウム137の濃度 / 90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	測定日	粉じん濃度 ※ (mg/m³)
貯蔵エリア (北)	2020/7/8 ~2021/1/12	1.2
貯蔵エリア (東)		ND
浸出水調整設備		0.2
浸出水処理設備		0.1
処理土壌中継ヤード		3.5

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日	空間線量率 (µSv/h)	
		最小値	最大値
貯蔵エリア (北)	2020/7/7 ~2021/1/14	0.30	0.44
貯蔵エリア (東)		0.43	0.43
浸出水調整設備		0.26	0.28
浸出水処理設備		0.10	0.11
処理土壌中継ヤード		0.23	0.26

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/7/7~2021/1/14	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
貯蔵エリア (北)	ND	ND
貯蔵エリア (東)	ND	ND
浸出水調整設備	ND	ND
浸出水処理設備	ND	ND
処理土壌中継ヤード	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0×10⁻³Bq/cm³、セシウム137：1.0×10⁻³Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度 [Bq/cm³] の限度：セシウム134の濃度 / 2×10⁻³ + セシウム137の濃度 / 3×10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度（★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機）

測定地点	測定日	表面汚染密度 (Bq/cm²)		
貯蔵施設境界	①	ND		
	②	ND		
	③	ND		
	④	ND		
	⑤	ND		
	⑥	ND		
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	ND	
処理土壌中継ヤード	壁	①	ND	
		②	ND	
		③	ND	
		④	ND	
		⑤	Bq/L	
		⑥	ND	
	設備	ペリコン出口	ND	
		重機	タイヤショベル①	ND
			タイヤショベル②	ND
			バックホウ①	ND
貯蔵エリア (北)	重機	ローラー①	ND	
		ブルドーザー①	ND	
		バックホウ②	ND	
		ブルドーザー②	ND	
		バックホウ③	ND	
		バックホウ④	ND	
		バックホウ⑤	ND	
		バックホウ⑥	ND	
		バックホウ⑦	ND	
貯蔵エリア (東)	重機	バックホウ①	ND	
		ローラー①	ND	
		ブルドーザー①	ND	
		バックホウ②	ND	
		ブルドーザー②	ND	
バックホウ③	ND			
バックホウ④	ND			
バックホウ⑤	ND			

表面汚染密度検出下限値：0.40Bq/cm²

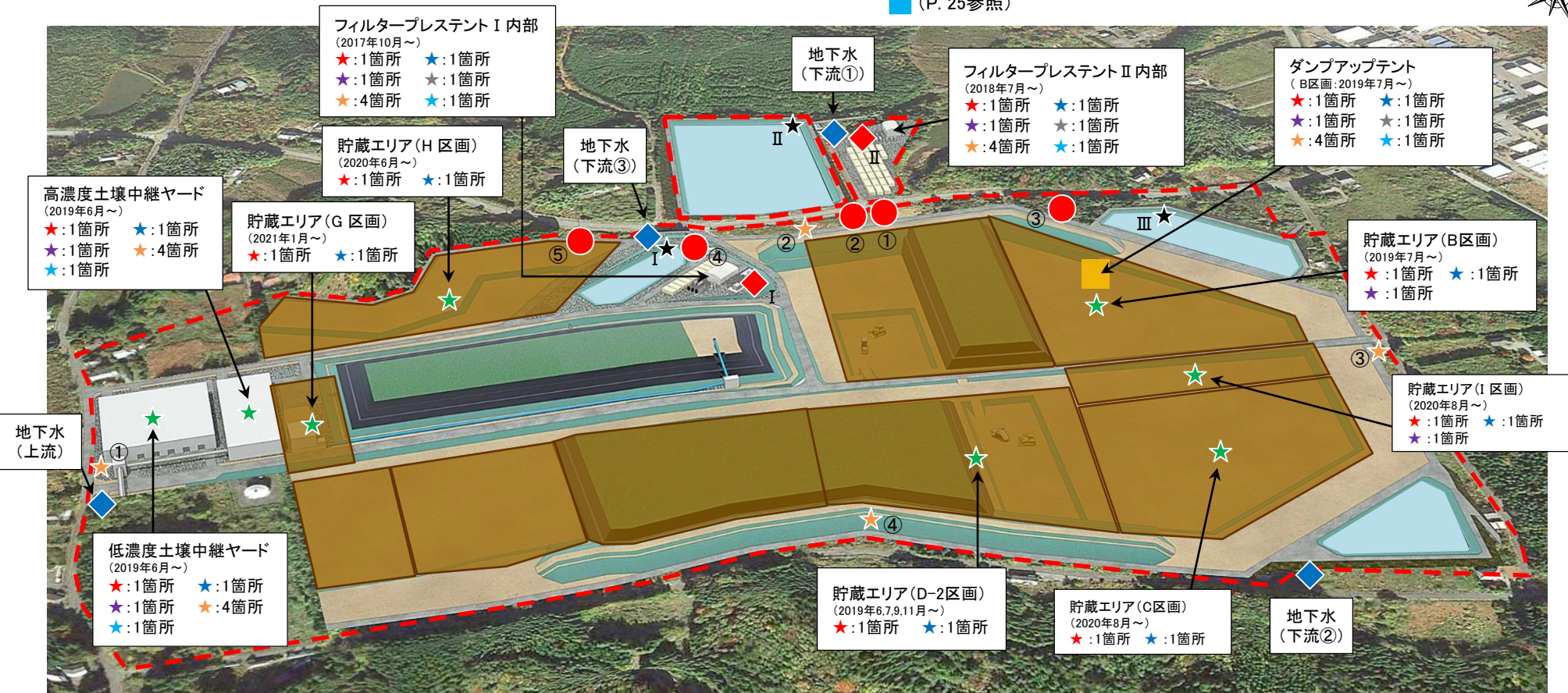
NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壤貯蔵施設（大熊②工区）のモニタリング測定地点（月次測定等）①



■ (P. 25参照)



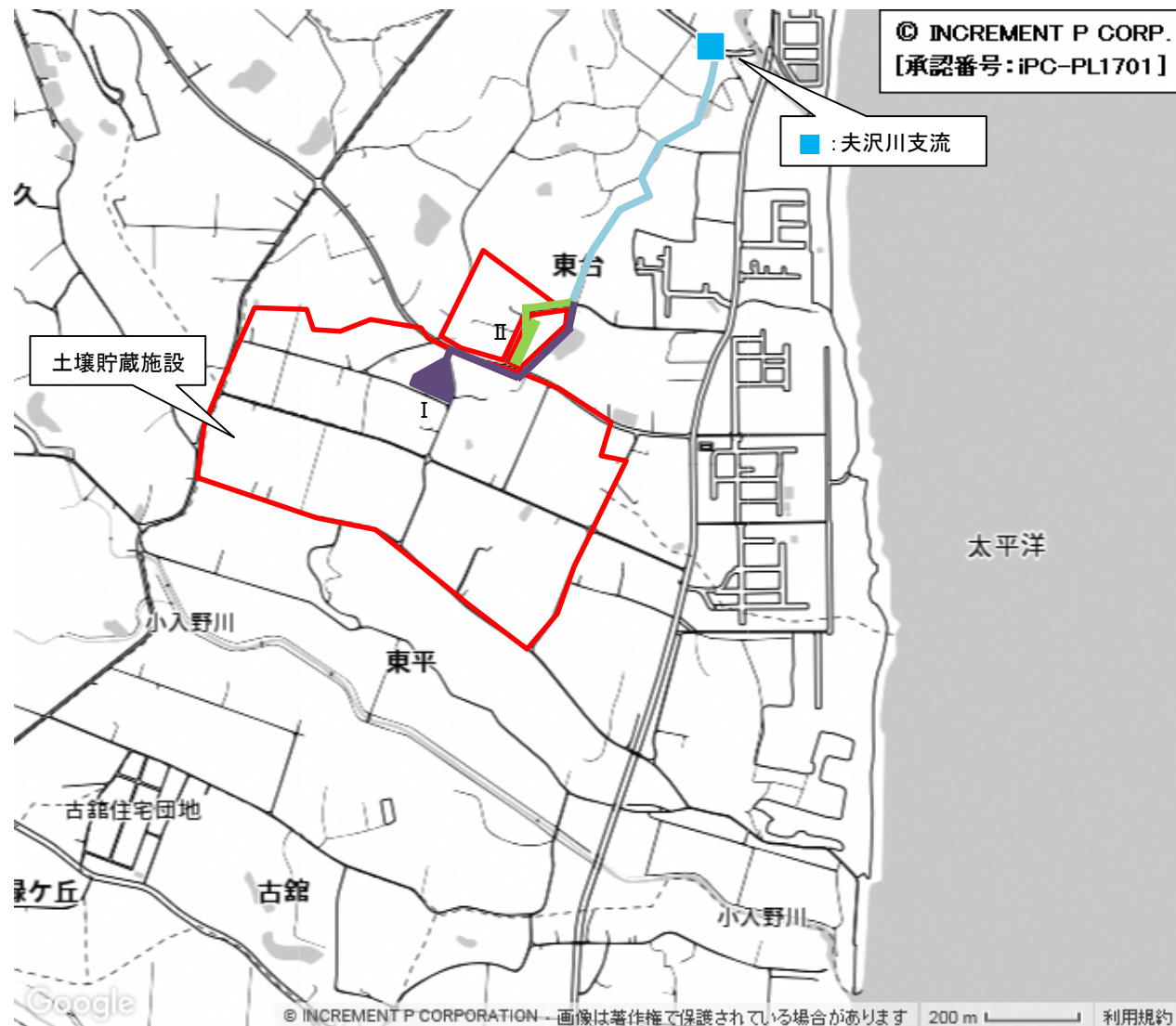
【凡例】

- ◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等、放射能濃度
- ★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質量
- ★ : 空間線量率(作業環境)
- ★ : 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)
- : 敷地境界線
- : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- : 放流先河川の放射能濃度
- ★ : 空気中の放射能濃度
- ★ : 表面汚染密度(設備)
- ◆ : 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★ : 粉じん濃度
- ★ : 表面汚染密度(床)
- ★ : 表面汚染密度(重機)

★ : 施設の位置



土壤貯蔵施設（大熊②工区）のモニタリング測定地点（月次測定等）②



- 凡例
- : 河川水観測地点
 - : 放流水の流路(浸出水処理施設Ⅰ)
 - : 放流水の流路(浸出水処理施設Ⅱ)

土壌貯蔵施設（大熊②工区）のモニタリング測定結果（月次測定等）

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点	測定項目	上流		下流①		下流②		下流③	
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
2017/10/11 (下流③)	(稼働前)								
2018/7/10,11 (上流、下流①②)	(稼働前)	13	13	23	13	17	5.7	19	6.5
2020/7/2 ～2021/1/7	(稼働後) ※	12	12	26	13	16	9.0	43	14

※期間中の最大値を示す。

◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定地点	測定項目	上流		下流①		下流②		下流③	
		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/10/11 (下流③)	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
2018/7/10,11 (上流、下流①②)	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
2020/7/2 ～2021/1/28	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L
NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
集排水設備①	2018/7/5	(稼働前)	ND
	2020/7/20 ～2021/1/27	(稼働後)	ND
集排水設備②	2018/10/15	(稼働前)	ND
	2020/7/20 ～2021/1/27	(稼働後)	ND
集排水設備③	2019/5/26	(稼働前)	ND
	2020/7/20 ～2021/1/27	(稼働後)	ND
集排水設備④	2017/10/5	(稼働前)	ND
	2020/7/20 ～2021/1/27	(稼働後)	ND
集排水設備⑤	2020/5/28	(稼働前)	ND
	2020/7/20 ～2021/1/27	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L
NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定地点	測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)		生物化学的酸素要求量 (BOD)	化学的酸素要求量 (COD)	浮遊物質量 (SS)	
			最小値	最大値	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	
処理水Ⅰ	2020/7/2	～2021/1/7	7.9	8.3	ND	1.4	9.7～21	ND
	2020/7/2		7.1	8.0	0.6～12	8.9～33	ND	

pH基準：5.8～8.6、BOD基準：60mg/L、COD基準：90mg/L、SS基準：60mg/L
生物化学的酸素要求量 (BOD) のNDとは、報告下限値 (0.5mg/L) 未満であることを示す。
浮遊物質量 (SS) のNDとは、報告下限値 (1mg/L) 未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
			2020/7/2 ～2021/1/28	ND
処理水Ⅱ	2020/7/2	～2020/7/23	ND	ND
	2020/7/30		ND	1.0
	2020/8/6		ND	ND
	2020/8/27		ND	ND
	2020/9/3		ND	1.2
	2020/9/10		ND	ND
2020/9/17	ND	1.0		
2020/9/24	ND	1.0		
2020/9/24	～2021/1/28	ND	ND	

放射能濃度検出下限値：1Bq/L
NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

測定地点	放流日	放流回数	濃度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)	
			最小値	最大値			
処理水Ⅰ	2020/7/1	～2021/1/29	891	0.0	4.8	ND	23510.1
	1042		0.0	4.7	ND	31767.8	

濃度管理値：5以下
放射性セシウム管理値：ND
NDとは、検出下限値 (5.85Bq/L) 未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定地点	測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) ※ (mg/L)
沈砂池Ⅰ	2020/7/2	～2021/1/7	9
	2020/7/2		13
沈砂池Ⅱ	2020/7/2	～2021/1/7	6

SS基準：60mg/L
浮遊物質量 (SS) の報告下限値：1mg/L
※期間中の最大値を示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/10	(稼働前)	ND	5.0
2020/7/2	(稼働後)	ND	1.0
2020/8/6	(稼働後)	ND	ND
2020/9/3	(稼働後)	ND	1.3
2020/10/1	(稼働後)	ND	1.7
2020/11/5	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L
NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。
放射能濃度 (Bq/L) の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2020/7/3 ～2021/1/8	
	粉じん濃度 ※ (mg/m³)	
タンクアプテント (B区画)	0.7	
フィルタープレセントⅠ	0.4	
フィルタープレセントⅡ	0.2	
低濃度土壌中継ヤード	3.5	
高濃度土壌中継ヤード	1.0	
貯蔵エリア (B区画)	0.5	
貯蔵エリア (C区画)	2.1	
貯蔵エリア (D-2区画)	0.1	
貯蔵エリア (G区画)	0.4	
貯蔵エリア (H区画)	0.6	
貯蔵エリア (I区画)	0.4	

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³
※期間中の最大値を示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2020/7/15 ～2021/1/20	
	空間線量率 (μSv/h)	
タンクアプテント (B区画)	最小値	最大値
	0.27	0.28
フィルタープレセントⅠ	0.20	0.28
フィルタープレセントⅡ	0.53	0.84
低濃度土壌中継ヤード	0.28	0.38
高濃度土壌中継ヤード	0.20	0.85
貯蔵エリア (B区画)	2.19	2.35
貯蔵エリア (C区画)	0.24	0.65
貯蔵エリア (D-2区画)	0.47	0.47
貯蔵エリア (G区画)	0.76	0.76
貯蔵エリア (H区画)	0.65	1.00
貯蔵エリア (I区画)	1.39	2.40

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/7/15～2021/1/20	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
タンクアプテント (B区画)	ND	ND
フィルタープレセントⅠ	ND	ND
フィルタープレセントⅡ	ND	ND
低濃度土壌中継ヤード	ND	ND
高濃度土壌中継ヤード	ND	ND
貯蔵エリア (B区画)	ND	ND
貯蔵エリア (I区画)	ND	ND

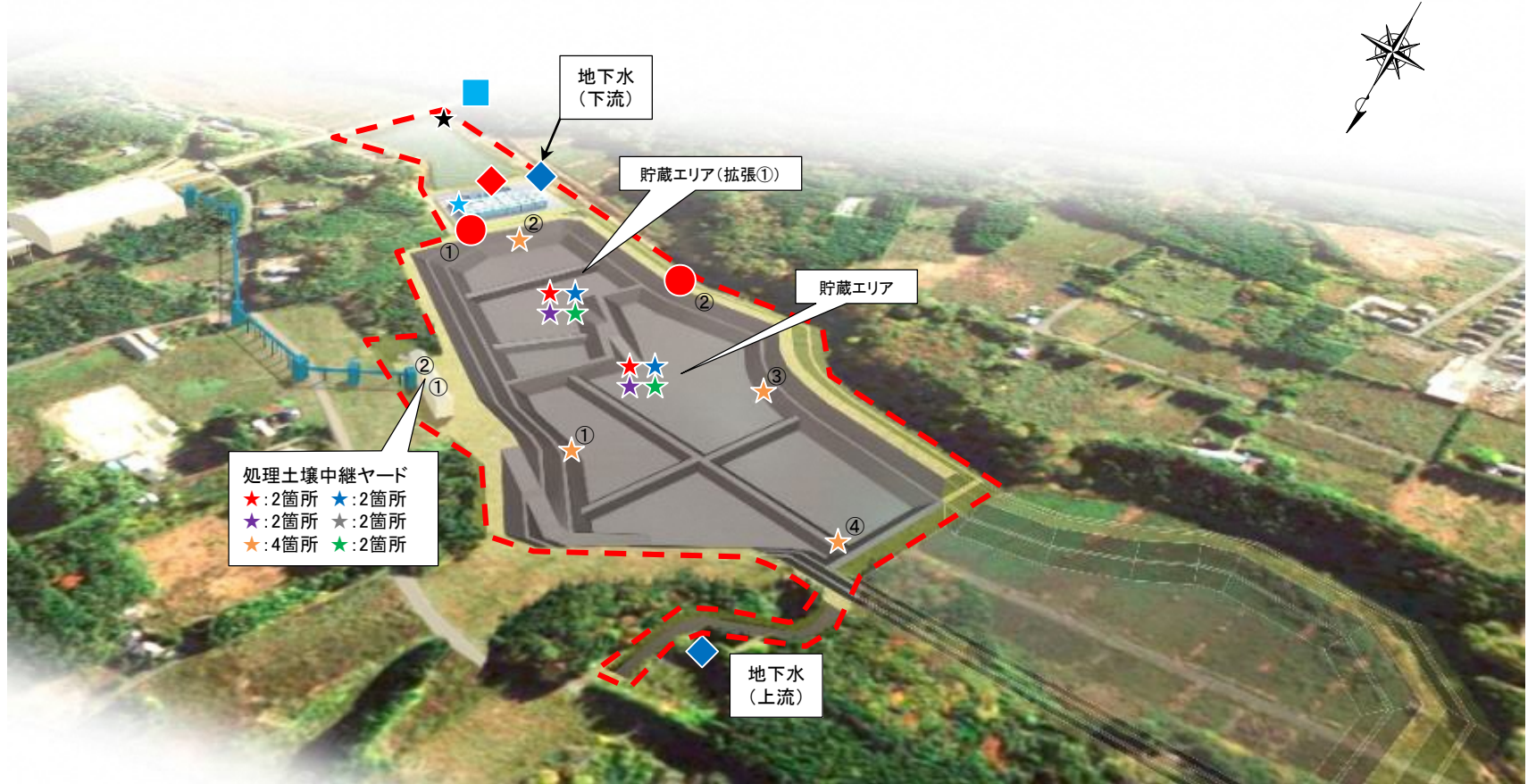
放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0×10⁻³Bq/cm³、セシウム137：1.0×10⁻³Bq/cm³
NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。
放射能濃度 (Bq/cm³) の限度：セシウム134の濃度/2×10⁴+セシウム137の濃度/3×10⁴≦1

表面汚染密度（★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機）

測定地点	2020/7/15 ～2021/1/20			
	表面汚染密度 (Bq/cm²)			
貯蔵施設境界	境界①	ND		
	境界②	ND		
	境界③	ND		
	境界④	ND		
タンクアプテント (B区画)	床	B-① ND B-② ND B-③ ND B-④ ND		
	壁	B-① ND B-② ND B-③ ND B-④ ND		
	設備	ベルトコンベア ND I-① ND I-② ND I-③ ND I-④ ND		
	重機	フィルタープレセントⅠ ND I-① ND I-② ND I-③ ND I-④ ND		
フィルタープレセントⅠ	床	I-① ND I-② ND I-③ ND I-④ ND		
	壁	I-① ND I-② ND I-③ ND I-④ ND		
	設備	フィルタープレセントⅡ ND ① ND ② ND ③ ND ④ ND		
	重機	フィルタープレセントⅡ ND ① ND ② ND ③ ND ④ ND		
フィルタープレセントⅡ	床	① ND ② ND ③ ND ④ ND		
	壁	① ND ② ND ③ ND ④ ND		
	設備	フィルタープレセントⅡ ND ① ND ② ND ③ ND ④ ND		
	重機	フィルタープレセントⅡ ND ① ND ② ND ③ ND ④ ND		
低濃度土壌中継ヤード	壁	① ND ② ND ③ ND ④ ND		
	設備	ベルトコンベア出口 ND I-① ND I-② ND I-③ ND I-④ ND		
	重機	バックホウ① ND バックホウ② ND バックホウ③ ND バックホウ④ ND		
	高濃度土壌中継ヤード	壁	① ND ② ND ③ ND ④ ND	
高濃度土壌中継ヤード	壁	① ND ② ND ③ ND ④ ND		
	設備	ベルトコンベア出口 ND バックホウ① ND バックホウ② ND バックホウ③ ND バックホウ④ ND		
	重機	バックホウ① ND バックホウ② ND バックホウ③ ND バックホウ④ ND		
	貯蔵エリア (B区画)	重機	バックホウB-① ND バックホウB-② ND バックホウB-③ ND バックホウB-④ ND バックホウB-⑤ ND バックホウB-⑥ ND バックホウB-⑦ ND バックホウB-⑧ ND	
貯蔵エリア (C区画)	重機	バックホウC-① ND バックホウC-② ND バックホウC-③ ND バックホウC-④ ND バックホウC-⑤ ND バックホウC-⑥ ND バックホウC-⑦ ND バックホウC-⑧ ND		
	貯蔵エリア (D-2区画)	重機	バックホウD2-① ND バックホウD2-② ND バックホウD2-③ ND バックホウD2-④ ND バックホウD2-⑤ ND バックホウD2-⑥ ND バックホウD2-⑦ ND バックホウD2-⑧ ND	
		貯蔵エリア (G区画)	重機	バックホウG-① ND バックホウG-② ND バックホウG-③ ND バックホウG-④ ND バックホウG-⑤ ND バックホウG-⑥ ND バックホウG-⑦ ND バックホウG-⑧ ND
			貯蔵エリア (H区画)	重機
貯蔵エリア (I区画)				重機

表面汚染密度検出下限値：0.14Bq/cm²
NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。
限度：40Bq/cm²

土壤貯蔵施設（大熊③工区）のモニタリング測定地点（月次測定等）



処理土壌中継ヤード
 ★:2箇所 ★:2箇所
 ☆:2箇所 ☆:2箇所
 ☆:4箇所 ☆:2箇所

【凡例】

- ◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等、放射能濃度
- ★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量
- ★ : 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★ : 粉じん濃度
- ★ : 空間線量率(作業環境)
- ★ : 空気中の放射能濃度
- ★ : 表面汚染密度(床)
- ★ : 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)
- ★ : 表面汚染密度(設備)
- ★ : 表面汚染密度(重機)
- : 敷地境界線

★ : 施設の位置



土壌貯蔵施設（大熊③工区）のモニタリング測定結果（月次測定等）

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定日	測定地点	上流		下流	
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
2018/9/18,25	(稼働前)	15	7.9	90	130
2020/7/2 ~2021/1/7	(稼働後) ※	25	26	220	170

※期間中の最大値を示す。

◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定日	測定地点	上流		下流	
		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/18,25	(稼働前)	ND	ND	ND	ND
2020/7/2 ~2021/1/28	(稼働後)	ND	ND	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日	測定地点	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
		2020/2/10	(稼働前)
2020/7/27 ~2021/1/21	(稼働後)	ND	
2018/9/27	(稼働前)	ND	
2020/7/27 ~2021/1/21	(稼働後)	ND	

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)		生物化学的酸素要求量 (BOD)	化学的酸素要求量 (COD)	浮遊物質 (SS)
		最小値	最大値	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
2020/7/2 ~2021/1/7		7.8	8.0	ND~11	17~47	ND~7

pH基準：5.8~8.6, BOD基準：60mg/L, COD基準：90mg/L, SS基準：60mg/L
生物化学的酸素要求量 (BOD) のNDとは、報告下限値 (0.5mg/L) 未満であることを示す。
浮遊物質 (SS) のNDとは、報告下限値 (1mg/L) 未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
		2020/7/2 ~2021/1/28	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2020/7/1 ~2021/1/30	699	0.0	4.8	ND	31477.7

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値 (6.5Bq/L) 未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) ※ (mg/L)
2020/7/2 ~2021/1/7		18

SS基準：60mg/L

浮遊物質 (SS) の報告下限値：1mg/L

※期間中の最大値を示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/18	(稼働前)	ND	1.2
2020/7/2 ~2021/1/7	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度 [Bq/L] の基準：セシウム134の濃度 / 60 + セシウム137の濃度 / 90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	測定項目	濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア	2020/7/2 ~2021/1/7 粉じん濃度※	2.1
貯蔵エリア (拡張①)		1.4
処理土壌中継ヤード①		0.7
処理土壌中継ヤード②		2.5

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日	空間線量率 (μSv/h)	
		最小値	最大値
貯蔵エリア	2020/7/3 ~2021/1/7	0.25	0.60
貯蔵エリア (拡張①)		0.35	0.72
処理土壌中継ヤード①		0.18	0.26
処理土壌中継ヤード②		0.17	0.30

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/7/2~2021/1/7	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
貯蔵エリア	ND	ND
貯蔵エリア (拡張①)	ND	ND
処理土壌中継ヤード①	ND	ND
処理土壌中継ヤード②	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0×10⁻⁷Bq/cm³, セシウム137：1.0×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度 [Bq/cm³] の限度：セシウム134の濃度 / 2×10⁻³ + セシウム137の濃度 / 3×10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度（★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機）

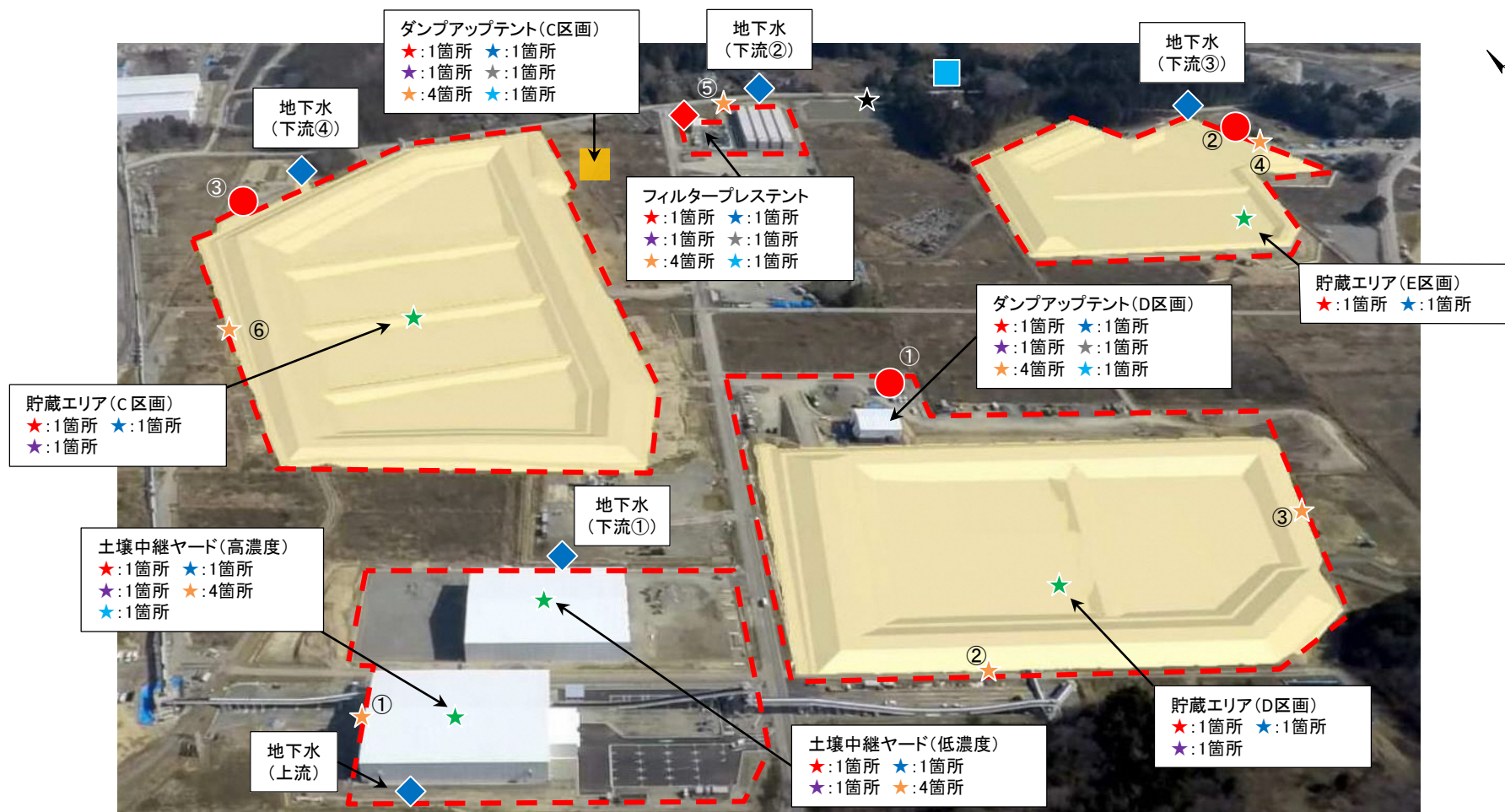
測定地点	測定項目	2020/7/2 ~2021/1/7	
		表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	①北	ND	
	②東	ND	
	③南	ND	
	④西	ND	
処理土壌中継ヤード	床	①	ND
		②	ND
	壁	①北	ND
		②東	ND
		③南	ND
		④西	ND
	重機	ブルドーザー①	ND
		ブルドーザー②	ND
浸出水処理施設	設備	調整槽	ND
	濁水処理設備	ND	
	脱水プラント	ND	
貯蔵エリア	重機	ブルドーザー	ND
		バックホウ	ND
		タイヤローラー	ND
		振動ローラー	ND
貯蔵エリア (拡張①)	重機	ブルドーザー	ND
		バックホウ	ND
		タイヤローラー	ND
		振動ローラー	ND

表面汚染密度検出下限値：0.72Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設（大熊④工区）のモニタリング測定地点（月次測定等）



【凡例】

- ◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等、放射能濃度
- : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- ◆ : 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質量
- : 放流先河川の放射能濃度
- ★ : 粉じん濃度
- ★ : 空間線量率(作業環境)
- ★ : 空気中の放射能濃度
- ★ : 表面汚染密度(床)
- ★ : 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)
- ★ : 表面汚染密度(設備)
- ★ : 表面汚染密度(重機)
- : 敷地境界線

★ : 施設の位置



土壌貯蔵施設（大熊④工区）のモニタリング測定結果（月次測定等）

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点	測定項目	上流		下流①		下流②		下流③		下流④	
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
測定日											
2020/3/12 (上流、下流①②③)	(稼働前)	37	17	24	21	57	12	24	21	110	13
2020/9/3 (下流④)											
2020/7/2	~2021/1/7 (稼働後) ※	41	16	30	21	47	8.0	61	27	44	10

※期間中の最大値を示す。

◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定地点	測定項目	上流		下流①		下流②		下流③		下流④	
		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
測定日											
2020/3/12 (上流、下流①②③)	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
2020/9/3 (下流④)											
2020/7/2	~2021/1/28 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
集排水設備①	2020/3/24 (稼働前)		ND
	2020/7/20 (稼働後)		ND
集排水設備②	2020/4/15 (稼働前)		ND
	2020/7/20 (稼働後)		ND
集排水設備③	2020/11/17 (稼働前)		ND
	2020/11/26 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)		生物化学的酸素要求量 (BOD)	化学的酸素要求量 (COD)	浮遊物質 (SS)
		最小値	最大値	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
2020/7/2		7.7	8.2	1.2~2.1	14~30	ND~9

pH基準：5.8~8.6、BOD基準：60mg/L、COD基準：90mg/L、SS基準：60mg/L

浮遊物質 (SS) のNDは、報告下限値 (1mg/L) 未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2020/7/2		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (mg/L)
		最小値	最大値		
2020/7/1					
~2020/12/24	773	0.0	4.1	ND	22676.9

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDは、検出下限値 (5.85Bq/L) 未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) ※ (mg/L)
2020/7/2		
~2021/1/7		6

SS基準：60mg/L

浮遊物質 (SS) の報告下限値：1mg/L

※期間中の最大値を示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2020/3/12 (稼働前)		ND	ND
2020/7/2 (稼働後)		ND	ND
~2020/8/6			
2020/9/3 (稼働後)		ND	1.3
2020/10/1 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度(Bq/L)の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定日	粉じん濃度※ (mg/m ³)
フィルター・プラスチック	2020/7/1	
~2021/1/6		
フィルター・プラスチック		0.1
タンク・プラント (C区画)		0.6
タンク・プラント (D区画)		2.2
土壌中継ヤード (低濃度)		0.7
土壌中継ヤード (高濃度)		2.8
貯蔵エリア (C区画)		0.4
貯蔵エリア (D区画)		0.5
貯蔵エリア (E区画)		1.0

定置下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2020/7/15	
	最小値	最大値
フィルター・プラスチック	0.34	0.38
タンク・プラント (C区画)	0.28	0.32
タンク・プラント (D区画)	0.34	0.47
土壌中継ヤード (低濃度)	0.22	0.38
土壌中継ヤード (高濃度)	0.43	0.62
貯蔵エリア (C区画)	0.98	2.28
貯蔵エリア (D区画)	2.30	2.68
貯蔵エリア (E区画)	1.01	1.41

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/7/15~2021/1/22	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
フィルター・プラスチック	ND	ND
タンク・プラント (C区画)	ND	ND
タンク・プラント (D区画)	ND	ND
土壌中継ヤード (低濃度)	ND	ND
土壌中継ヤード (高濃度)	ND	ND
貯蔵エリア (C区画)	ND	ND
貯蔵エリア (D区画)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0×10⁻⁴Bq/cm³、セシウム137：1.0×10⁻⁴Bq/cm³

NDは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度(Bq/cm³)の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻⁴+セシウム137の濃度/3×10⁻⁵≦1

表面汚染密度（★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機）

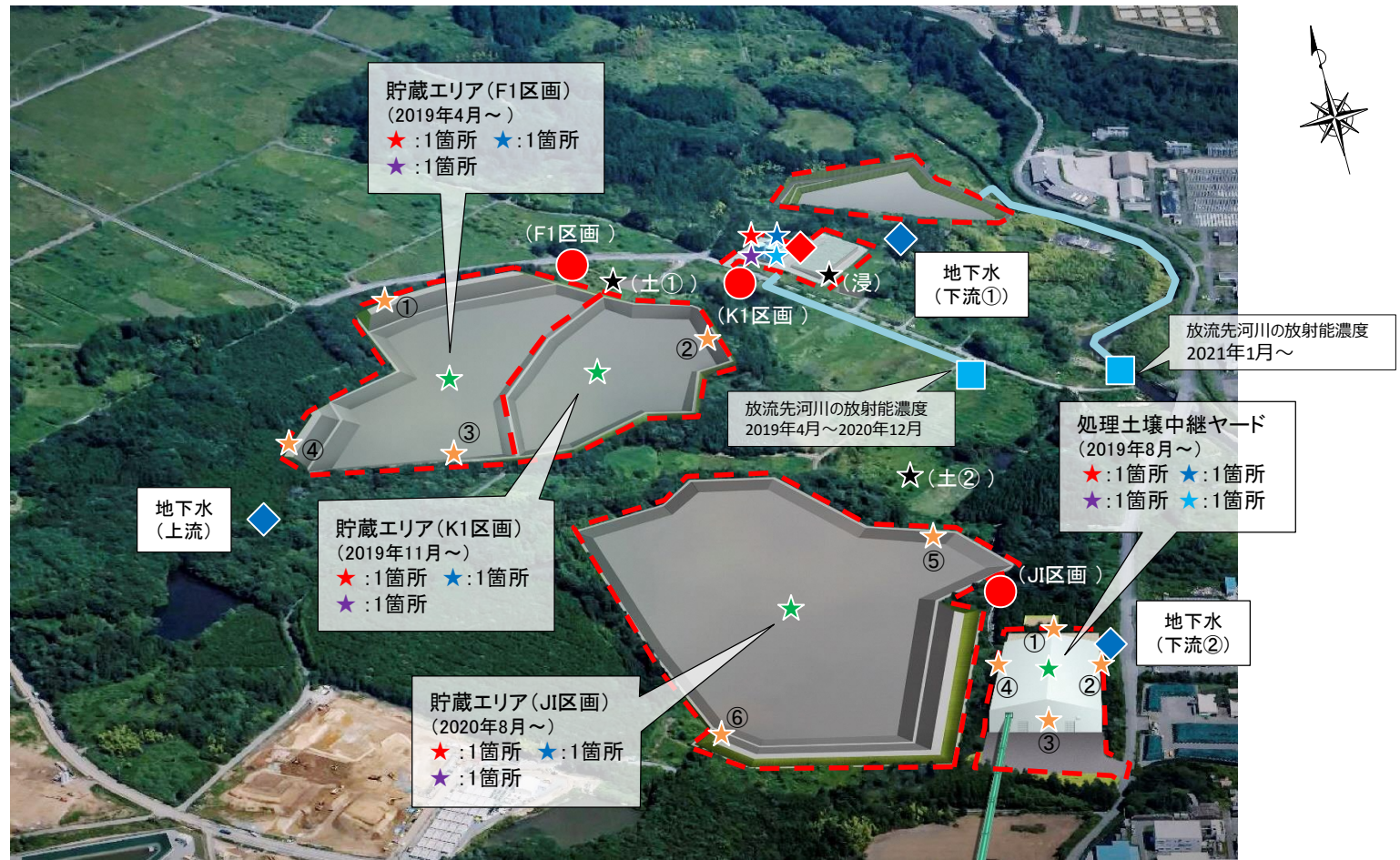
測定地点	測定日	表面汚染密度 (Bq/cm ²)
貯蔵施設境界	境界①	ND
	境界②	ND
	境界③	ND
	境界④	ND
	境界⑤	ND
	境界⑥	ND
フィルター・プラスチック	床 ①	ND
	壁 ①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	設備 フィルター・プラスチック	ND
タンク・プラント (C区画)	床 ①	ND
	壁 ①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	設備 ベルトコンベア	ND
タンク・プラント (D区画)	床 ①	ND
	壁 ①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	設備 ベルトコンベア	ND
土壌中継ヤード (低濃度)	壁 ①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	重機 バックホウ①	ND
	バックホウ②	ND
土壌中継ヤード (高濃度)	壁 ①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	設備 ベルトコンベア出口	ND
	重機 バックホウ①	ND
貯蔵エリア (C区画)	重機 バックホウ①	ND
	ブルドーザー-C①	ND
	ブルドーザー-C②	ND
	バックホウC①	ND
	スクレーパー-ザ-C①	ND
	貯蔵エリア (D区画)	重機 バックホウ-D①
ブルドーザー-D②		ND
ローラー-D①		ND
バックホウD①		ND
スクレーパー-ザ-D①		ND
貯蔵エリア (E区画)		重機 バックホウ-E①
	ローラー-E①	ND
	バックホウE①	ND
	バックホウE②	ND
	バックホウE③	ND
	バックホウE④	ND
	バックホウE⑤	ND
	バックホウE⑥	ND
	バックホウE⑦	ND
	バックホウE⑧	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14Bq/cm²

NDは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設（大熊⑤工区）のモニタリング測定地点（月次測定等）



【凡例】

★:施設の位置

- ◆: 地下水(井戸)中の電気伝導率等、放射能濃度
- : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- ◆: 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★: 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量
- : 放流先河川の放射能濃度
- ★: 粉じん濃度
- ★: 空間線量率(作業環境)
- ★: 空気中の放射能濃度
- ★: 表面汚染密度(貯蔵施設境界)
- ★: 表面汚染密度(設備)
- ★: 表面汚染密度(重機)
- : 敷地境界線

土壌貯蔵施設（大熊⑤工区）のモニタリング測定結果（月次測定等）

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点	測定項目	上流		下流①		下流②	
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
2019/4/18 (上流、下流①)	(稼働前)	21	11	33	14	29	21
2020/7/31 (下流②)	(稼働前)						
2020/7/7	~2021/1/13 (稼働後) ※	10	11	50	21	36	21

※期間中の最大値を示す。

◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定地点	測定項目	上流		下流①		下流②	
		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/18 (上流、下流①)	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND	ND
2020/8/16 (下流②)	(稼働前)						
2020/7/2	~2021/1/28 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
貯蔵エリア (F1区画)	2019/4/18 (稼働前)		ND
	2020/7/16 (稼働後)		ND
貯蔵エリア (K1区画)	2019/11/28 (稼働前)		ND
	2020/7/16 (稼働後)		ND
貯蔵エリア (J1区画)	2020/8/18 (稼働前)		ND
	2020/8/27 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目		水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)	
	最小値	最大値					
2020/7/7	~2021/1/13		7.8	8.2	ND~2	18~65	1~19

pH基準：5.8~8.6, BOD基準：60mg/L, COD基準：90mg/L, SS基準：60mg/L

生物化学的酸素要求量 (BOD) のNDとは、報告下限値 (1mg/L) 未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2020/7/2	~2021/1/28	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)	
		最小値	最大値			
2020/7/1	~2021/1/31	918	0.0	3.0	ND	41373.5

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値 (6.5Bq/L) 未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定地点	測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) ※1 (mg/L)
沈砂池 (土①)	2020/7/7	~2020/11/12	14
沈砂池 (土②)	2020/8/27	~2021/1/13	36
沈砂池 (浸)	2020/7/7	~2021/1/13	110 ※2

SS基準：60mg/L

浮遊物質量 (SS) の報告下限値：1mg/L

※1 期間中の最大値を示す。

※2 採取量が少なく濁水だったため、基準値を超過したと推定。(2021/1/13)

■放流先河川の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
変更前	2019/4/18 (稼働前)		ND	ND
	2020/7/7 (稼働後)		ND	ND
	~2020/8/6		ND	ND
	2020/9/10 (稼働後)		ND	4.9
	2020/10/19 (稼働後)		ND	ND
変更後	2020/11/12 (稼働後)		ND	ND
	2020/12/22 (稼働前)		ND	ND
	2021/1/13 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度 [Bq/L] の基準：セシウム134の濃度 / 60 + セシウム137の濃度 / 90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	測定日	測定項目
	2020/7/7	~2021/1/13
貯蔵エリア (F1区画)		0.7
貯蔵エリア (K1区画)		0.7
貯蔵エリア (J1区画)		0.6
浸出水処理施設		0.3
処理土壌中継ヤード		5.3

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2020/7/8	
	最小値	最大値
貯蔵エリア (F1区画)	0.37	1.16
貯蔵エリア (K1区画)	0.33	0.97
貯蔵エリア (J1区画)	0.82	0.10
浸出水処理施設	0.32	0.44
処理土壌中継ヤード	0.42	0.55

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/7/7~2021/1/13	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
貯蔵エリア (F1区画)	ND	ND
貯蔵エリア (K1区画)	ND	ND
貯蔵エリア (J1区画)	ND	ND
浸出水処理施設	ND	ND
処理土壌中継ヤード	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0×10⁻³Bq/cm³、セシウム137：1.0×10⁻³Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度 [Bq/cm³] の限度：セシウム134の濃度 / 2×10⁻³ + セシウム137の濃度 / 3×10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度（★貯蔵施設境界、★設備、★重機）

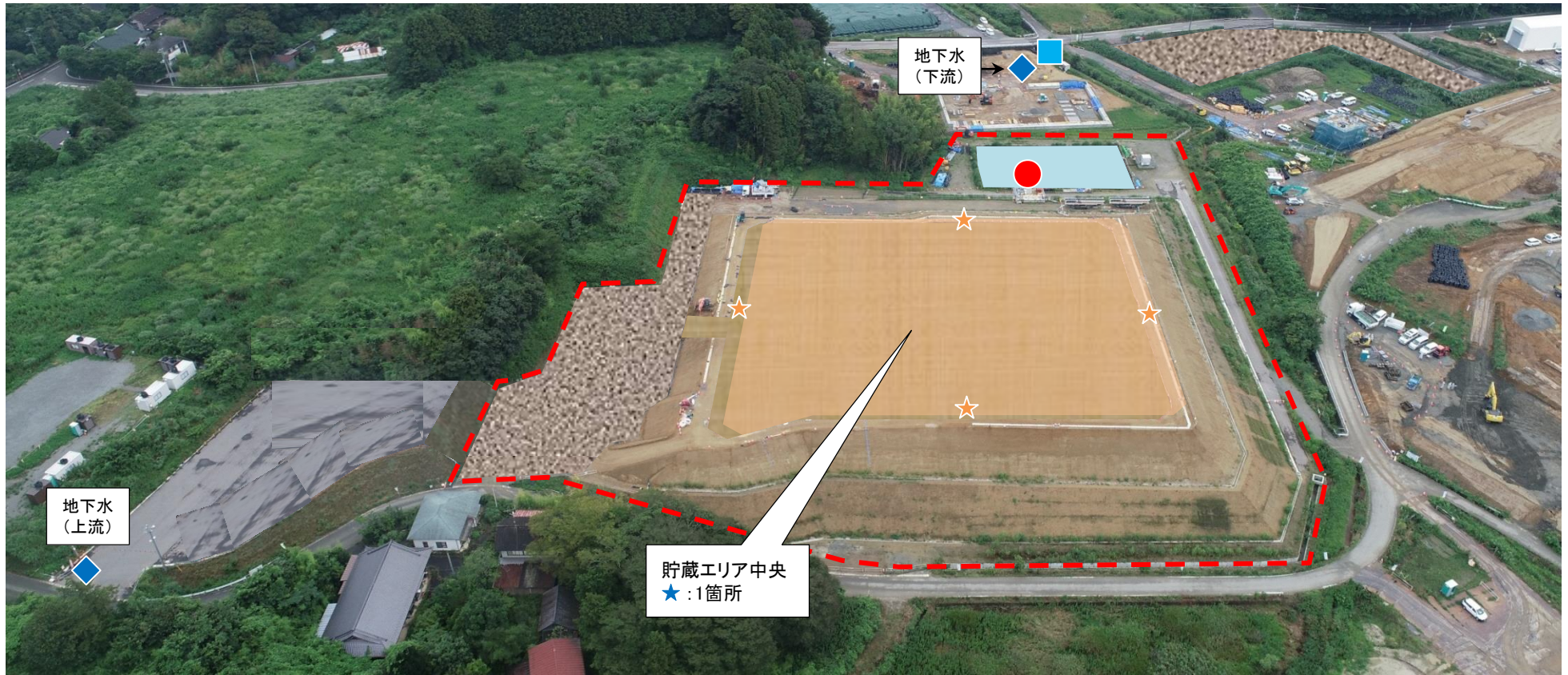
測定地点	測定日	測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	2020/7/8	境界①	ND	
		境界②	ND	
		境界③	ND	
		境界④	ND	
		境界⑤	ND	
		境界⑥	ND	
浸出水処理施設	設備	濁水処理装置	ND	
処理土壌中継ヤード	2020/7/8	境界	ND	
		境界①	ND	
		境界②	ND	
		境界③	ND	
		境界④	ND	
貯蔵エリア (F1区画)	2020/7/8	設備	集じん機	ND
		重機	バックホウA	ND
		重機	バックホウA-①	ND
貯蔵エリア (K1区画)	2020/7/8	重機	ローラーA	ND
		重機	ブルドーザーA-②	ND
		重機	バックホウB-①	ND
貯蔵エリア (J1区画)	2020/7/8	重機	ローラーB	ND
		重機	ブルドーザーB	ND
		重機	バックホウC-①	ND
貯蔵エリア (J1区画)	2020/7/8	重機	ローラーC	ND
		重機	ブルドーザーC	ND
		重機	バックホウC-②	ND

表面汚染密度検出下限値：0.80Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設（双葉①工区東側）のモニタリング測定地点（月次測定）



☆: 施設の位置

【凡例】

◆: 地下水(井戸)中の電気伝導率等、放射能濃度

●: 地下水(集排水設備)中の放射能濃度

■: 放流先河川の放射能濃度

★: 空間線量率(作業環境)

☆: 表面汚染密度(貯蔵施設境界)

---: 敷地境界線



土壌貯蔵施設（双葉①工区東側）のモニタリング測定結果（月次測定）

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点	測定項目	上流		下流	
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
2017/11/23	(稼働前)	13	21	17	9.4
2020/7/2	(稼働後) ※ ~2021/1/6	19	29	20	9.5

※期間中の最大値を示す。

◆地下水（井戸）中の放射能濃度

測定地点	測定項目	上流		下流	
		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/11/23	(稼働前)	ND	ND	ND	ND
2020/7/2	(稼働後) ~2021/1/6	ND	ND	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/12/7	(稼働前)	ND
2020/7/22	(稼働後) ~2021/1/14	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

貯蔵作業が終了したため測定なし。

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

貯蔵作業が終了したため測定なし。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

貯蔵作業が終了したため測定なし。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

貯蔵作業が終了したため測定なし。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
		2017/11/2	(稼働前)
2020/7/2	(稼働後) ~2021/1/6	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

★粉じん濃度

貯蔵作業が終了したため測定なし。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2020/7/13 ~2020/12/14 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
貯蔵エリア中央	0.11	0.13

★空気中の放射能濃度

貯蔵作業が終了したため測定なし。

表面汚染密度（★貯蔵施設境界）

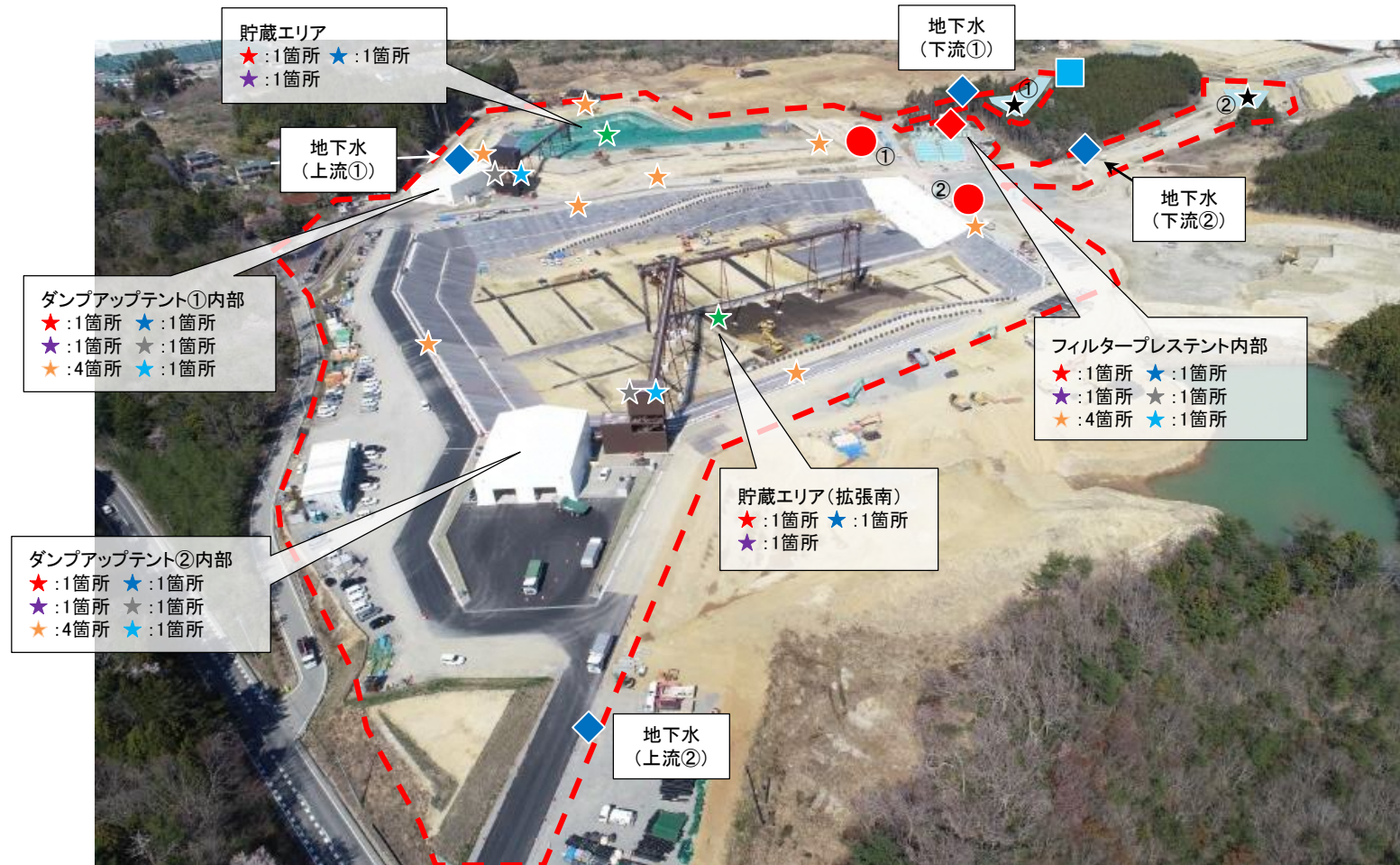
測定地点		2020/7/25 ~2020/12/19 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
貯蔵施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND

表面汚染密度検出下限値：0.71Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設（双葉①工区西側）のモニタリング測定地点（月次測定等）



【凡例】

- ◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等、放射能濃度
- : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- ◆ (赤) : 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量
- (青) : 放流先河川の放射能濃度
- ★ (赤) : 粉じん濃度
- ★ (青) : 空間線量率(作業環境)
- ★ (紫) : 空気中の放射能濃度
- ★ (灰) : 表面汚染密度(床、ベルトコンベア直下)
- ★ (黄) : 表面汚染密度(貯蔵エリア境界・壁)
- ★ (青) : 表面汚染密度(設備、ベルトコンベア)
- ★ (緑) : 表面汚染密度(重機)
- (赤点線) : 敷地境界線

★ : 施設の位置



土壌貯蔵施設（双葉①工区西側）のモニタリング測定結果（月次測定等）

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定日	測定地点	測定項目	上流①		上流②		下流①		下流②	
			電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
2018/9/10 (上流①、下流①)	椽働前	(椽働前)	100	6.8	19	13	19	11	83	9.6
2020/3/25 (上流②、下流②)										
2020/7/2	~2021/1/6	(椽働後) ※	140	17	25	11	33	11	16	8.3

※期間中の最大値を示す。

◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定日	測定地点	測定項目	上流①		上流②		下流①		下流②	
			Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/10 (上流①、下流①)	椽働前	(椽働前)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
2020/3/25 (上流②、下流②)										
2020/7/2	~2021/1/27	(椽働後)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日	測定地点	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/10	椽働前		ND
2020/7/22	集排水設備①	(椽働後)	ND
~2021/1/14			
2020/3/31	集排水設備②	(椽働前)	ND
2020/7/22		(椽働後)	ND
~2021/1/14			

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)		生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
		最小値	最大値			
2020/7/2	~2021/1/6	7.5	8.3	1.7~4.9	26~41	ND~5

pH基準：5.8~8.6, BOD基準：60mg/L, COD基準：90mg/L, SS基準：60mg/L

浮遊物質 (SS) のNDとは、報告下限値 (1mg/L) 未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2020/7/2	~2021/1/27	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)	
		最小値	最大値			
2020/7/1	~2021/1/27	484	0.0	2.3	ND	17152

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値 (6.5Bq/L) 未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定地点	測定項目	浮遊物質 (SS) ※ (mg/L)
2020/7/2	沈砂池①	~2021/1/6	11
2020/7/2		沈砂池②	~2021/1/6

SS基準：60mg/L

浮遊物質 (SS) の報告下限値：1mg/L

※期間中の最大値を示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/3	(椽働前)	ND	ND
2020/7/2	(椽働後)	ND	ND
~2021/1/6			

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度 [Bq/L] の基準：セシウム134の濃度 / 60 + セシウム137の濃度 / 90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定日	測定地点	2020/7/9 ~2021/1/14 粉じん濃度 ※ (mg/m³)
2020/7/9	ダンプアップテント①	ND
2020/7/9	ダンプアップテント②	1.5
2020/7/9	フィルタープレステント	0.3
2020/7/9	貯蔵エリア	0.3
2020/7/9	貯蔵エリア (拡張南)	0.5

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

★空間線量率（作業環境）

測定日	測定地点	2020/7/9 ~2021/1/14 空間線量率 (µSv/h)	
		最小値	最大値
2020/7/9	ダンプアップテント①	0.31	0.32
2020/7/9	ダンプアップテント②	0.16	0.19
2020/7/9	フィルタープレステント	0.17	0.34
2020/7/9	貯蔵エリア	0.79	2.60
2020/7/9	貯蔵エリア (拡張南)	0.46	1.64

★空気中の放射能濃度

測定日	測定地点	2020/7/9~2021/1/14	
		Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
2020/7/9	ダンプアップテント①	ND	ND
2020/7/9	ダンプアップテント②	ND	ND
2020/7/9	フィルタープレステント	ND	ND
2020/7/9	貯蔵エリア	ND	ND
2020/7/9	貯蔵エリア (拡張南)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：4.0×10⁻²Bq/cm³、セシウム137：3.0×10⁻²Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度 [Bq/cm³] の限度：セシウム134の濃度 / 2×10⁻³ + セシウム137の濃度 / 3×10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度（★床、★貯蔵エリア境界・壁、★設備、★重機）

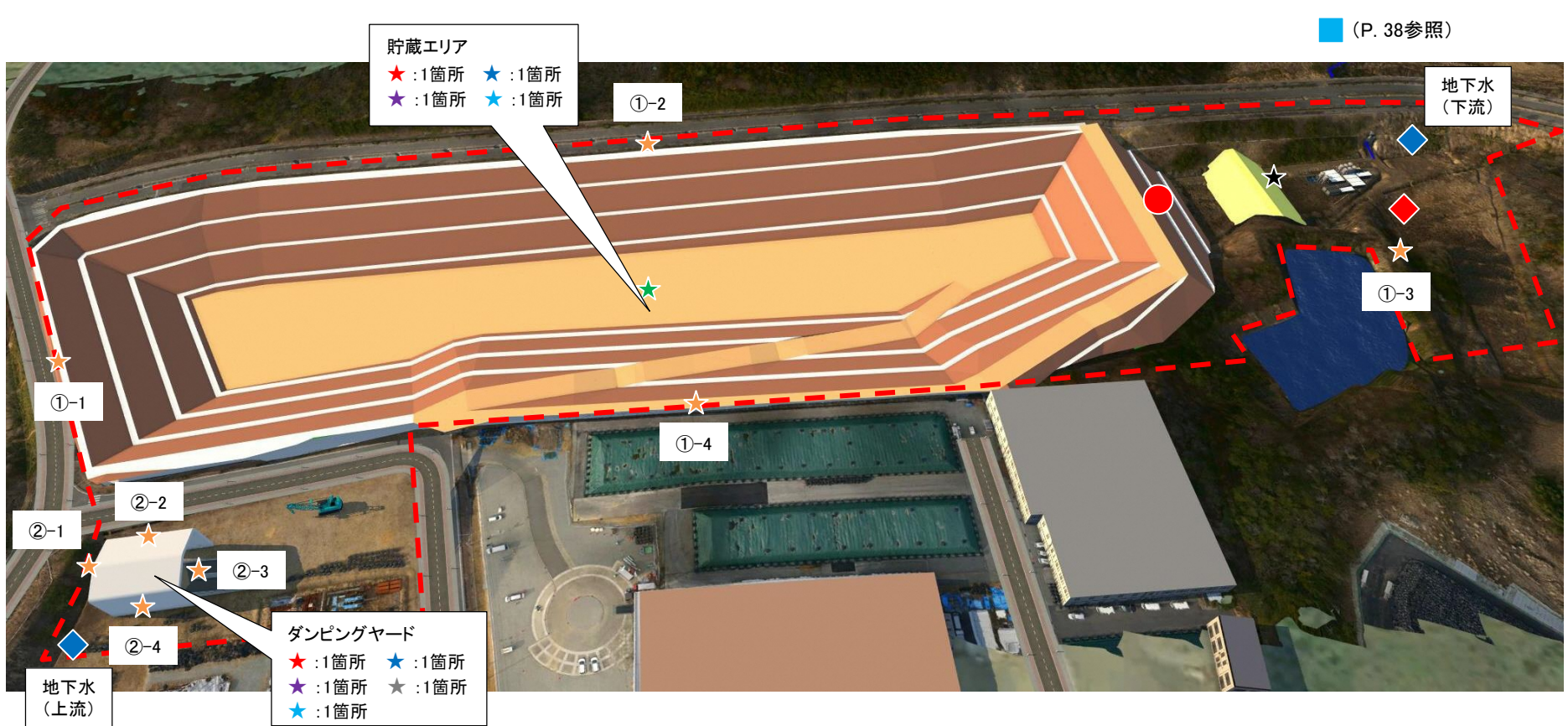
測定日	測定地点	2020/7/25 ~2021/1/23 表面汚染密度 (Bq/cm²)	
2020/7/25	ダンプアップテント①	床	ND
2020/7/25		東側 (壁)	ND
2020/7/25		西側 (壁)	ND
2020/7/25		南側 (壁)	ND
2020/7/25		北側 (壁)	ND
2020/7/25	設備	ND	
2020/7/25	ダンプアップテント②	床	ND
2020/7/25		東側 (壁)	ND
2020/7/25		西側 (壁)	ND
2020/7/25		南側 (壁)	ND
2020/7/25		北側 (壁)	ND
2020/7/25	設備	ND	
2020/7/25	フィルタープレステント	床	ND
2020/7/25		東側 (壁)	ND
2020/7/25		西側 (壁)	ND
2020/7/25		南側 (壁)	ND
2020/7/25		北側 (壁)	ND
2020/7/25	設備	ND	
2020/7/25	貯蔵エリア	床 (ベルトコンベア直下)	ND
2020/7/25		境界 (東側)	ND
2020/7/25		境界 (西側)	ND
2020/7/25		境界 (南側)	ND
2020/7/25		境界 (北側)	ND
2020/7/25	設備 (ベルトコンベア)	ND	
2020/7/25	重機	ND	
2020/7/25	貯蔵エリア (拡張南)	床 (ベルトコンベア直下)	ND
2020/7/25		境界 (東側)	ND
2020/7/25		境界 (西側)	ND
2020/7/25		境界 (南側)	ND
2020/7/25		境界 (北側)	ND
2020/7/25	設備 (ベルトコンベア)	ND	
2020/7/25	重機	ND	

表面汚染密度検出下限値：0.71Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壤貯蔵施設（双葉②工区）のモニタリング測定地点（月次測定等）①



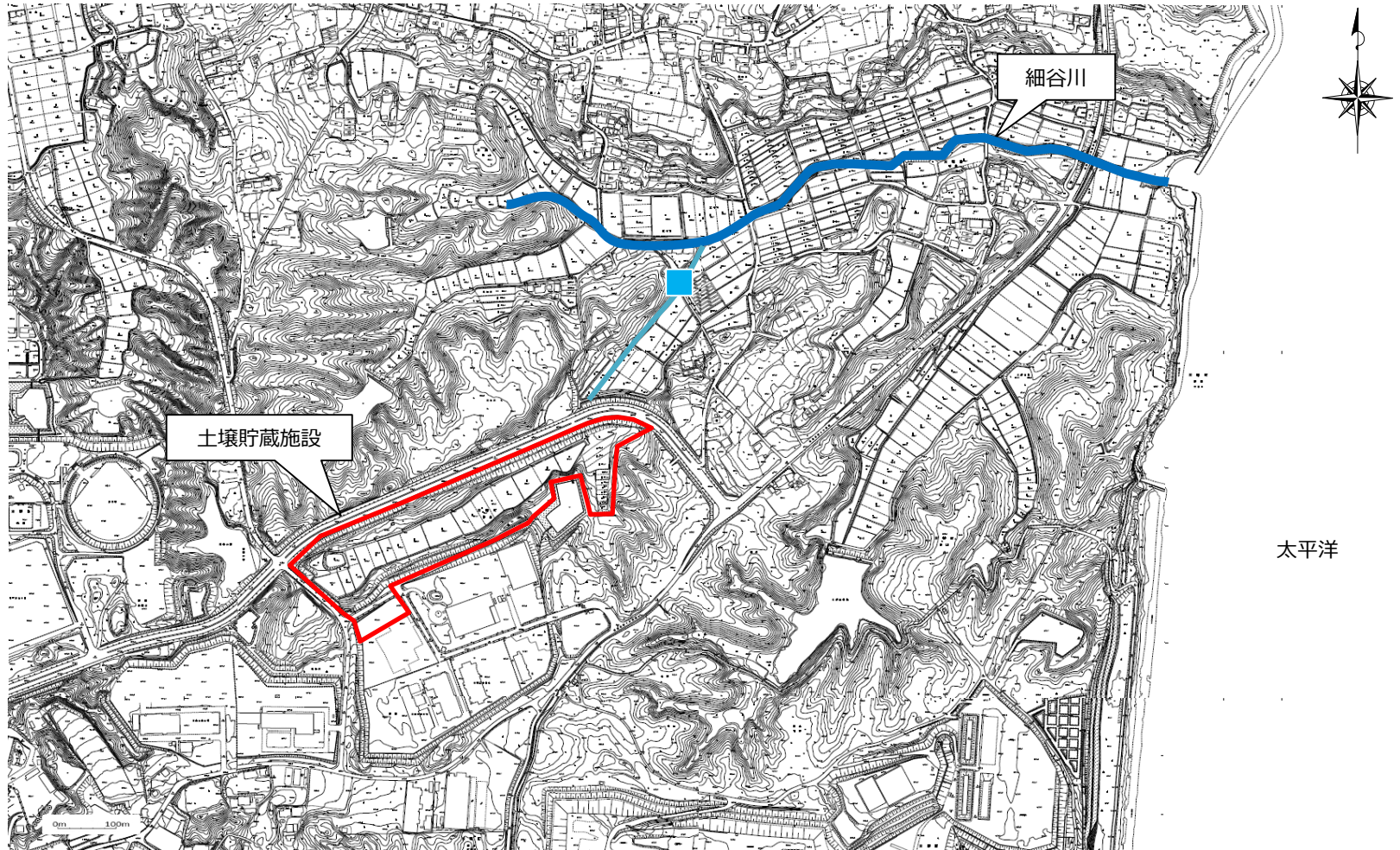
【凡例】

- ◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等、放射能濃度
- ★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質量
- ★ : 空間線量率(作業環境)
- ★ : 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)
- : 敷地境界線
- : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- : 放流先河川の放射能濃度
- ☆ : 空気中の放射能濃度
- ☆ : 表面汚染密度(設備)
- ◆ : 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★ : 粉じん濃度
- ★ : 表面汚染密度(床)
- ★ : 表面汚染密度(重機)

★ : 施設の位置



土壤貯蔵施設（双葉②工区）のモニタリング測定地点（月次測定等）②



凡例

■ : 河川水観測地点

土壌貯蔵施設（双葉②工区）のモニタリング測定結果（月次測定等）

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定日	測定地点	上流		下流	
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
2019/5/8	(稼働前)	61	8	18	10
2020/7/2	(稼働後) ※ ~2021/1/8	91	24	24	11

※期間中の最大値を示す。

◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定日	測定地点	上流		下流	
		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/5/8	(稼働前)	ND	ND	ND	ND
2020/7/2	(稼働後) ~2021/1/28	ND	ND	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/5/21	(稼働前)	ND
2020/7/2	(稼働後) ~2021/1/8	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)		生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
		最小値	最大値			
2020/7/2	~2021/1/8	7.7	8.0	1~9	16~55	1~3

pH基準：5.8~8.6, BOD基準：60mg/L, COD基準：90mg/L, SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2020/7/2	~2021/1/28	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m ³)	
		最小値	最大値			
2020/7/1	~2021/1/30	788	0.0	0.0	ND	22757.6

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値 (6.5Bq/L) 未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) ※ (mg/L)
2020/7/2	~2021/1/8	25

SS基準：60mg/L

浮遊物質量 (SS) の報告下限値：1mg/L

※期間中の最大値を示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24	(稼働前)	ND	ND
2020/7/2	(稼働後) ~2021/1/8	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2020/7/2 ~2021/1/11 粉じん濃度※ (mg/m ³)
ダンピングヤード	0.4
貯蔵エリア	0.3

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2020/7/2 ~2021/1/8 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
ダンピングヤード	0.28	0.32
貯蔵エリア	0.53	0.77

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/7/2~2021/1/8	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
ダンピングヤード	ND	ND
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0×10⁻⁹Bq/cm³、セシウム137：1.0×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻²≦1

表面汚染密度（★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機）

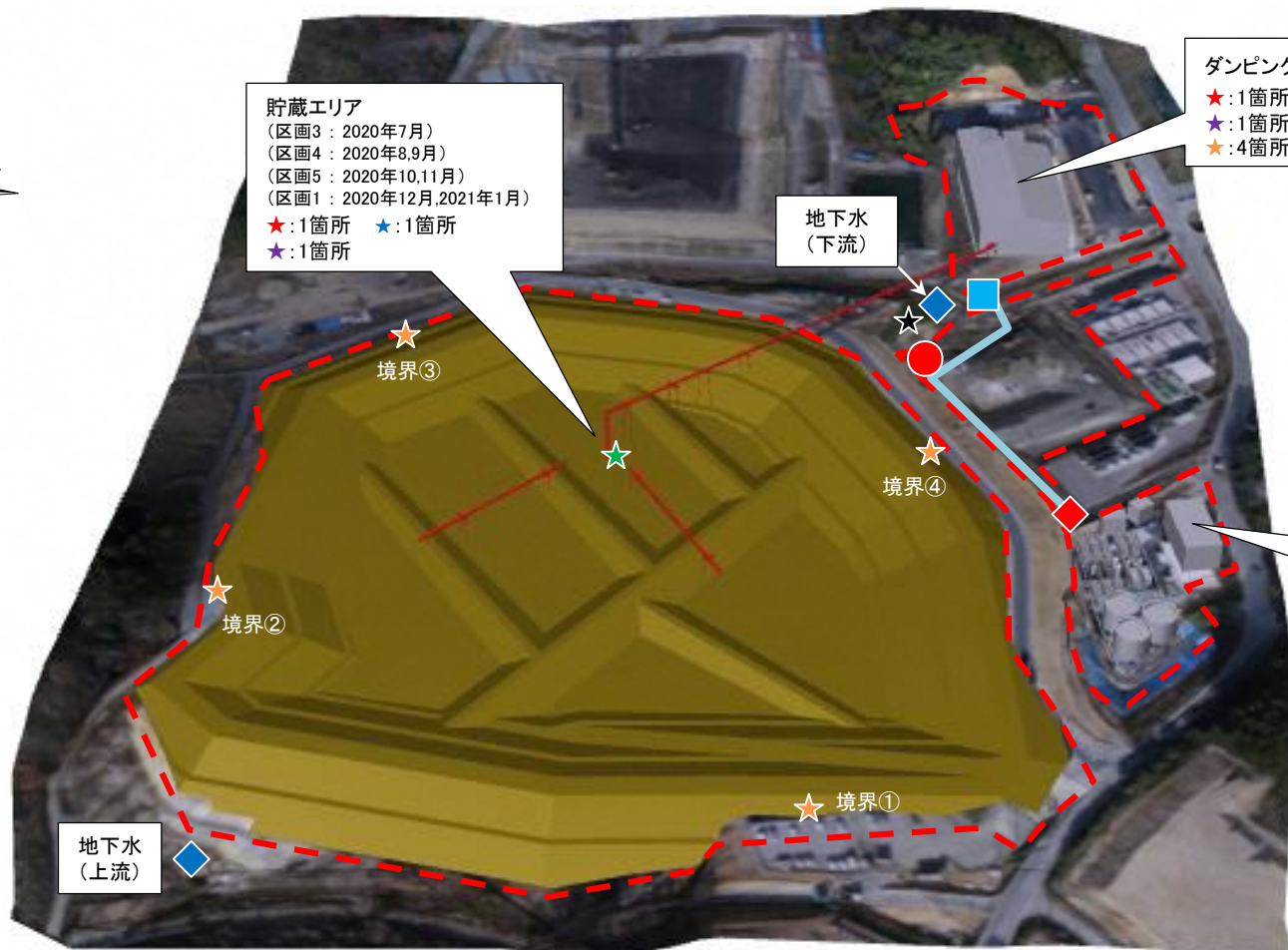
測定地点		2020/7/2 ~2021/1/8 表面汚染密度 (Bq/cm ²)		
貯蔵施設境界	①-1	ND		
	①-2	ND		
	①-3	ND		
	①-4	ND		
ダンピングヤード	壁	②-1	ND	
		②-2	ND	
		②-3	ND	
		②-4	ND	
貯蔵エリア	床	ND	ND	
		設備	トラックホッパー	ND
		設備	法面ベルトコンベア	ND
貯蔵エリア	重機	バックホウ	ND	
		ブルドーザー	ND	

表面汚染密度検出下限値：0.70Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設（双葉③工区）のモニタリング測定地点（月次測定等）



貯蔵エリア
 (区画3：2020年7月)
 (区画4：2020年8,9月)
 (区画5：2020年10,11月)
 (区画1：2020年12月,2021年1月)
 ★:1箇所 ★:1箇所
 ☆:1箇所 ☆:1箇所

ダンピングテント
 ★:1箇所 ★:1箇所
 ☆:1箇所 ☆:1箇所
 ☆:4箇所 ☆:1箇所

フィルタープレステント
 ★:1箇所 ★:1箇所
 ☆:1箇所 ☆:1箇所
 ☆:4箇所 ☆:1箇所

【凡例】

- ◆：地下水(井戸)中の電気伝導率等、放射能濃度
- ：地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- ◆：浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★：沈砂池からの放流水の浮遊物質
- ：放流先河川の放射能濃度
- ★：粉じん濃度
- ★：空間線量率(作業環境)
- ☆：空気中の放射能濃度
- ★：表面汚染密度(床)
- ★：表面汚染密度(貯蔵エリア境界・壁)
- ★：表面汚染密度(設備)
- ★：表面汚染密度(重機)
- ：敷地境界線

★：施設の位置



土壌貯蔵施設（双葉③工区）のモニタリング測定結果（月次測定等）

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定日	測定地点	上流		下流	
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
2019/12/24	(稼働前)	18	8.1	22	7.8
2020/7/18	(稼働後) ※	32	7.5	23	8.4

※期間中の最大値を示す。

◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定日	測定地点	上流		下流	
		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/12/24	(稼働前)	ND	ND	ND	ND
2020/7/6	(稼働後)	ND	ND	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/12/20	(稼働前)	ND
2020/7/27	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)		生物化学的酸素要求量 (BOD)	化学的酸素要求量 (COD)	浮遊物質 (SS)
		最小値	最大値	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
2020/7/18	(稼働後) ※	7.5	8.0	0.8~3.0	11~39	1~5

pH基準：5.8~8.6, BOD基準：60mg/L, COD基準：90mg/L, SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2020/7/6	(稼働前)	ND	ND
2020/8/31	(稼働中)	ND	1.2
2020/9/7	(稼働中)	ND	ND
2020/9/14	(稼働中)	ND	1.1
2020/9/22	(稼働中)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2020/7/1	753	0.0	1.8	ND	19189
~2021/1/30					

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値 (6.5Bq/L) 未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) ※ (mg/L)
2020/7/18	(稼働後) ※	10

SS基準：60mg/L

浮遊物質 (SS) の報告下限値：1mg/L

※期間中の最大値を示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/12/17	(稼働前)	ND	ND
2020/7/18	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定日	粉じん濃度 ※ (mg/m³)
ダビングテント	2020/7/10	0.5
フィルタープレセント	~2021/1/18	0.3
貯蔵エリア		0.2

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日		空間線量率 (μSv/h)	
	2020/7/28	~2021/1/25	最小値	最大値
ダビングテント	0.17	0.20		
フィルタープレセント	0.18	0.24		
貯蔵エリア	1.15	2.04		

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/7/10~2021/1/18	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
ダビングテント	ND	ND
フィルタープレセント	ND	ND
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0×10⁻³Bq/cm³, セシウム137：1.0×10⁻³Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度（★床、★貯蔵エリア境界・壁、★設備、★重機）

測定地点	測定項目	測定日		表面汚染密度 (Bq/cm²)
		2020/7/27	~2021/1/25	
貯蔵エリア境界	境界①	ND		
	境界②	ND		
	境界③	ND		
	境界④	ND		
ダビングテント	壁	北側	ND	
		東側	ND	
		南側	ND	
		西側	ND	
フィルタープレセント	壁	北側	ND	
		東側	ND	
		南側	ND	
		西側	ND	
貯蔵エリア	重機	ベルトコンベア	ND	
		フルドーザー	ND	
		バックホウ	ND	
		振動ローラー	ND	

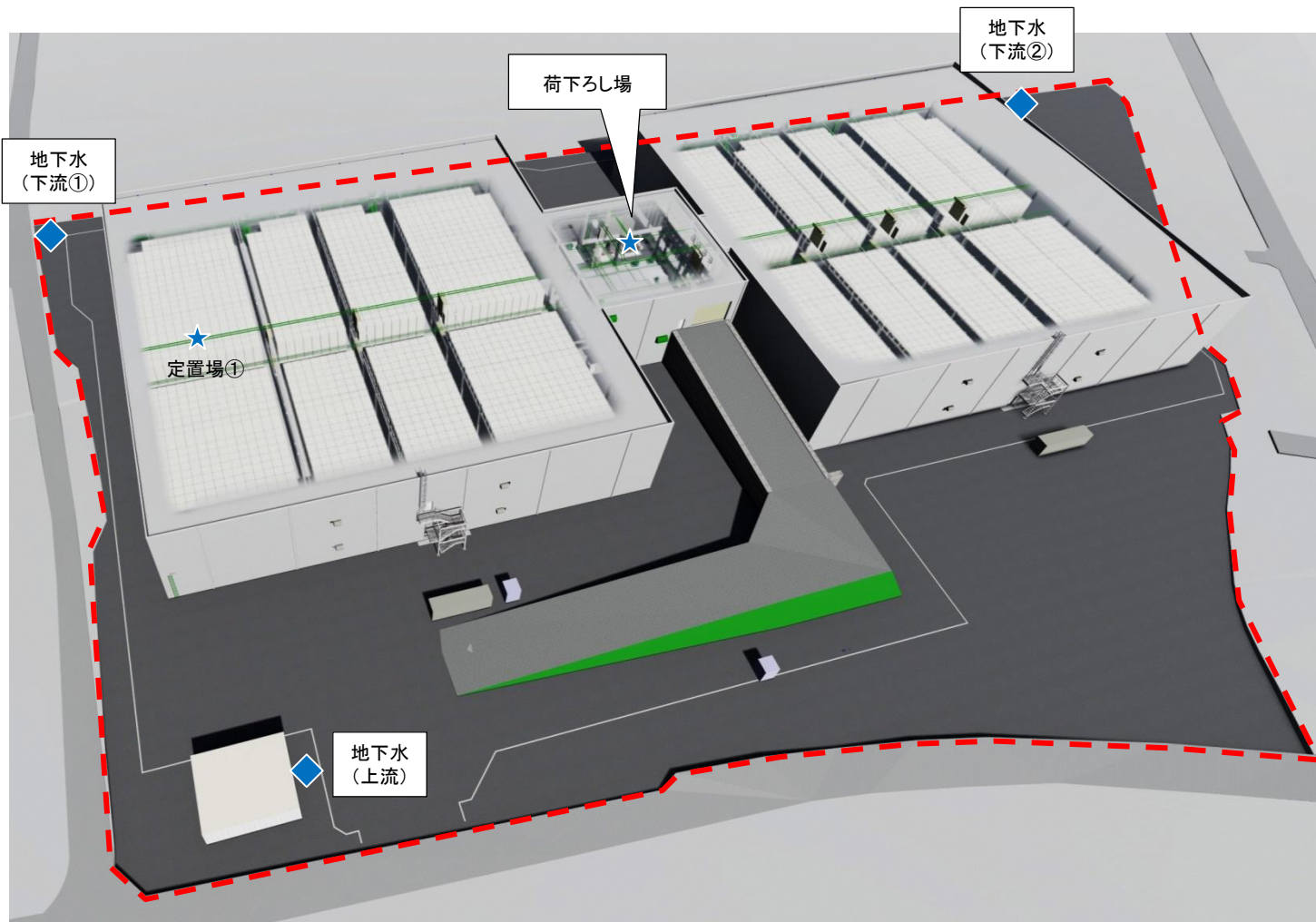
表面汚染密度検出下限値：0.40Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

廃棄物貯蔵施設のモニタリング結果(月次測定)

廃棄物貯蔵施設（大熊1工区）のモニタリング測定地点（月次測定）



★：施設の位置



【凡例】

◆：地下水中の放射能濃度等

★：空間線量率(作業環境)

---：敷地境界線

廃棄物貯蔵施設（大熊1工区）のモニタリング測定結果（月次測定）

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点		上流		下流①		下流②	
測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
2020/3/31	(稼働前)	30	ND	28	ND	15	ND
2020/7/2 ~2021/1/7	(稼働後) ※	20	7.1	31	9.6	17	28.5

塩化物イオン濃度報告下限値：（稼働前）100mg/L、（稼働後）0.1mg/L

NDとは、塩化物イオン濃度が報告下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

◆地下水（井戸）中の放射能濃度

測定地点		上流		下流①		下流②	
測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2020/3/9,12	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND	ND
2020/7/2 ~2021/1/7	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND	ND

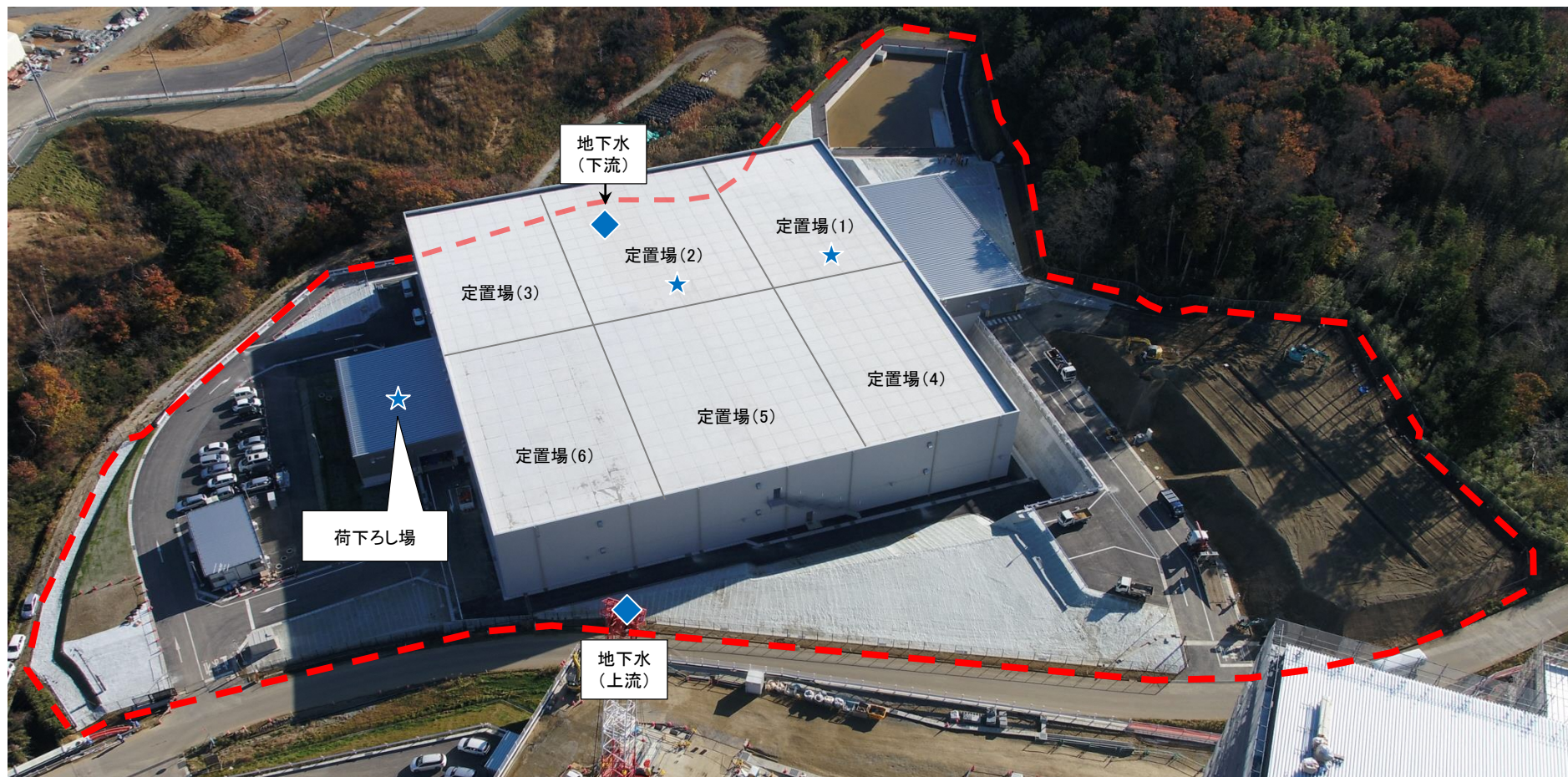
放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2020/7/3 ~2021/1/8 空間線量率 (μ Sv/h)	
	最小値	最大値
定置場① 1階	0.15	3.45
荷下ろし場	0.06	0.10

廃棄物貯蔵施設（双葉1工区）のモニタリング測定地点（月次測定）



★: 施設の位置



【 凡例 】

◆ : 地下水中の放射能濃度等

★ : 空間線量率(作業環境)

--- : 敷地境界線

廃棄物貯蔵施設（双葉1工区）のモニタリング測定結果（月次測定）

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点		上流		下流	
測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
2020/3/2	(稼働前)	16	7.3	21	12
2020/7/6 ~2021/1/6	(稼働後) ※	15	7.7	33	7.7

※期間中の最大値を示す。

◆地下水（井戸）中の放射能濃度

測定地点		上流		下流	
測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2020/3/2	(稼働前)	ND	ND	ND	ND
2020/7/2 ~2021/1/7	(稼働後)	ND	ND	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

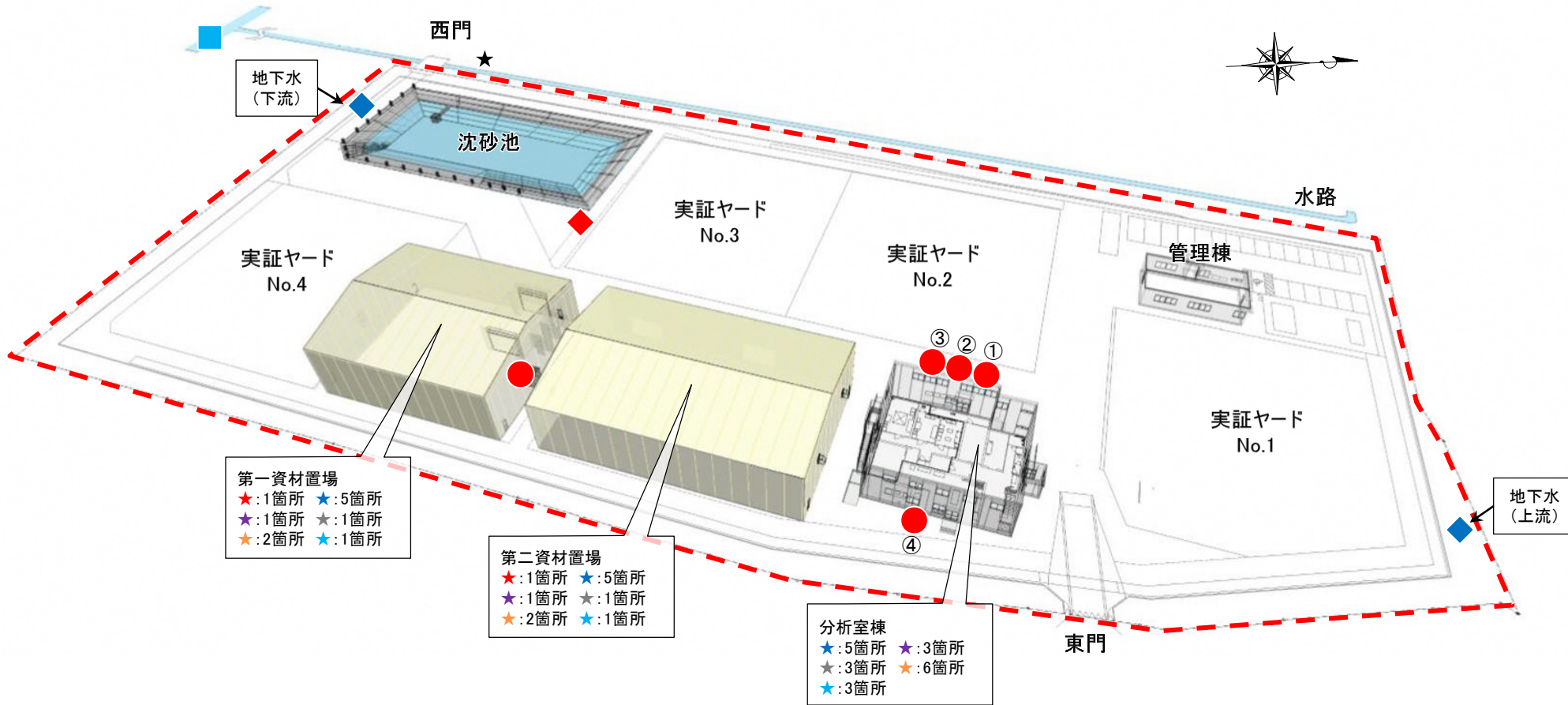
NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2020/7/30 ~2021/1/29 空間線量率 (μ Sv/h)	
	最小値	最大値
定置場 (1) 1階	1.15	3.78
定置場 (2) 1階	0.36	2.39
荷下ろし場 (1) 1階	0.14	0.15

技術実証フィールドのモニタリング結果（月次測定等）

技術実証フィールドのモニタリング測定地点（月次測定）



★:施設の位置



【凡例】

- ◆: 地下水(井戸)中の放射能濃度等
- ★: 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量
- ★: 空間線量率(作業環境)
- ★: 表面汚染密度(壁)
- : 排気中の放射能濃度
- : 放流先河川の放射能濃度
- ★: 空気中の放射能濃度
- ★: 表面汚染密度(設備)
- ◆: 実証試験排水※の放射能濃度等
- ★: 粉じん濃度
- ★: 表面汚染密度(床)
- - -: 敷地境界線

※2020年10月より名称変更(旧名称: 浸出水処理施設放流水)

技術実証フィールドのモニタリング測定結果（月次測定）

◆地下水（井戸）中の放射能濃度等

測定日	測定地点	測定項目	上流			下流		
			電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2019/9/6	第一資材置場	(稼働前)	27	8.0	ND	14	8.0	ND
2020/7/2		(稼働後)※	25	9.0	ND	22	13	ND
~2021/1/7								

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

●排気中の放射能濃度

測定日	測定地点	測定対象	2020/7/6 ~2021/1/14 放射能濃度 (Bq/m ³)		
			最低値	最大値	
2020/7/2 ~2021/1/7	第一資材置場	円筒ろ紙	ND	ND	
		ドレン部	ND	ND	
	分析室棟	①一般分析	円筒ろ紙	ND	ND
		第一前処理室	円筒ろ紙	ND	ND
		②固体試料	円筒ろ紙	ND	ND
		第一前処理室	円筒ろ紙	ND	ND
		③固体試料	円筒ろ紙	ND	ND
		第二前処理室	円筒ろ紙	ND	ND
		④放射能濃度測定室前室	円筒ろ紙	ND	ND
		ドレン部	ND	ND	
		ドレン部	ND	ND	
		ドレン部	ND	ND	

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.3Bq/m³、ドレン部：1.0Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆実証試験排水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)		生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
		最小値	最大値	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
2020/7/22	~2020/10/1	7.5	8.3	4.7~84.9	7.9~30	4.3~19

pH管理値：5.8~8.6, BOD管理値：60mg/L, COD管理値：90mg/L, SS管理値：60mg/L

※2020/10/27以降排水なし。

◆実証試験排水の放射能濃度等

放射日	放出回数	濃度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値		
2020/7/16	11	0.0	0.8	ND	76.5
~2020/10/26					

濃度管理値：5以下

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

※2020/10/27以降排水なし。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) ※ (mg/L)
		放射能濃度 (Bq/m ³)
2020/7/2	~2021/1/7	5.1

SS基準：50mg/L（福島県生活環境の保全等に関する条例 日間平均）

浮遊物質量 (SS) の報告下限値：1mg/L

※期間中の最大値を示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
		(Bq/L)	(Bq/L)
2019/9/27	(稼働前)	ND	1.2
2020/7/22	(稼働後)	ND	ND
2020/8/6	(稼働後)	ND	1.1
2020/9/3	(稼働後)	ND	1.4
2020/10/1	(稼働後)	ND	1.2
2020/11/5	(稼働後)	ND	ND
~2021/1/7			

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2020/7/6 ~2021/1/14 粉じん濃度※ (mg/m ³)	
	最低値	最大値
第一資材置場	ND	
第二資材置場	0.1	

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点		2020/7/6 ~2021/1/14 空間線量率 (μSv/h)	
		最小値	最大値
第一資材置場	東	0.55	0.65
	西	0.28	0.36
	南	0.42	2.43
	北	0.24	0.29
	中央	0.35	0.43
第二資材置場	東	0.37	0.47
	西	0.26	0.35
	南	0.34	0.45
	北	0.26	0.30
	中央	0.29	0.34
分析室棟	一般分析第一前処理室	0.10	0.16
	固体試料第二前処理室	0.13	0.23
	放射能濃度測定室	0.11	0.18
	防護具脱衣室	0.10	0.12
	廊下1	0.10	0.12

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/7/6~2021/1/14	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
第一資材置場	ND	ND
第二資材置場	ND	ND
分析室棟	一般分析第一前処理室	ND
	固体試料第一前処理室	ND
	固体試料第二前処理室	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：7.0×10⁻⁶Bq/cm³、セシウム137：7.0×10⁻⁶Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点		2020/7/6 ~2021/1/14 表面汚染密度 (Bq/cm ²)		
		最低値	最大値	
第一資材置場	床	中央	ND	
	壁	東	ND	
		西	ND	
	設備	集じん機	ND	
第二資材置場	床	中央	ND	
	壁	東	ND	
		西	ND	
	設備	操作盤	ND	
分析室棟	一般分析第一前処理室	床	中央	ND
		壁	東	ND
			西	ND
		設備	集じん機	ND
	固体試料第一前処理室	床	中央	ND
		壁	東	ND
			西	ND
		設備	集じん機	ND
	固体試料第二前処理室	床	中央	ND
		壁	東	ND
			西	ND
		設備	集じん機	ND

表面汚染密度検出下限値：0.24Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

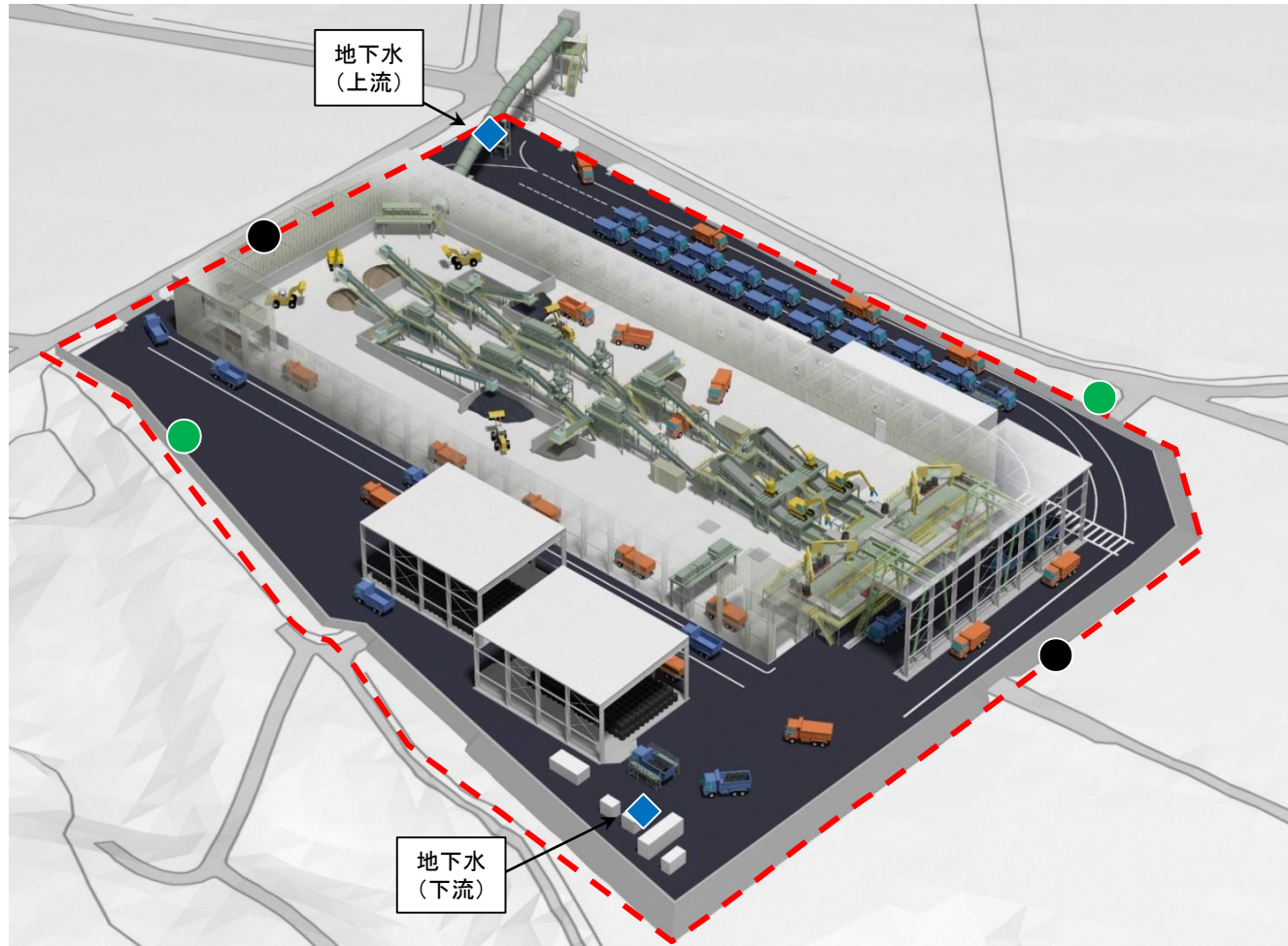
限度：40Bq/cm²

受入・分別施設のモニタリング結果（年次測定）

以下の施設については、中間貯蔵施設環境安全委員会（第18回）でモニタリング結果を報告して以降、年次測定は実施していないため、今回は報告対象外。

- ・大熊②工区 第2期
- ・大熊③工区
- ・双葉①工区、第1期
- ・双葉①工区、第2期

受入・分別施設（大熊①工区）のモニタリング測定地点（年次測定）



★：施設の位置



凡例

- : 騒音・振動
- : 悪臭
- ◆ : 地下水検査項目
- : 敷地境界線

受入・分別施設（大熊①工区）のモニタリング測定結果（年次測定）

●騒音

測定地点	測定項目		騒音レベル (dB)
	測定日		
北側	2018/7/10 (稼働前)		54
	2020/11/10 (稼働後)		52
南側	2018/7/10 (稼働前)		56
	2020/11/10 (稼働後)		53

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

●振動

測定地点	測定項目		振動レベル (dB)
	測定日		
北側	2018/7/10 (稼働前)		31
	2020/11/19 (稼働後)		37
南側	2018/7/10 (稼働前)		30未満
	2020/11/19 (稼働後)		41

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

●悪臭

測定地点	測定項目		臭気指数
	測定日		
西側	2018/7/10 (稼働前)		11 (風上)
	2020/11/9 (稼働後)		10未満 (風上)
東側	2018/7/10 (稼働前)		14 (風下)
	2020/11/9 (稼働後)		10未満 (風下)

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

◆地下水検査項目

測定地点	測定項目		アルキル水銀 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	カドミウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
上流	2018/7/10 (稼働前)		不検出	ND	0.0019	0.120	ND
	2020/11/11 (稼働後)		不検出	ND	ND	0.003	ND
下流	2018/7/10 (稼働前)		不検出	ND	0.0003	0.025	ND
	2020/11/11 (稼働後)		不検出	0.0005	0.0004	0.011	ND

測定地点	測定項目		砒素 (mg/L)	全シアン (mg/L)	PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流	2018/7/10 (稼働前)		0.030	不検出	不検出	ND	ND
	2020/11/11 (稼働後)		0.001	不検出	不検出	ND	ND
下流	2018/7/10 (稼働前)		0.003	不検出	不検出	ND	ND
	2020/11/11 (稼働後)		0.004	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定項目		ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流	2018/7/10 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/11/11 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/7/10 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/11/11 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

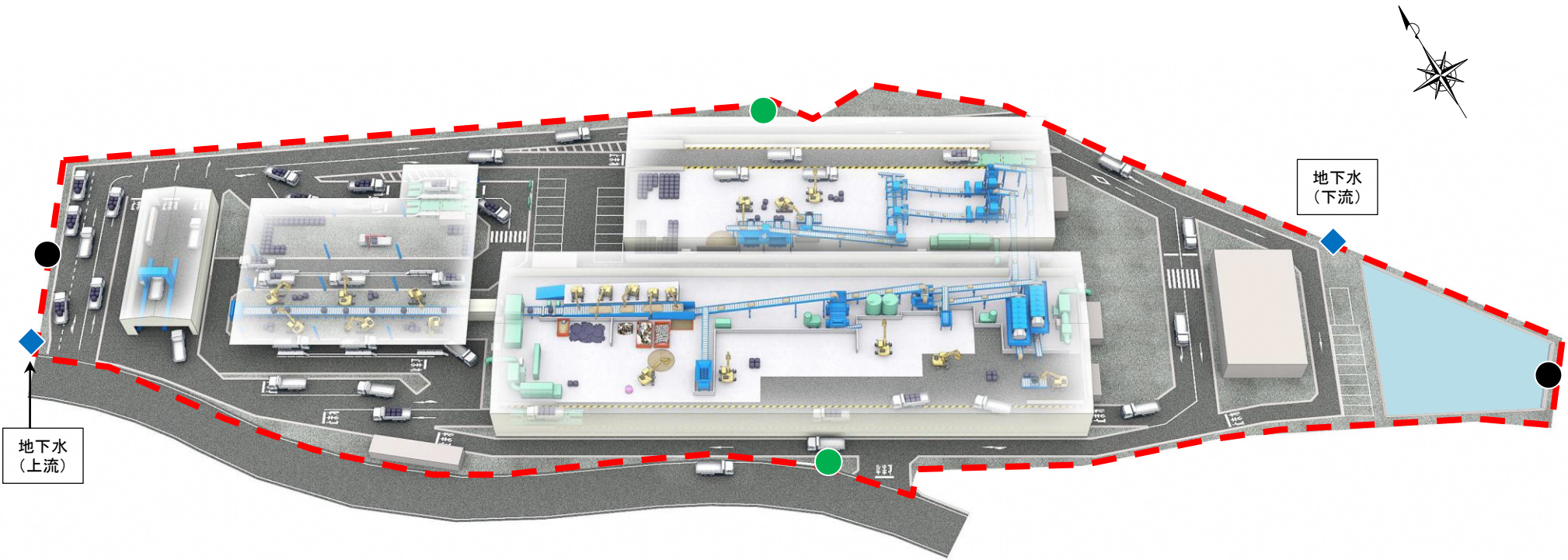
測定地点	測定項目		1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
上流	2018/7/10 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/11/11 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/7/10 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/11/11 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	1,4-ジオキササン (mg/L)	クロロエチレン (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
上流	2018/7/10 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/11/11 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/7/10 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/11/11 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
	測定日		
	地下水環境基準		1以下
上流	2018/7/10 (稼働前)		23
	2020/11/11 (稼働後)		0.15
下流	2018/7/10 (稼働前)		2.7
	2020/11/11 (稼働後)		1.1

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

受入・分別施設（大熊②工区、第1期）のモニタリング測定地点（年次測定）



地下水
(上流)

地下水
(下流)

- 【凡例】
- : 騒音・振動
 - : 悪臭
 - ◆ : 地下水検査項目
 - : 敷地境界線

★ : 施設の位置



受入・分別施設（大熊②工区、第1期）のモニタリング測定結果（年次測定）

●騒音

測定地点	測定項目		騒音レベル (dB)
	測定日		
北側	2017/7/7 (稼働前)		64
	2020/10/2 (稼働後)		70
南側	2017/7/7 (稼働前)		57
	2020/10/2 (稼働後)		78

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

●振動

測定地点	測定項目		振動レベル (dB)
	測定日		
北側	2017/7/7 (稼働前)		31
	2020/10/2 (稼働後)		55
南側	2017/7/7 (稼働前)		35
	2020/10/2 (稼働後)		54

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

●悪臭

測定地点	測定項目		臭気指数
	測定日		
西側	2017/7/7 (稼働前)		12 (風下)
	2020/10/2 (稼働後)		10未満 (風下)
東側	2017/7/7 (稼働前)		12 (風上)
	2020/10/2 (稼働後)		10未満 (風上)

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

◆地下水検査項目

測定地点	測定項目		アルキル水銀 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	カドミウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
上流	2017/7/7 (稼働前)		不検出	ND	ND	ND	ND
	2020/10/1 (稼働後)		不検出	ND	ND	ND	ND
下流	2017/7/7 (稼働前)		不検出	ND	ND	ND	ND
	2020/10/1 (稼働後)		不検出	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		砒素 (mg/L)	全シアン (mg/L)	PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流	2017/7/7 (稼働前)		ND	不検出	不検出	ND	ND
	2020/10/1 (稼働後)		ND	不検出	不検出	ND	ND
下流	2017/7/7 (稼働前)		ND	不検出	不検出	ND	ND
	2020/10/1 (稼働後)		ND	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定項目		ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流	2017/7/7 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/10/1 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2017/7/7 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/10/1 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

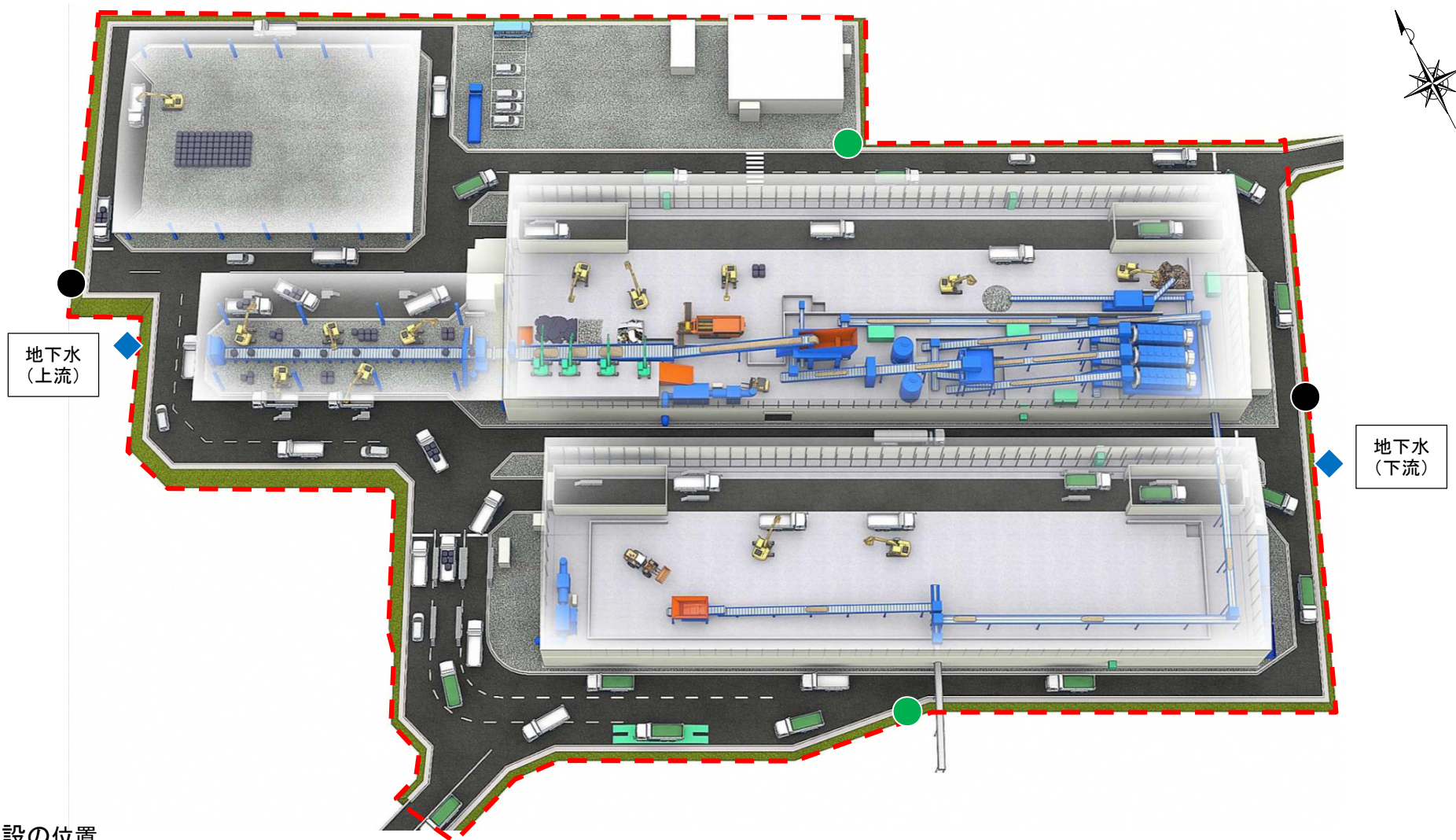
測定地点	測定項目		1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
上流	2017/7/7 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/10/1 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2017/7/7 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/10/1 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	1,4-ジオキササン (mg/L)	クロロエチレン (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
上流	2017/7/7 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/10/1 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2017/7/7 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/10/1 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
	測定日		
	地下水環境基準		1以下
上流	2017/7/7 (稼働前)		0.058
	2020/10/1 (稼働後)		0.058
下流	2017/7/7 (稼働前)		0.058
	2020/10/1 (稼働後)		0.057

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

受入・分別施設（大熊④工区）のモニタリング測定地点（年次測定）



★：施設の位置



【凡例】

- ：騒音・振動
- ：悪臭
- ◆：地下水検査項目
- ：敷地境界線

受入・分別施設（大熊④工区）のモニタリング測定結果（年次測定）

●騒音

測定地点	測定項目		騒音レベル (dB)
	測定日		
北側	2019/7/24 (稼働前)		54
	2020/8/5 (稼働後)		66
南側	2019/7/24 (稼働前)		55
	2020/8/5 (稼働後)		64

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

●振動

測定地点	測定項目		振動レベル (dB)
	測定日		
北側	2019/7/24 (稼働前)		27
	2020/8/5 (稼働後)		48
南側	2019/7/24 (稼働前)		37
	2020/8/5 (稼働後)		38

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

●悪臭

測定地点	測定項目		臭気指数
	測定日		
西側	2019/8/1 (稼働前)		10未満 (風上)
	2020/8/5 (稼働後)		10未満 (風下)
東側	2019/8/1 (稼働前)		10未満 (風下)
	2020/8/5 (稼働後)		10未満 (風上)

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

◆地下水検査項目

測定地点	測定項目		アルキル水銀 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	カドミウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
上流	2019/7/24 (稼働前)		不検出	ND	ND	ND	ND
	2020/8/6 (稼働後)		不検出	ND	ND	ND	ND
下流	2019/7/24 (稼働前)		不検出	ND	ND	ND	ND
	2020/8/6 (稼働後)		不検出	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		砒素 (mg/L)	全シアン (mg/L)	PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流	2019/7/24 (稼働前)		ND	不検出	不検出	ND	ND
	2020/8/6 (稼働後)		ND	不検出	不検出	ND	ND
下流	2019/7/24 (稼働前)		ND	不検出	不検出	ND	ND
	2020/8/6 (稼働後)		ND	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定項目		ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流	2019/7/24 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/8/6 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/7/24 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/8/6 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

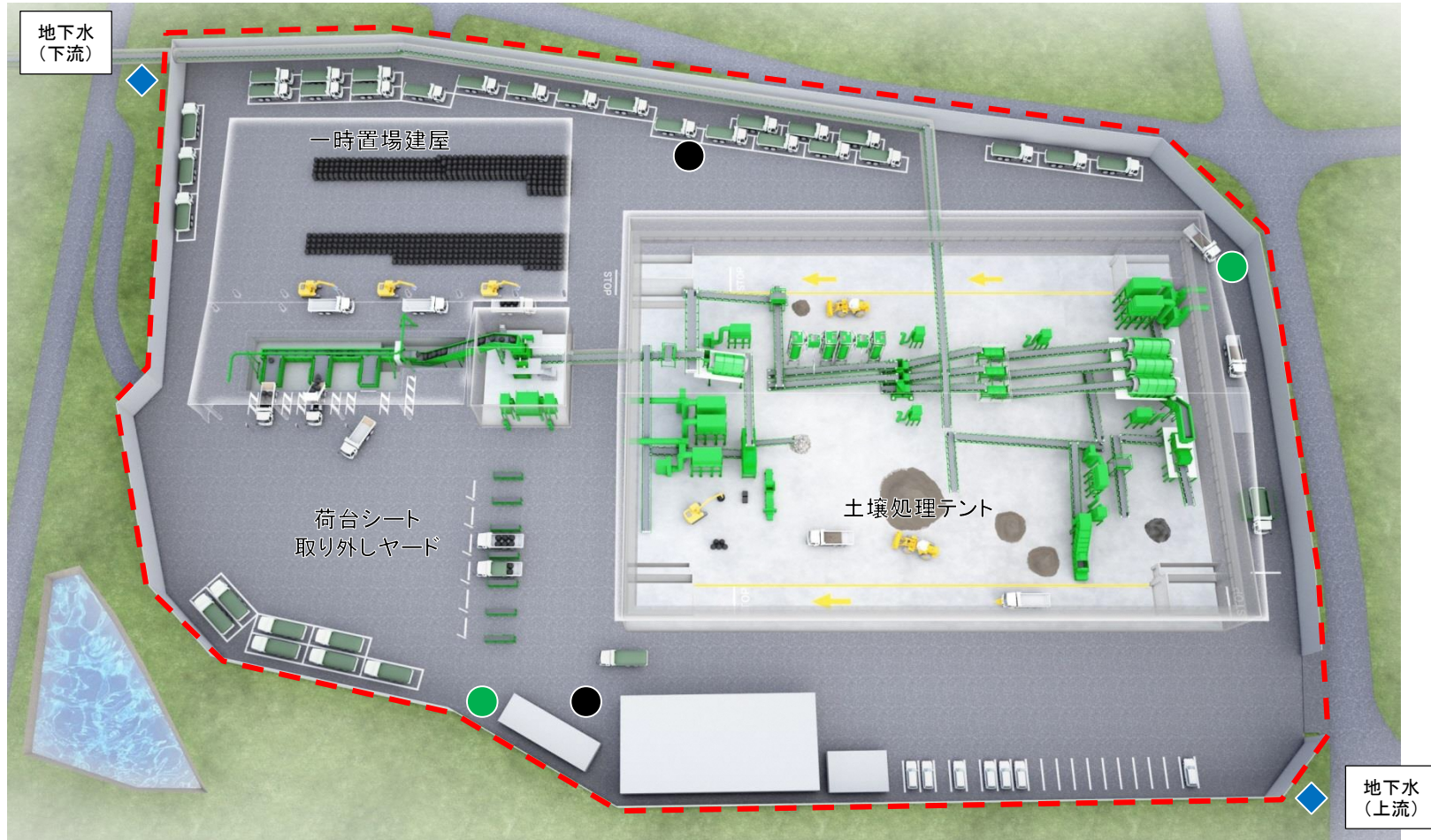
測定地点	測定項目		1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
上流	2019/7/24 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/8/6 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/7/24 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/8/6 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	1,4-ジオキササン (mg/L)	クロロエチレン (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
上流	2019/7/24 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/8/6 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/7/24 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/8/6 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
	測定日		
	地下水環境基準		1以下
上流	2019/7/24 (稼働前)		0.072
	2020/8/6 (稼働後)		0.064
下流	2019/7/24 (稼働前)		0.056
	2020/8/6 (稼働後)		0.057

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

受入・分別施設（大熊⑤工区）のモニタリング測定地点（年次測定）



★：施設の位置

【凡例】

●：騒音・振動

●：悪臭

◆：地下水検査項目

---：敷地境界線



受入・分別施設（大熊⑤工区）のモニタリング測定結果（年次測定）

●騒音

測定地点	測定項目		騒音レベル (dB)
	測定日		
西側	2019/7/26	(稼働前)	70
	2020/11/24	(稼働後)	72
南側	2019/7/26	(稼働前)	74
	2020/11/24	(稼働後)	76

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

●振動

測定地点	測定項目		振動レベル (dB)
	測定日		
西側	2019/7/26	(稼働前)	37
	2020/11/24	(稼働後)	54
南側	2019/7/26	(稼働前)	53
	2020/11/24	(稼働後)	63

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

●悪臭

測定地点	測定項目		臭気指数
	測定日		
西側	2019/7/30	(稼働前)	10未満（風下）
	2020/11/24	(稼働後)	10未満（風上）
東側	2019/7/30	(稼働前)	10未満（風上）
	2020/11/24	(稼働後)	10未満（風下）

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

◆地下水検査項目

測定地点	測定項目		アルキル水銀 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	カドミウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)			
	測定日		地下水環境基準				検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下
上流	2019/7/26	(稼働前)	不検出	ND	ND	ND	ND			
	2020/11/24	(稼働後)	不検出	ND	ND	ND	ND			
下流	2019/7/26	(稼働前)	不検出	ND	ND	0.007	ND			
	2020/11/24	(稼働後)	不検出	ND	ND	ND	ND			

測定地点	測定項目		砒素 (mg/L)	全シアン (mg/L)	PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)			
	測定日		地下水環境基準				0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下
上流	2019/7/26	(稼働前)	ND	不検出	不検出	ND	ND			
	2020/11/24	(稼働後)	ND	不検出	不検出	ND	ND			
下流	2019/7/26	(稼働前)	ND	不検出	不検出	ND	ND			
	2020/11/24	(稼働後)	ND	不検出	不検出	ND	ND			

測定地点	測定項目		ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)				
	測定日		地下水環境基準					0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下
上流	2019/7/26	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND				
	2020/11/24	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND				
下流	2019/7/26	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND				
	2020/11/24	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND				

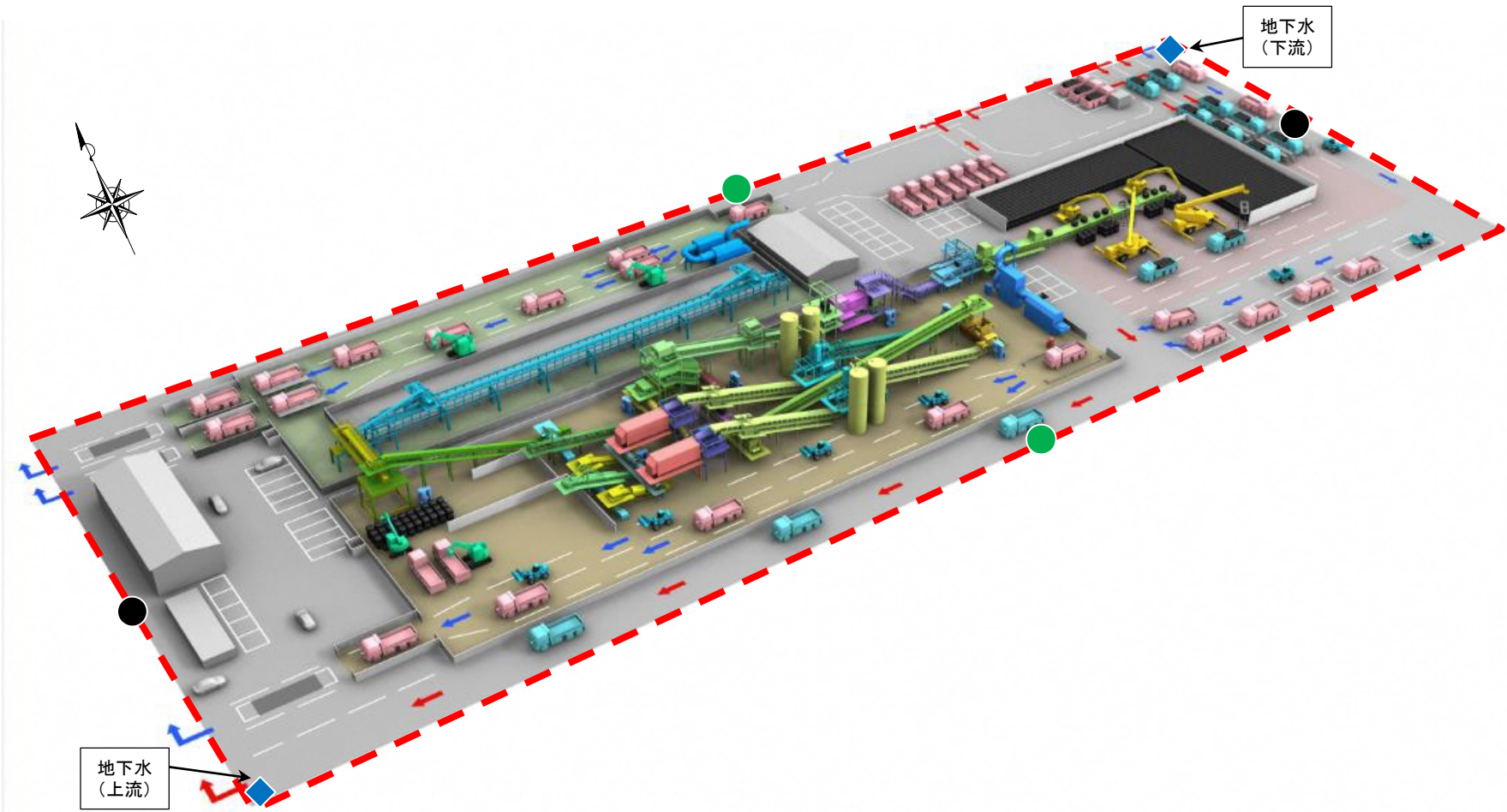
測定地点	測定項目		1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)				
	測定日		地下水環境基準					1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下
上流	2019/7/26	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND				
	2020/11/24	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND				
下流	2019/7/26	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND				
	2020/11/24	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND				

測定地点	測定項目		チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	1,4-ジオキササン (mg/L)	クロロエチレン (mg/L)				
	測定日		地下水環境基準					0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下
上流	2019/7/26	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND				
	2020/11/24	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND				
下流	2019/7/26	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND				
	2020/11/24	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND				

測定地点	測定項目		ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
	測定日		地下水環境基準
上流	2019/7/26	(稼働前)	0.037
	2020/11/24	(稼働後)	0.016
下流	2019/7/26	(稼働前)	0.035
	2020/11/24	(稼働後)	0.018

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

受入・分別施設（双葉②工区）のモニタリング測定地点（年次測定）



★：施設の位置



【凡例】

●：騒音・振動

●：悪臭

◆：地下水検査項目

---：敷地境界線

受入・分別施設（双葉②工区）のモニタリング測定結果（年次測定）

●騒音

測定地点	測定項目		騒音レベル (dB)
	測定日		
北側	2019/1/17 (稼働前)		68
	2020/7/20 (稼働後)		75
南側	2019/1/17 (稼働前)		64
	2020/7/20 (稼働後)		74

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

●振動

測定地点	測定項目		振動レベル (dB)
	測定日		
北側	2019/1/17 (稼働前)		50
	2020/7/20 (稼働後)		55
南側	2019/1/17 (稼働前)		40
	2020/7/20 (稼働後)		51

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

●悪臭

測定地点	測定項目		臭気指数
	測定日		
西側	2019/1/17 (稼働前)		10未満 (風上)
	2020/7/20 (稼働後)		10未満 (風下)
東側	2019/1/17 (稼働前)		10未満 (風下)
	2020/7/20 (稼働後)		10未満 (風上)

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

◆地下水検査項目

測定地点	測定項目		アルキル水銀 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	カドミウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
上流	2019/1/17 (稼働前)		不検出	ND	ND	0.014	ND
	2020/7/20 (稼働後)		不検出	ND	ND	ND	ND
下流	2019/1/17 (稼働前)		不検出	ND	ND	0.014	ND
	2020/7/20 (稼働後)		不検出	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		砒素 (mg/L)	全シアン (mg/L)	PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流	2019/1/17 (稼働前)		0.004	不検出	不検出	ND	ND
	2020/7/20 (稼働後)		ND	不検出	不検出	ND	ND
下流	2019/1/17 (稼働前)		ND	不検出	不検出	ND	ND
	2020/7/20 (稼働後)		ND	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定項目		ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流	2019/1/17 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/7/20 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/1/17 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/7/20 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
上流	2019/1/17 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/7/20 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/1/17 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/7/20 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	1,4-ジオキササン (mg/L)	クロロエチレン (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
上流	2019/1/17 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/7/20 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/1/17 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/7/20 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
	測定日		
	地下水環境基準		1以下
上流	2019/1/17 (稼働前)		1.5
	2020/7/20 (稼働後)		0.17
下流	2019/1/17 (稼働前)		0.12
	2020/7/20 (稼働後)		0.04

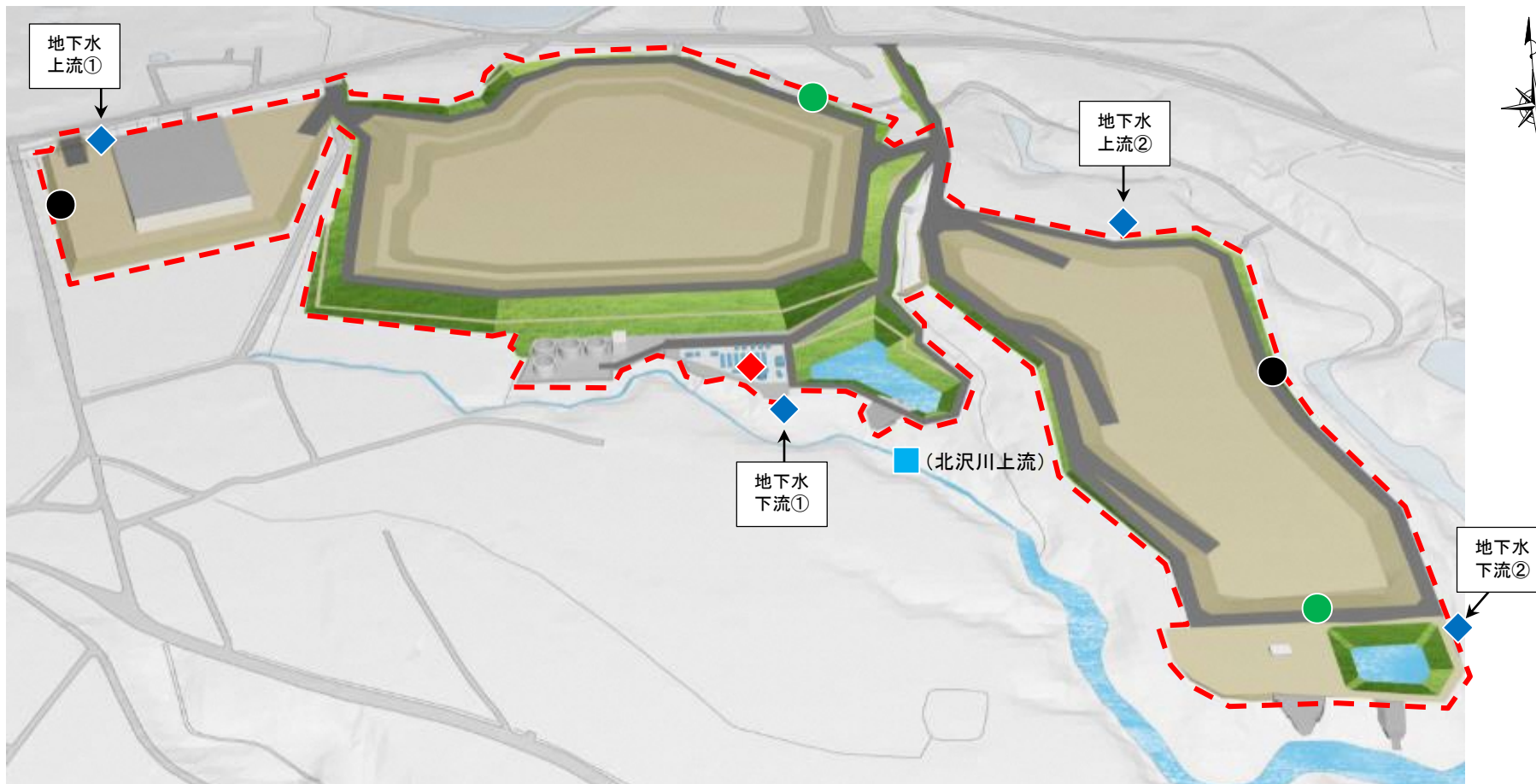
NDとは、定量下限値未満であることを示す。

土壌貯蔵施設のモニタリング結果（年次測定）

以下の施設については、中間貯蔵施設環境安全委員会（第18回）でモニタリング結果を報告して以降、年次測定は実施していないため、今回は報告対象外。

- ・大熊②工区
- ・大熊③工区
- ・大熊④工区
- ・双葉①工区東側
- ・双葉①工区西側

土壌貯蔵施設（大熊①工区）のモニタリング測定地点（年次測定）



☆：施設の位置



【凡例】

●：騒音・振動

●：悪臭

◆：地下水(井戸)の環境項目

◆：浸出水処理施設放流水の排水基準項目

■：放流先河川の環境項目

---：敷地境界線

土壌貯蔵施設（大熊①工区）のモニタリング測定結果（年次測定）①

●騒音

測定地点	測定項目		騒音レベル (dB)
	測定日		
北側	2018/7/11 (稼働前)		55
	2020/11/10 (稼働後)		55
南側	2020/2/12 (稼働前)		53
	2020/11/10 (稼働後)		54

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

●振動

測定地点	測定項目		振動レベル (dB)
	測定日		
北側	2018/7/11 (稼働前)		30未満
	2020/11/19 (稼働後)		33
南側	2020/2/12 (稼働前)		32
	2020/11/19 (稼働後)		30未満

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

●悪臭

測定地点	測定項目		臭気指数
	測定日		
西側	2020/2/12 (稼働前)		10未満（風上）
	2020/11/9 (稼働後)		10未満（風上）
東側	2020/2/12 (稼働前)		10未満（風下）
	2020/11/9 (稼働後)		10未満（風下）

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

◆地下水（井戸）の環境項目

測定地点	測定項目		アルキル水銀 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	カドミウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)	砒素 (mg/L)	全シアン (mg/L)
	測定日								
	地下水環境基準		検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下	0.01以下	検出されないこと
上流①	2018/7/11 (稼働前)		不検出	ND	0.0023	0.028	ND	0.014	不検出
	2020/11/11 (稼働後)		不検出	ND	0.0007	0.004	ND	0.022	不検出
上流②	2020/2/24 (稼働前)		不検出	ND	ND	0.022	ND	0.005	不検出
	2020/11/10 (稼働後)		不検出	ND	ND	ND	ND	0.001	不検出
下流①	2018/7/11 (稼働前)		不検出	ND	0.0037	0.12	ND	0.027	不検出
	2020/11/9 (稼働後)		不検出	ND	0.0004	0.003	ND	0.001	不検出
下流②	2020/2/24 (稼働前)		不検出	ND	ND	0.005	ND	0.001	不検出
	2020/11/10 (稼働後)		不検出	ND	ND	ND	ND	ND	不検出

測定地点	測定項目		PCB (mg/L)	トクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)
	測定日								
	地下水環境基準		検出されないこと	0.01以下	0.01以下	0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下
上流①	2018/7/11 (稼働前)		不検出	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2020/11/11 (稼働後)		不検出	ND	ND	0.06	ND	ND	ND
上流②	2020/2/24 (稼働前)		不検出	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2020/11/10 (稼働後)		不検出	ND	ND	ND	ND	ND	ND
下流①	2018/7/11 (稼働前)		不検出	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2020/11/9 (稼働後)		不検出	ND	ND	ND	ND	ND	ND
下流②	2020/2/24 (稼働前)		不検出	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2020/11/10 (稼働後)		不検出	ND	ND	0.01	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)	チオベンカルブ (mg/L)
	測定日								
	地下水環境基準		0.04以下	1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下	0.02以下
上流①	2018/7/11 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2020/11/11 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
上流②	2020/2/24 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2020/11/10 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
下流①	2018/7/11 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2020/11/9 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
下流②	2020/2/24 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2020/11/10 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)	クロロエチレン (mg/L)	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
	測定日						
	地下水環境基準		0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下	1以下
上流①	2018/7/11 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	0.75
	2020/11/11 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	0.62
上流②	2020/2/24 (稼働前)		ND	0.002	ND	ND	0.18
	2020/11/10 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	0.056
下流①	2018/7/11 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	17
	2020/11/9 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	0.12
下流②	2020/2/24 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	0.12
	2020/11/10 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	0.057

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

土壌貯蔵施設（大熊①工区）のモニタリング測定結果（年次測定）②

◆ 浸出水処理施設放流水の排水基準項目

測定項目	アルキル水銀化合物 (mg/L)	水銀及びアルキル水銀その 他の水銀化合物 (mg/L)	カドミウム及び その化合物 (mg/L)	鉛及びその化合物 (mg/L)	有機塩化合物 (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	検出されないこと	0.005	0.03	0.1	1
2020/11/9 (稼働後)	不検出	ND	ND	ND	ND

測定項目	六価クロム化合物 (mg/L)	砒素及びその化合物 (mg/L)	シアン化合物 (mg/L)	ポリ塩化ビフェニル (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.5	0.1	1	0.003	0.1
2020/11/9 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	テトラクロロエチレン (mg/L)	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.1	0.2	0.02	0.04	1
2020/11/9 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.4	3	0.06	0.02	0.06
2020/11/9 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	シマジン (mg/L)	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン及びその化合物 (mg/L)	1,4-ジオキササン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.03	0.2	0.1	0.1	0.5
2020/11/9 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	ほう素及びその化合物 (mg/L)	ふっ素及びその化合物 (mg/L)	アンモニア、アンモニウム化合物、亜 硝酸化合物及び硝酸化合物 (mg/L)	ノルマルヘキサン抽出物含有量 (鉱油類含有量) (mg/L)	ノルマルヘキサン抽出物含有量 (動植物油類含有量) (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	50	15	200	5	30
2020/11/9 (稼働後)	ND	ND	2.3	ND	ND

測定項目	フェノール類含有量 (mg/L)	銅含有量 (mg/L)	亜鉛含有量 (mg/L)	溶解性鉄含有量 (mg/L)	溶解性マンガン含有量 (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	5	3	2	10	10
2020/11/9 (稼働後)	ND	ND	ND	0.2	2.3

測定項目	クロム含有量 (mg/L)	大腸菌群数 (個/cm ³)	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
測定日	(mg/L)	(個/cm ³)	(pg-TEQ/L)
浸出水処理施設の排水基準	2	3000	10
2020/11/9 (稼働後)	ND	3	0.043

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

■ 放流先河川の環境項目

測定項目	カドミウム (mg/L)	全シアン (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)	砒素 (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.003	検出されないこと	0.01	0.05	0.01
2018/7/11 (稼働前)	0.0015	不検出	ND	ND	ND
2020/11/9 (稼働後)	ND	不検出	ND	ND	ND

測定項目	総水銀 (mg/L)	アルキル水銀 (mg/L)	PCB (mg/L)	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.0005	検出されないこと	検出されないこと	0.02	0.002
2018/7/11 (稼働前)	ND	不検出	不検出	ND	ND
2020/11/9 (稼働後)	ND	不検出	不検出	ND	ND

測定項目	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.004	0.1	0.04	1	0.006
2018/7/11 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
2020/11/9 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.01	0.01	0.002	0.006	0.003
2018/7/11 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
2020/11/9 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	フッ素 (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.02	0.01	0.01	10	0.8
2018/7/11 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
2020/11/9 (稼働後)	ND	ND	ND	0.2	0.4

測定項目	ホウ素 (mg/L)	1,4-ジオキササン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	1	0.05
2018/7/11 (稼働前)	ND	ND
2020/11/9 (稼働後)	ND	ND

測定項目	水素イオン濃度 (pH) ※	生物化学的酸素要求量 (BOD) ※ (mg/L)	浮遊物質 (SS) ※ (mg/L)	溶存酸素量 (DO) ※ (mg/L)	大腸菌群数 ※ (MPN/100mL)
測定日					
2018/7/11 (稼働前)	6.8	2	15	8.2	230000
2020/11/9 (稼働後)	7.5	0.7	2	9.1	1300

※中間貯蔵施設区域及び周辺の河川は、環境基準の水質類型に指定されていない。

(参考) 河川C類型の環境基準：pH 6.5～8.5、BOD 5mg/L以下、SS 50mg/L以上、DO 5mg/L以上

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

土壌貯蔵施設（大熊⑤工区）のモニタリング測定地点（年次測定）



【凡例】

★：施設の位置

●：騒音・振動

●：悪臭

◆：地下水(井戸)の環境項目

---：敷地境界線

※当該施設の測定結果は、中間貯蔵施設環境安全委員会（第18回）で報告済。
本資料は、第18回以降に拡張された貯蔵エリア（J1区画）の報告となる。

土壌貯蔵施設（大熊⑤工区）のモニタリング測定結果（年次測定）

●騒音

測定地点	測定項目		騒音レベル (dB)
	測定日		
西側②	2020/7/31	(稼働前)	68
	2020/11/25	(稼働後)	56
東側②	2020/7/31	(稼働前)	63
	2020/11/25	(稼働後)	61

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

●振動

測定地点	測定項目		振動レベル (dB)
	測定日		
西側②	2020/7/31	(稼働前)	44
	2020/11/25	(稼働後)	34
東側②	2020/7/31	(稼働前)	48
	2020/11/25	(稼働後)	52

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

●悪臭

測定地点	測定項目		臭気指数
	測定日		
北側②	2020/7/28	(稼働前)	10未満（風下）
	2020/11/25	(稼働後)	10未満（風上）
南側②	2020/7/28	(稼働前)	10未満（風上）
	2020/11/25	(稼働後)	10未満（風下）

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

◆地下水（井戸）の環境項目

測定地点	測定項目		アルキル水銀 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	カドミウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)	砒素 (mg/L)	全シアン (mg/L)
	測定日		検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下	0.01以下	検出されないこと
下流②	2020/7/31	(稼働前)	不検出	ND	ND	0.009	ND	ND	不検出
	2020/11/25	(稼働後)	不検出	ND	ND	0.065	ND	0.002	不検出

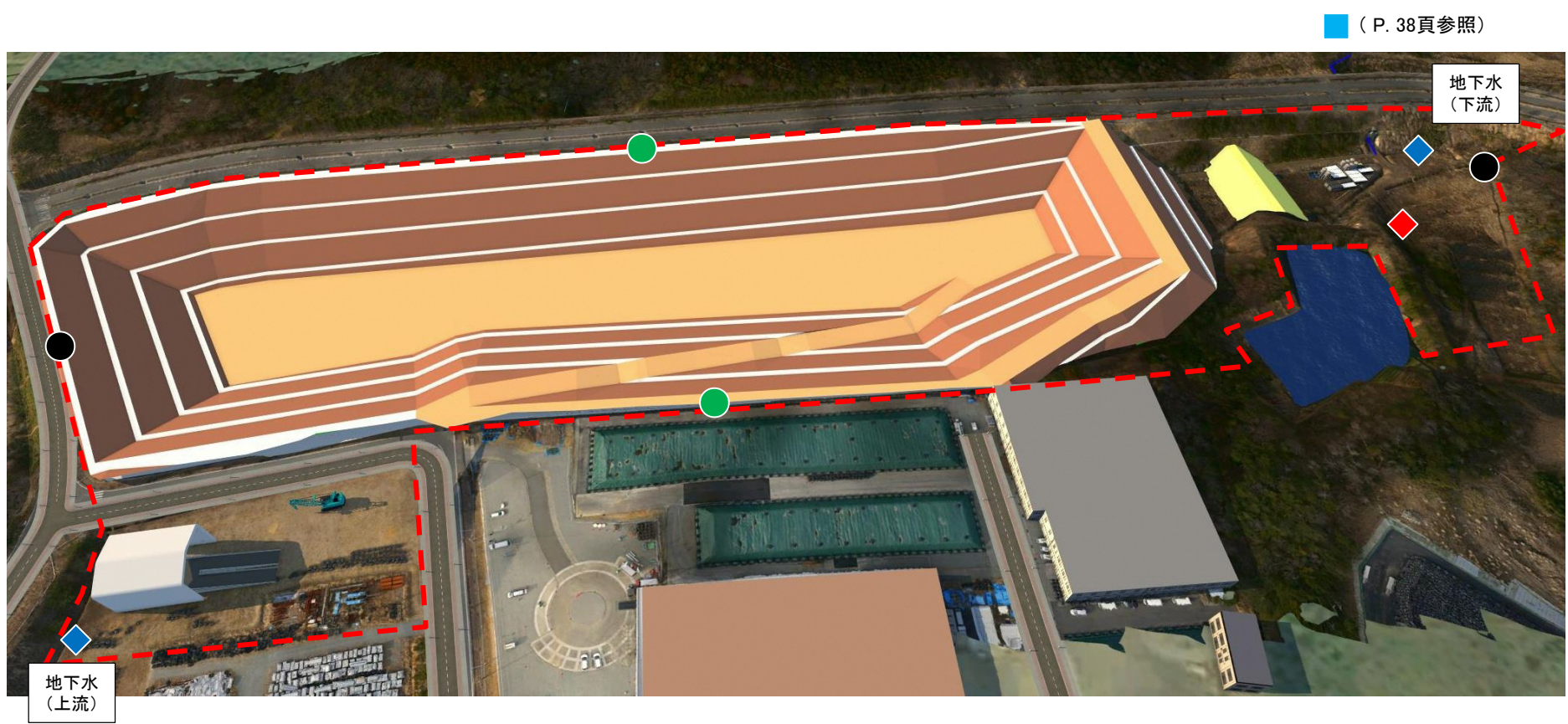
測定地点	測定項目		PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)
	測定日		検出されないこと	0.01以下	0.01以下	0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下
下流②	2020/7/31	(稼働前)	不検出	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2020/11/25	(稼働後)	不検出	ND	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)	チオベンカルブ (mg/L)
	測定日		0.04以下	1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下	0.02以下
下流②	2020/7/31	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2020/11/25	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	1,4-ジオキササン (mg/L)	クロロエチレン (mg/L)	ダイオキシソ類 (pg-TEQ/L)
	測定日		0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下	1以下
下流②	2020/7/31	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	0.027
	2020/11/25	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	0.11

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

土壌貯蔵施設（双葉②工区）のモニタリング測定地点（年次測定）



☆ : 施設の位置



【 凡例 】

● : 騒音・振動

● : 悪臭

◆ : 地下水(井戸)の環境項目

◆ : 浸出水処理施設放流水の排水基準項目

■ : 放流先河川の環境項目

--- : 敷地境界線

土壌貯蔵施設（双葉②工区）のモニタリング測定結果（年次測定）①

●騒音

測定地点	測定項目		騒音レベル (dB)
	測定日		
北側	2019/5/21 (稼働前)		52
	2020/12/7 (稼働後)		71
南側	2019/5/21 (稼働前)		80
	2020/12/7 (稼働後)		73

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

●振動

測定地点	測定項目		振動レベル (dB)
	測定日		
北側	2019/5/21 (稼働前)		35
	2020/12/7 (稼働後)		45
南側	2019/5/21 (稼働前)		38
	2020/12/7 (稼働後)		41

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

●悪臭

測定地点	測定項目		臭気指数
	測定日		
西側	2019/5/21 (稼働前)		10未満 (風上)
	2020/12/7 (稼働後)		10未満 (風上)
東側	2019/5/21 (稼働前)		10未満 (風下)
	2020/12/7 (稼働後)		10未満 (風下)

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

◆地下水（井戸）の環境項目

測定地点	測定項目		アルキル水銀 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	カドミウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
上流	2019/5/8 (稼働前)		不検出	ND	ND	ND	ND
	2020/12/7 (稼働後)		不検出	ND	ND	0.018	ND
下流	2019/5/8 (稼働前)		不検出	ND	0.0003	0.073	ND
	2020/12/7 (稼働後)		不検出	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		砒素 (mg/L)	全シアン (mg/L)	PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流	2019/5/8 (稼働前)		0.006	不検出	不検出	ND	ND
	2020/12/7 (稼働後)		0.025	不検出	不検出	ND	ND
下流	2019/5/8 (稼働前)		0.007	不検出	不検出	ND	ND
	2020/12/7 (稼働後)		ND	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定項目		ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流	2019/5/8 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/12/7 (稼働後)		0.12	ND	ND	ND	ND
下流	2019/5/8 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/12/7 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
上流	2019/5/8 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/12/7 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/5/8 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/12/7 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)	クロロエチレン (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
上流	2019/5/8 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/12/7 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/5/8 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/12/7 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
	測定日		
	地下水環境基準		1以下
上流	2019/5/8 (稼働前)		0.23
	2020/12/7 (稼働後)		0.037
下流	2019/5/8 (稼働前)		0.057
	2020/12/7 (稼働後)		0.024

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

土壌貯蔵施設（双葉②工区）のモニタリング測定結果（年次測定）②

◆ 浸出水処理施設放流水の排水基準項目

測定項目	アルキル水銀化合物 (mg/L)	水銀及びアルキル水銀その 他の水銀化合物 (mg/L)	カドミウム及び その化合物 (mg/L)	鉛及びその化合物 (mg/L)	有機塩化合物 (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	検出されないこと	0.005	0.03	0.1	1
2020/12/7 (稼働後)	不検出	ND	ND	ND	ND

測定項目	六価クロム化合物 (mg/L)	砒素及びその化合物 (mg/L)	シアン化合物 (mg/L)	ポリ塩化ビフェニル (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.5	0.1	1	0.003	0.1
2020/12/7 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	テトラクロロエチレン (mg/L)	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.1	0.2	0.02	0.04	1
2020/12/7 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.4	3	0.06	0.02	0.06
2020/12/7 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	シマジン (mg/L)	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン及びその化合物 (mg/L)	1,4-ジオキササン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.03	0.2	0.1	0.1	0.5
2020/12/7 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	ほう素及びその化合物 (mg/L)	ふっ素及びその化合物 (mg/L)	アンモニア、アンモニウム化合物、亜 硝酸化合物及び硝酸化合物 (mg/L)	ノルマルヘキサン抽出物含有量 (鉱油類含有量) (mg/L)	ノルマルヘキサン抽出物含有量 (動植物油類含有量) (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	50	15	200	5	30
2020/12/7 (稼働後)	ND	ND	5.3	ND	ND

測定項目	フェノール類含有量 (mg/L)	銅含有量 (mg/L)	亜鉛含有量 (mg/L)	溶解性鉄含有量 (mg/L)	溶解性マンガン含有量 (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	5	3	2	10	10
2020/12/7 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	4.4

測定項目	クロム含有量 (mg/L)	大腸菌群数 (個/cm3)	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
測定日	(mg/L)	(個/cm3)	(pg-TEQ/L)
浸出水処理施設の排水基準	2	3000	10
2020/12/7 (稼働後)	ND	120	0.00076

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

■ 放流先河川の環境項目

測定項目	カドミウム (mg/L)	全シアン (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)	砒素 (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.003	検出されないこと	0.01	0.05	0.01
2019/4/24 (稼働前)	ND	不検出	ND	ND	0.002
2020/12/7 (稼働後)	ND	不検出	ND	ND	ND

測定項目	総水銀 (mg/L)	アルキル水銀 (mg/L)	PCB (mg/L)	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.0005	検出されないこと	検出されないこと	0.02	0.002
2019/4/24 (稼働前)	ND	不検出	不検出	ND	ND
2020/12/7 (稼働後)	ND	不検出	不検出	ND	ND

測定項目	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.004	0.1	0.04	1	0.006
2019/4/24 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
2020/12/7 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.01	0.01	0.002	0.006	0.003
2019/4/24 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
2020/12/7 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	フッ素 (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.02	0.01	0.01	10	0.8
2019/4/24 (稼働前)	ND	ND	ND	0.5	0.14
2020/12/7 (稼働後)	ND	ND	ND	0.5	0.09

測定項目	ホウ素 (mg/L)	1,4-ジオキササン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	1	0.05
2019/4/24 (稼働前)	ND	ND
2020/12/7 (稼働後)	ND	ND

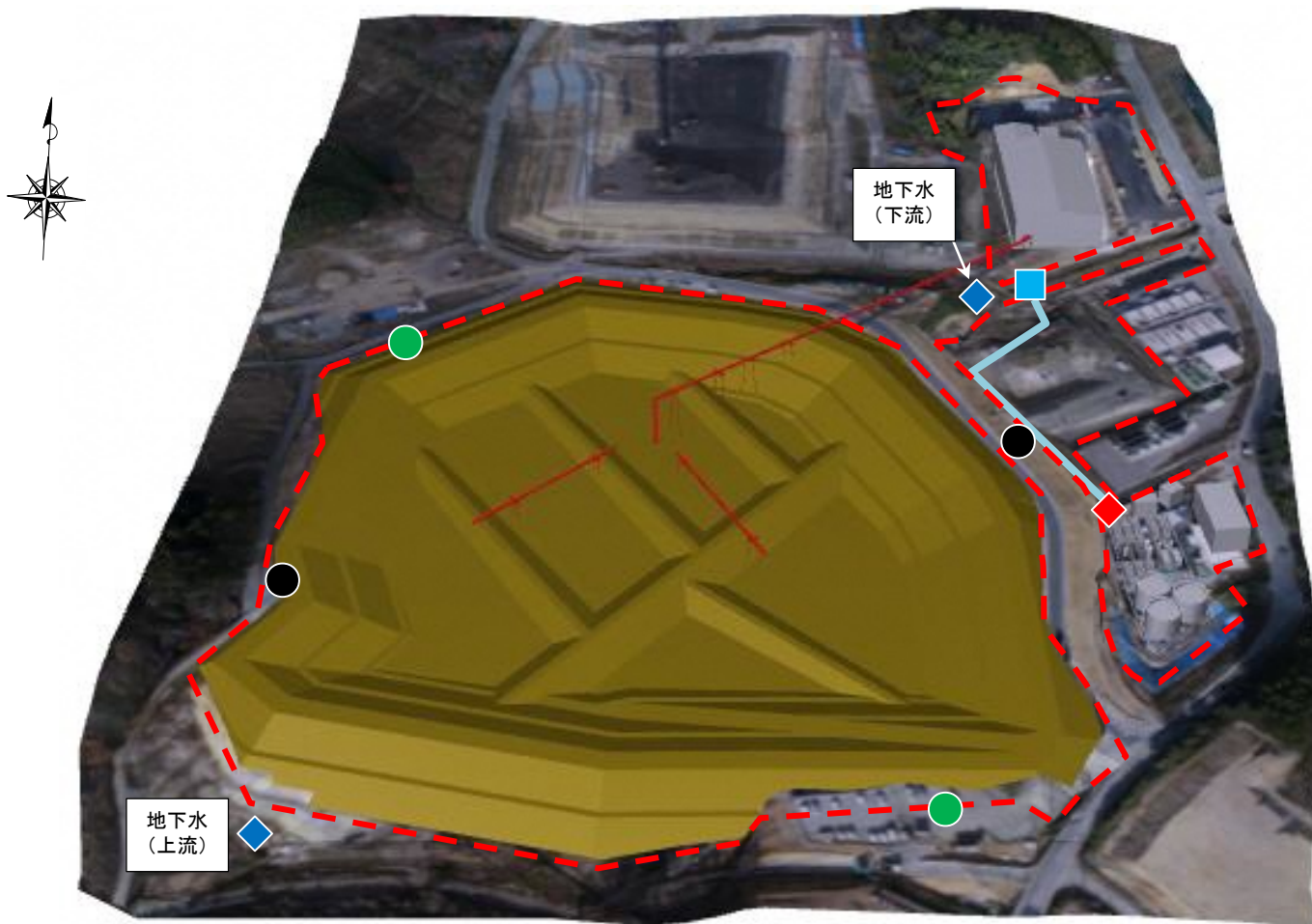
測定項目	水素イオン濃度 (pH) ※	生物化学的酸素要求量 (BOD) ※ (mg/L)	浮遊物質 (SS) ※ (mg/L)	溶存酸素量 (DO) ※ (mg/L)	大腸菌群数 ※ (MPN/100mL)
測定日		(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(MPN/100mL)
2019/4/24 (稼働前)	7.9	2.2	140	10.2	1400
2020/12/7 (稼働後)	7.7	1.7	7	10.4	110

※中間貯蔵施設区域及び周辺の河川は、環境基準の水質類型に指定されていない。

(参考) 河川C類型の環境基準：pH 6.5～8.5、BOD 5mg/L以下、SS 50mg/L以上、DO 5mg/L以上

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

土壌貯蔵施設（双葉③工区）のモニタリング測定地点（年次測定）



☆：施設の位置



【凡例】

●：騒音・振動

●：悪臭

◆：地下水(井戸)の環境項目

◆：浸出水処理施設放流水の排水基準項目

■：放流先河川的环境項目

---：敷地境界線

土壌貯蔵施設（双葉③工区）のモニタリング測定結果（年次測定）①

●騒音

測定地点	測定項目		騒音レベル (dB)
	測定日		
北側	2019/12/21 (稼働前)		40
	2020/2/18 (稼働後)		59
南側	2019/12/21 (稼働前)		44
	2020/2/18 (稼働後)		60

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

●振動

測定地点	測定項目		振動レベル (dB)
	測定日		
北側	2019/12/21 (稼働前)		25未満
	2020/2/18 (稼働後)		36
南側	2019/12/21 (稼働前)		25未満
	2020/2/18 (稼働後)		39

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

●悪臭

測定地点	測定項目		臭気指数
	測定日		
西側	2019/12/16 (稼働前)		10未満 (風下)
	2020/2/18 (稼働後)		10未満 (風上)
東側	2019/12/16 (稼働前)		10未満 (風上)
	2020/2/18 (稼働後)		10未満 (風下)

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

◆地下水（井戸）の環境項目

測定地点	測定項目		アルキル水銀 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	ガドリウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)
	測定日						
上流	2019/12/22 (稼働前)		検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
	2020/2/18 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/12/22 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/2/18 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		砒素 (mg/L)	全シアン (mg/L)	PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)
	測定日						
上流	2019/12/22 (稼働前)		0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
	2020/2/18 (稼働後)		ND	不検出	不検出	ND	ND
下流	2019/12/22 (稼働前)		ND	不検出	不検出	ND	ND
	2020/2/18 (稼働後)		ND	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定項目		ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)
	測定日						
上流	2019/12/22 (稼働前)		0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
	2020/2/18 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/12/22 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/2/18 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
	測定日						
上流	2019/12/22 (稼働前)		1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
	2020/2/18 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/12/22 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/2/18 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)	クロロエチレン (mg/L)
	測定日						
上流	2019/12/22 (稼働前)		0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
	2020/2/18 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/12/22 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2020/2/18 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
	測定日		
上流	2019/12/22 (稼働前)		1以下
	2020/3/13 (稼働後)		0.81
下流	2019/12/22 (稼働前)		0.72
	2020/5/1 (稼働後)		0.25

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

土壌貯蔵施設（双葉③工区）のモニタリング測定結果（年次測定）②

◆ 浸出水処理施設放流水の排水基準項目

測定項目	アルキル水銀化合物	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	カドミウム及びその化合物	鉛及びその化合物	有機燐化合物
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	検出されないこと	0.005	0.03	0.1	1
2020/2/19 (稼働後)	不検出	ND	ND	ND	ND

測定項目	六価クロム化合物	砒素及びその化合物	シアン化合物	ポリ塩化ビフェニル	トリクロロエチレン
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.5	0.1	1	0.003	0.1
2020/2/19 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	テトラクロロエチレン	ジクロロメタン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.1	0.2	0.02	0.04	1
2020/2/19 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	チウラム
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.4	3	0.06	0.02	0.06
2020/2/19 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	シマジン	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン及びその化合物	1,4-ジオキサソ
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.03	0.2	0.1	0.1	0.5
2020/2/19 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	ほう素及びその化合物	ふっ素及びその化合物	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	ノルマルヘキサン抽出物含有量(鉱油類含有量)	ノルマルヘキサン抽出物含有量(動植物油類含有量)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	50	15	200	5	30
2020/2/19 (稼働後)	ND	0.13	1.1	ND	ND

測定項目	フェノール類含有量	銅含有量	亜鉛含有量	溶解性鉄含有量	溶解性マンガン含有量
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	5	3	2	10	10
2020/2/19 (稼働後)	ND	ND	0.25	0.56	0.3

測定項目	クロム含有量	大腸菌群数	ダイオキシン類
測定日	(mg/L)	(個/cm ³)	(pg-TEQ/L)
浸出水処理施設の排水基準	2	3000	10
2020/2/19 (稼働後)	ND	4	0.017

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

■ 放流先河川の環境項目

測定項目	カドミウム	全シアン	鉛	六価クロム	砒素
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.003	検出されないこと	0.01	0.05	0.01
2019/12/17 (稼働前)	ND	不検出	0.001	ND	0.002
2020/2/18 (稼働後)	ND	不検出	ND	ND	ND

測定項目	総水銀	アルキル水銀	PCB	ジクロロメタン	四塩化炭素
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.0005	検出されないこと	検出されないこと	0.02	0.002
2019/12/17 (稼働前)	ND	不検出	不検出	ND	ND
2020/2/18 (稼働後)	ND	不検出	不検出	ND	ND

測定項目	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.004	0.1	0.04	1	0.006
2019/12/17 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
2020/2/18 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,3-ジクロロプロペン	チウラム	シマジン
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.01	0.01	0.002	0.006	0.003
2019/12/17 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
2020/2/18 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	フッ素
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.02	0.01	0.01	10	0.8
2019/12/17 (稼働前)	ND	ND	ND	0.3	0.09
2020/2/18 (稼働後)	ND	ND	ND	0.4	ND

測定項目	ホウ素	1,4-ジオキサソ
測定日	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	1	0.05
2019/12/17 (稼働前)	ND	ND
2020/2/18 (稼働後)	ND	ND

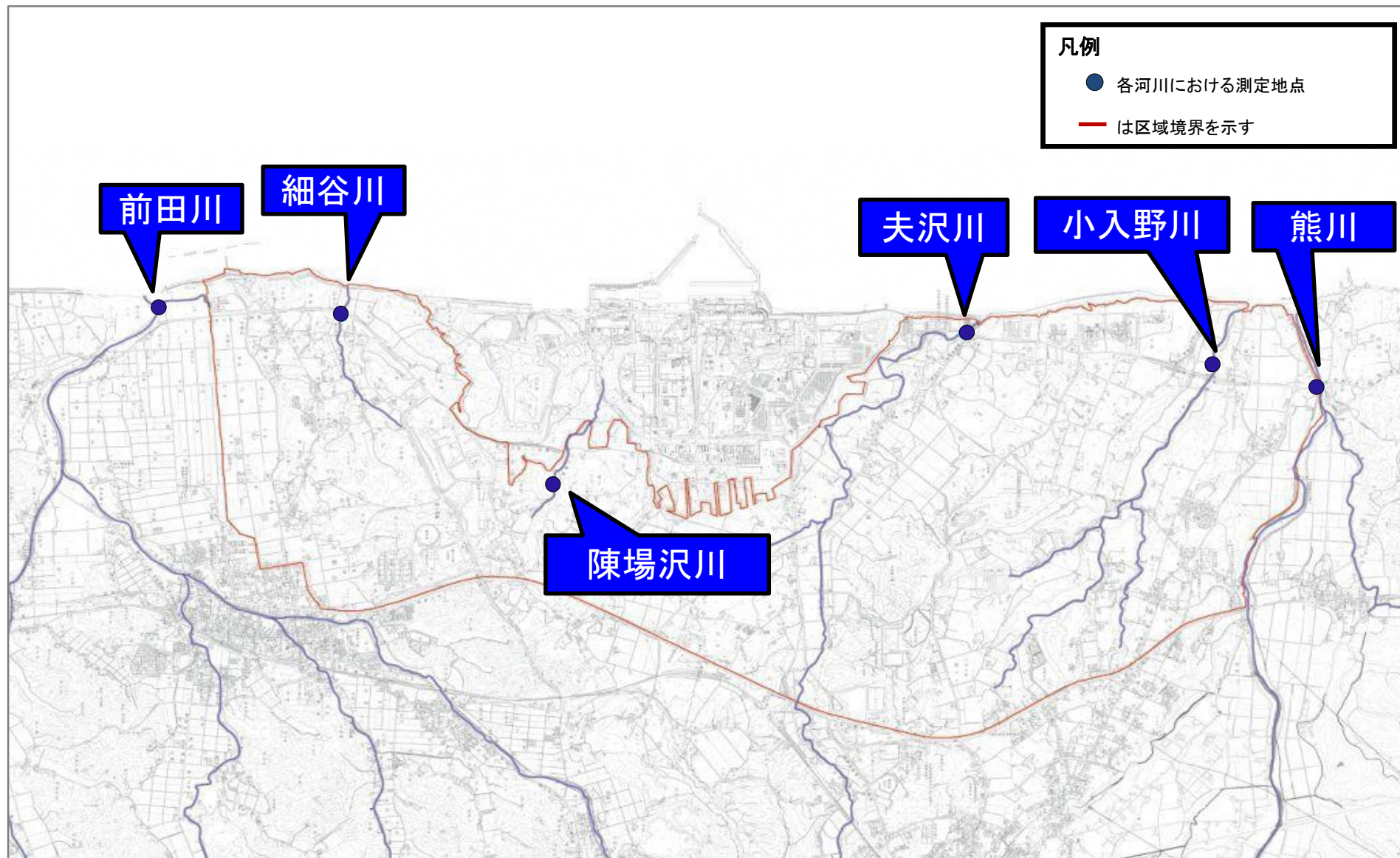
測定項目	水素イオン濃度 (pH) ※	生物化学的酸素要求量 (BOD) ※	浮遊物質 (SS) ※	溶存酸素量 (DO) ※	大腸菌群数 ※
測定日		(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(MPN/100mL)
2019/12/17 (稼働前)	7.6	2	66	10	1700
2020/2/18 (稼働後)	7.6	1.6	14	15	240

※中間貯蔵施設区域及び周辺の河川は、環境基準の水域類型に指定されていない。

(参考) 河川C類型の環境基準：pH 6.5～8.5、BOD 5mg/L以下、SS 50mg/L以下、DO 5mg/L以上

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

河川最下流における放射性セシウムの測定地点



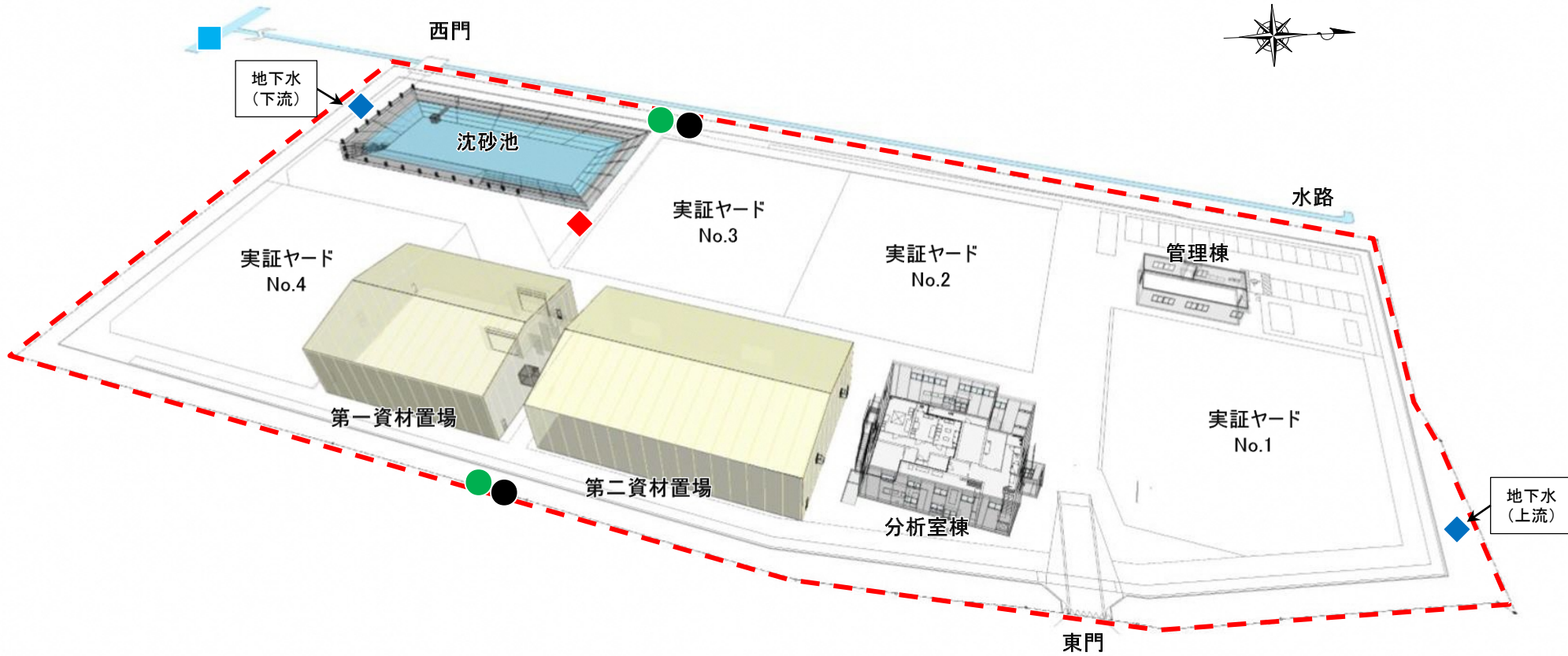
廃棄物貯蔵施設のモニタリング結果（年次測定）

以下の施設については、中間貯蔵施設環境安全委員会（第18回）でモニタリング結果を報告して以降、年次測定は実施していないため、今回は報告対象外。

- ・大熊1工区
- ・双葉1工区

技術実証フィールドのモニタリング結果（年次測定）

技術実証フィールドのモニタリング測定地点（年次測定）



☆：施設の位置

【凡例】

●：騒音・振動

●：悪臭

◆：地下水(井戸)の環境項目

◆：実証試験排水の排水基準項目

■：放流先河川的环境項目

---：敷地境界線

技術実証フィールドのモニタリング測定結果（年次測定）①

●騒音

測定地点	測定項目		騒音レベル (dB)
	測定日		
西側	2019/9/21	(稼働前)	38
	2020/10/29	(稼働後)	46
東側	2019/9/21	(稼働前)	38
	2020/10/29	(稼働後)	58

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

●振動

測定地点	測定項目		振動レベル (dB)
	測定日		
西側	2019/9/21	(稼働前)	30未満
	2020/10/29	(稼働後)	31
東側	2019/9/21	(稼働前)	30未満
	2020/10/29	(稼働後)	30未満

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

●悪臭

測定地点	測定項目		臭気指数
	測定日		
西側	2019/9/21	(稼働前)	10未満 (風下)
	2020/10/1	(稼働後)	10未満 (無風)
東側	2019/9/21	(稼働前)	10未満 (風上)
	2020/10/1	(稼働後)	10未満 (無風)

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

◆地下水（井戸）の環境項目

測定地点	測定項目		アルキル水銀 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	カドミウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
上流	2019/9/6	(稼働前)	不検出	ND	ND	ND	ND
	2020/10/1	(稼働後)	不検出	ND	ND	ND	ND
下流	2019/9/6	(稼働前)	不検出	ND	0.0007	0.094	ND
	2020/10/1	(稼働後)	不検出	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		砒素 (mg/L)	全シアン (mg/L)	PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流	2019/9/6	(稼働前)	0.039	不検出	不検出	ND	ND
	2020/10/1	(稼働後)	ND	不検出	不検出	ND	ND
下流	2019/9/6	(稼働前)	0.014	不検出	不検出	ND	ND
	2020/10/1	(稼働後)	ND	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定項目		ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流	2019/9/6	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2020/10/1	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/9/6	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2020/10/1	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
上流	2019/9/6	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2020/10/1	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/9/6	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2020/10/1	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)	クロロエチレン (mg/L)
	測定日						
	地下水環境基準		0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
上流	2019/9/6	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2020/10/1	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/9/6	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2020/10/1	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
	測定日		
	地下水環境基準		1以下
上流	2019/9/6	(稼働前)	0.043
	2020/10/1	(稼働後)	0.047
下流	2019/9/6	(稼働前)	4
	2020/10/1	(稼働後)	0.049

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

技術実証フィールドのモニタリング測定結果（年次測定）②

◆実証試験排水の排水基準項目

測定項目	アルキル水銀化合物 (mg/L)	水銀及びアルキル水銀その 他の水銀化合物 (mg/L)	カドミウム及び その化合物 (mg/L)	鉛及びその化合物 (mg/L)	有機塩素化合物 (mg/L)
測定日					
浸出水処理施設の排水基準	検出されないこと	0.005	0.03	0.1	1
2020/10/1 (稼働後)	不検出	ND	ND	ND	ND

測定項目	六価クロム化合物 (mg/L)	砒素及びその化合物 (mg/L)	シアン化合物 (mg/L)	ポリ塩化ビフェニル (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)
測定日					
浸出水処理施設の排水基準	0.5	0.1	1	0.003	0.1
2020/10/1 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	テトラクロロエチレン (mg/L)	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)
測定日					
浸出水処理施設の排水基準	0.1	0.2	0.02	0.04	1
2020/10/1 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)
測定日					
浸出水処理施設の排水基準	0.4	3	0.06	0.02	0.06
2020/10/1 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	シマジン (mg/L)	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン及びその化合物 (mg/L)	1,4-ジオキサソ (mg/L)
測定日					
浸出水処理施設の排水基準	0.03	0.2	0.1	0.1	0.5
2020/10/1 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	ほう素及びその化合物 (mg/L)	ふっ素及びその化合物 (mg/L)	アンモニア、アンモニウム化合物、亜 硝酸化合物及び硝酸化合物 (mg/L)	ノルマルヘキサン抽出物含有量 (鉱油類含有量) (mg/L)	ノルマルヘキサン抽出物含有量 (動植物油類含有量) (mg/L)
測定日					
浸出水処理施設の排水基準	50	15	200	5	30
2020/10/1 (稼働後)	ND	ND	10	ND	ND

測定項目	フェノール類含有量 (mg/L)	銅含有量 (mg/L)	亜鉛含有量 (mg/L)	溶解性鉄含有量 (mg/L)	溶解性マンガン含有量 (mg/L)
測定日					
浸出水処理施設の排水基準	5	3	2	10	10
2020/10/1 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	クロム含有量 (mg/L)	大腸菌群数 (個/cm ³)	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
測定日			
浸出水処理施設の排水基準	2	3000	10
2020/10/1 (稼働後)	ND	0	0.0021

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

■放流先河川の環境項目

測定項目	カドミウム (mg/L)	全シアン (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)	砒素 (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.003	検出されないこと	0.01	0.05	0.01
2019/9/27 (稼働前)	ND	不検出	ND	ND	ND
2020/10/1 (稼働後)	ND	不検出	ND	ND	ND

測定項目	総水銀 (mg/L)	アルキル水銀 (mg/L)	PCB (mg/L)	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.0005	検出されないこと	検出されないこと	0.02	0.002
2019/9/27 (稼働前)	ND	不検出	不検出	ND	ND
2020/10/1 (稼働後)	ND	不検出	不検出	ND	ND

測定項目	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.004	0.1	0.04	1	0.006
2019/9/27 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
2020/10/1 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.01	0.01	0.002	0.006	0.003
2019/9/27 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
2020/10/1 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	フッ素 (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.02	0.01	0.01	10	0.8
2019/9/27 (稼働前)	ND	ND	ND	0.09	0.09
2020/10/1 (稼働後)	ND	ND	ND	0.2	ND

測定項目	ホウ素 (mg/L)	1,4-ジオキサソ (mg/L)
測定日		
水質環境基準	1	0.05
2019/9/27 (稼働前)	ND	ND
2020/10/1 (稼働後)	ND	ND

測定項目	水素イオン濃度 (pH) ※	生物化学的酸素要求量 (BOD) ※ (mg/L)	浮遊物質 (SS) ※ (mg/L)	溶存酸素量 (DO) ※ (mg/L)	大腸菌群数 ※ (MPN/100mL)
測定日					
2019/9/27 (稼働前)	8	1.3	ND	11.7	11000
2020/10/1 (稼働後)	8	1.8	1.2	9.8	17000

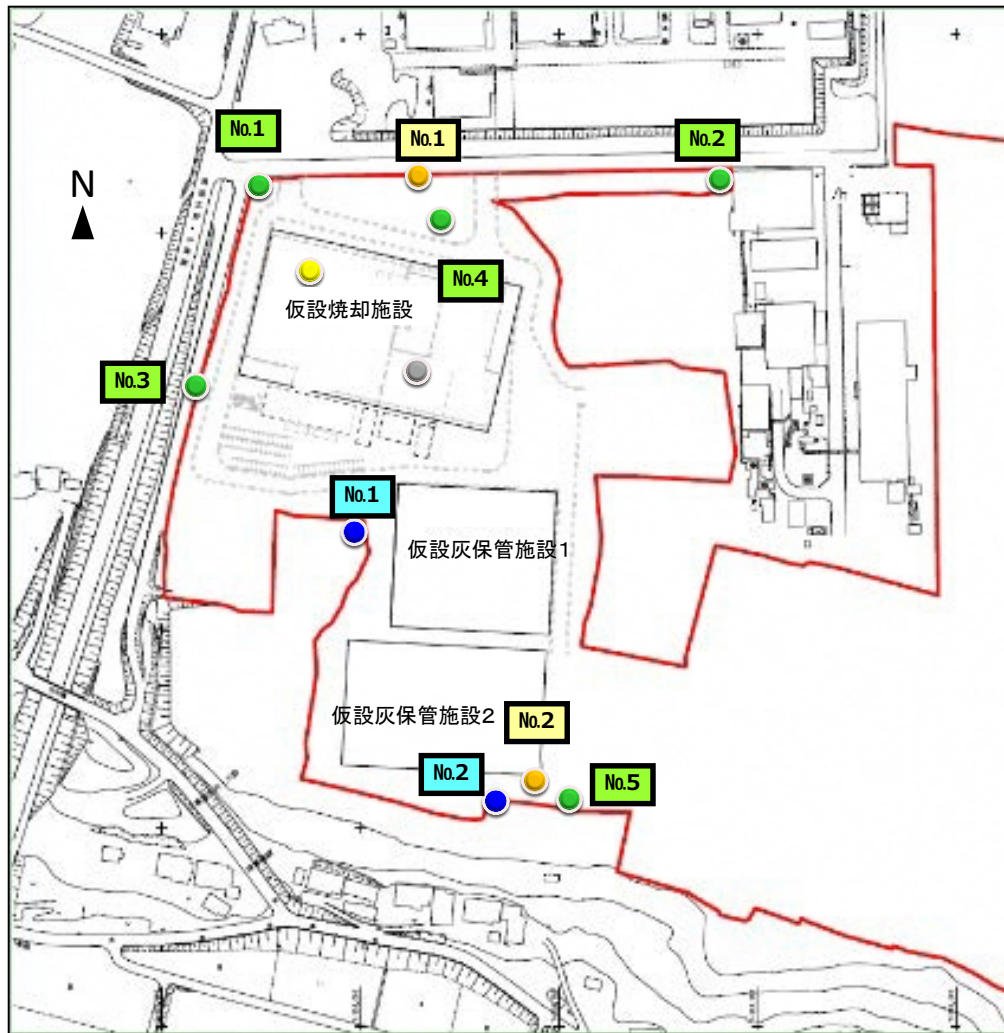
※中間貯蔵施設区域及び周辺の河川は、環境基準の水質類型に指定されていない。

(参考) 河川C類型の環境基準：pH 6.5～8.5、BOD 5mg/L以下、SS 50mg/L以上、DO 5mg/L以上

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

仮設焼却施設のモニタリング結果

大熊町仮設焼却施設のモニタリング測定地点



凡例

- | | |
|----------------------|---------|
| ● 排ガス中の放射性物質濃度 | ● 空間線量率 |
| ● 地下水(井戸)中の放射性物質濃度 | ● 粉じん濃度 |
| ● 雨水(雨水排水集水桝)中の放射能濃度 | |

大熊町仮設焼却施設のモニタリング測定結果

● 排ガス

測定地点	放射能濃度 (Bq/m ³ _N)	
煙突測定口	2020/7～ 2021/2	ND

検出下限値: 4Bq/m³_N
NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

● 地下水

測定地点	放射能濃度 (Bq/L)	
No.1	2020/7～ 2021/2	ND
No.2	2020/7～ 2021/2	ND

検出下限値: 1Bq/L
NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

● 粉じん

測定地点	粉じん濃度 (mg/m ³)	
受入ヤード 破砕機近傍	2020/7～ 2020/2	0.34～1.50

● 雨水

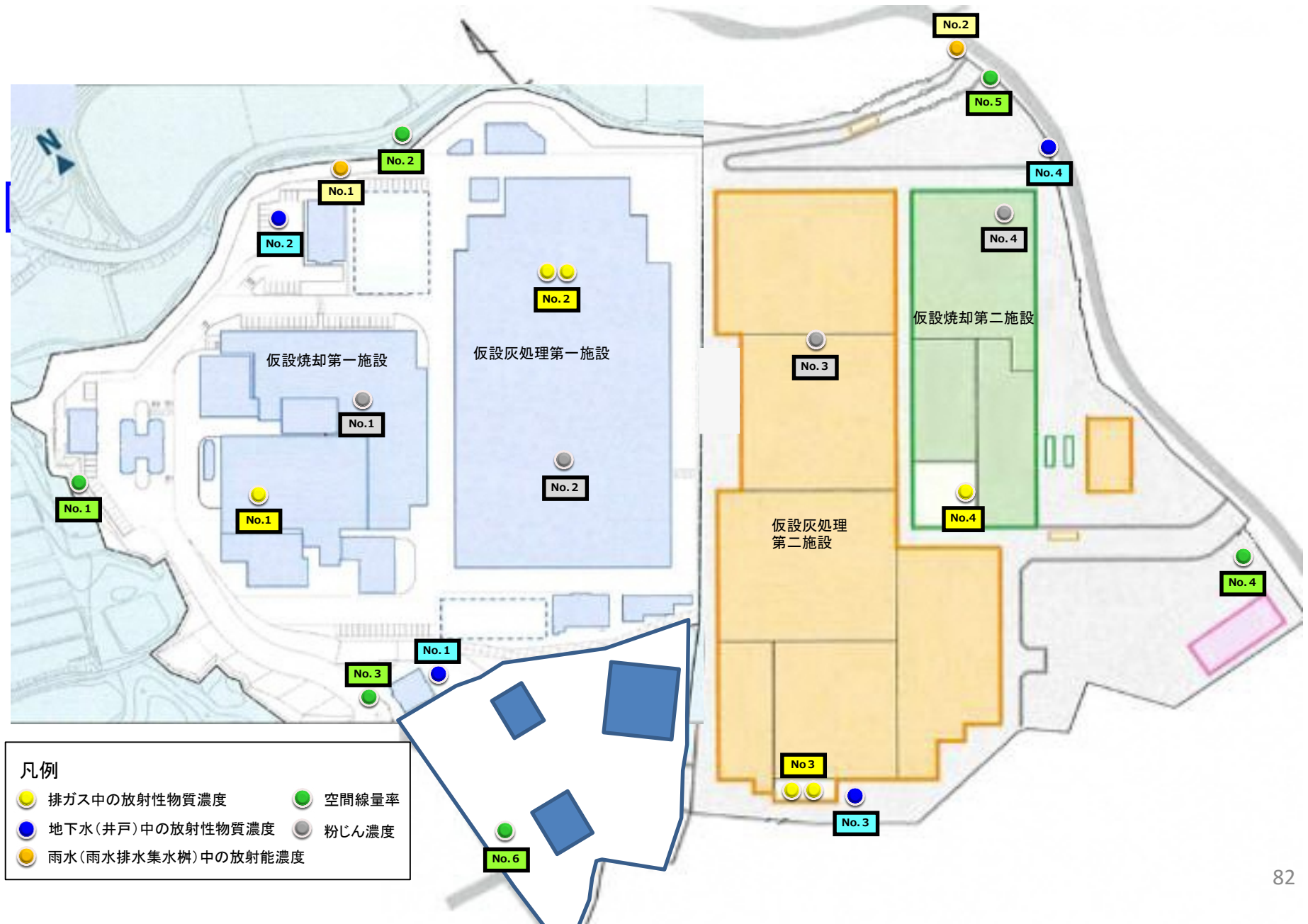
測定地点	放射能濃度 (Bq/L)	
No.1	2020/7～ 2021/2	ND
No.2	2020/7～ 2021/2	ND

検出下限値: 1Bq/L
NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

● 空間線量率

測定地点	空間線量率 (μ Sv/h)	
No.1	稼働前(2017/12/1～11)	4.41 ～ 4.60
	2020/7～ 2021/2	2.63 ～ 3.05
No.2	稼働前(2017/12/1～11)	4.41 ～ 4.63
	2020/7～ 2021/2	2.83 ～ 3.27
No.3	稼働前(2017/12/1～11)	2.05 ～ 2.21
	2020/7～ 2021/2	1.03 ～ 1.23
No.4	稼働前(2017/12/1～11)	0.61 ～ 1.10
	2020/7～ 2021/2	0.34 ～ 0.39
No.5	稼働前(2017/12/1～11)	0.93 ～ 1.11
	2020/7～ 2021/2	0.39 ～ 0.51

双葉町仮設処理施設のモニタリング測定地点



双葉町仮設処理施設のモニタリング測定結果

● 排ガス

測定地点	放射能濃度(Bq/m ³ N)	
煙突測定口 No.1	2020/7~2021/2	ND
煙突測定口 No.2	2020/7~2021/2	ND
煙突測定口 No.3	2020/7~2021/2	ND
煙突測定口 No.4	2020/7~2021/2	ND

検出下限値: 4Bq/m³N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

● 粉じん

測定地点	粉じん濃度(mg/m ³)	
受入ヤード No.1焼却	2020/7~2021/2	0.27~1.31
受入ヤード破砕機 近傍 No.1灰処理	2020/7~2021/2	0.01~0.24
受入ヤード破砕機 近傍 No.2焼却	2020/7~2021/2	0.24~3.10
受入ヤード破砕機 近傍 No.2灰処理	2020/7~2021/2	0.11~0.42

● 雨水

測定地点	放射能濃度(Bq/L)	
No.1	2020/7~2021/2	ND
No.2	2020/7~2021/2	ND

検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

● 地下水

測定地点	放射能濃度(Bq/L)	
No.1	2020/7~2021/2	ND
No.2	2020/7~2021/2	ND
No.3	2020/7~2021/2	ND
No.4	2020/7~2021/2	ND

検出下限値: 1Bq/L

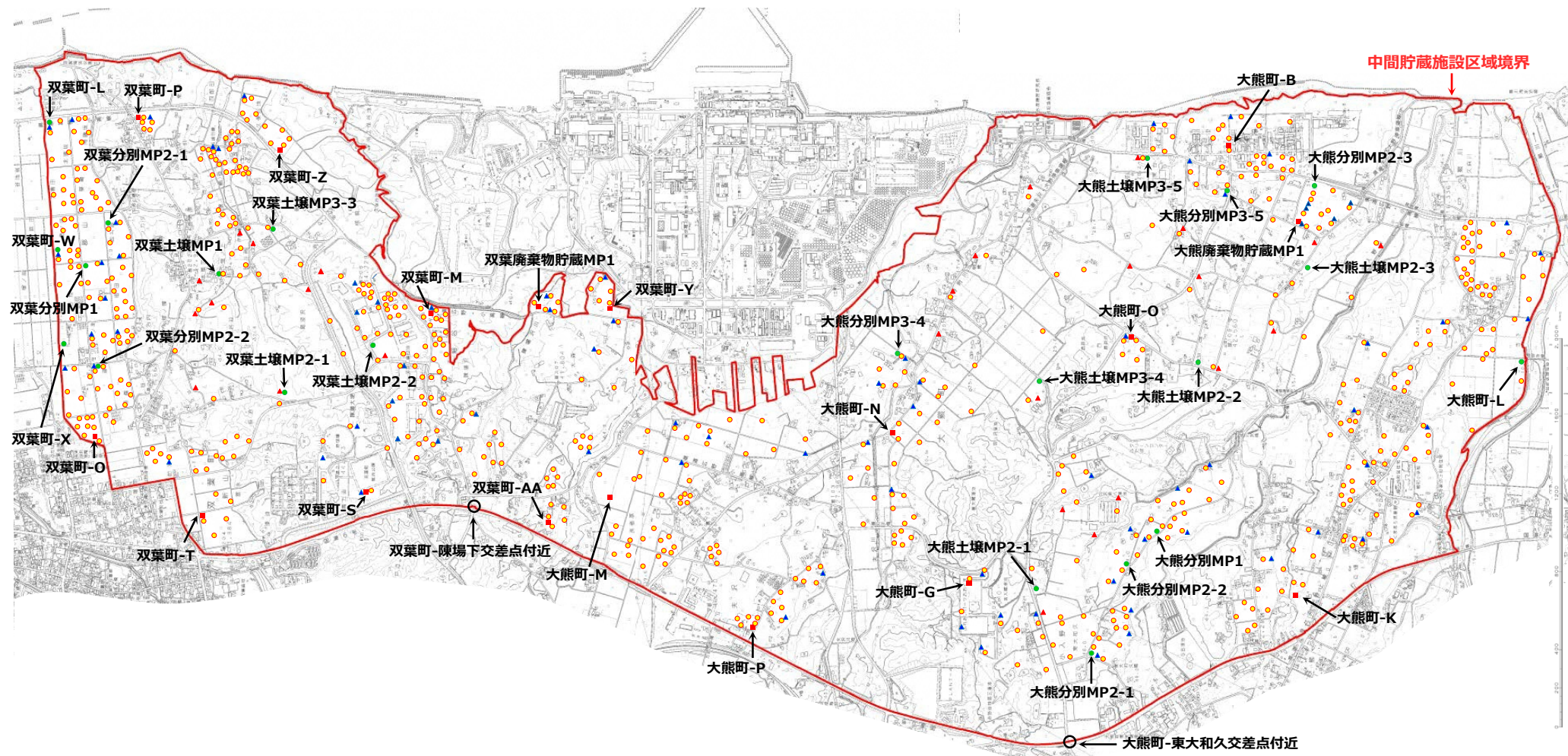
NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

● 空間線量率

測定地点	放射線量(μSv/h)	
MP No.1	稼働前(2020/1/16~24)	0.17 ~ 0.22
	2020/7~2021/2	0.15 ~ 0.18
MP No.2	稼働前(2020/1/16~24)	0.13 ~ 0.17
	2020/7~2021/2	0.13 ~ 0.15
MP No.3	稼働前(2020/1/16~24)	0.20 ~ 0.26
	2020/7~2021/2	0.17 ~ 0.20
MP No.4	稼働前(2020/3/1~3/26)	0.38 ~ 0.43
	2020/7~2021/2	0.34 ~ 0.40
MP No.5	稼働前(2020/3/1~3/26)	0.38 ~ 0.42
	2020/7~2021/2	0.34 ~ 0.40
MP No.6	稼働前(2020/3/1~3/26)	0.19 ~ 0.20
	2020/7~2021/2	0.13 ~ 0.17

中間貯蔵施設区域におけるモニタリング結果

中間貯蔵施設区域における放射線モニタリング位置図

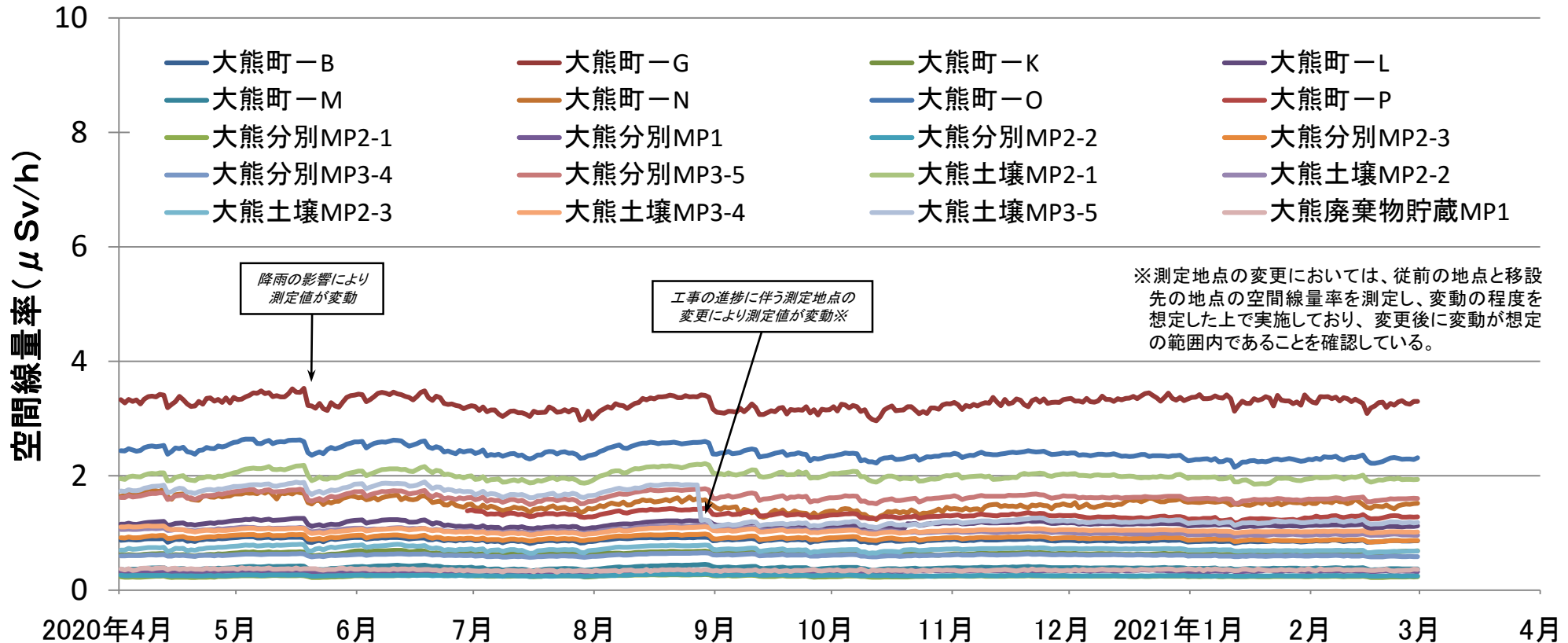


【凡例】

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------------|
| ● 空間線量率測定地点 (リアルタイムデータ自動送信) | ▲ 地下水中放射能濃度測定地点 (月次測定) |
| ■ 空間線量率測定地点 (連続測定週次データ回収) | ▲ 地下水中放射能濃度測定地点 (週次測定) |
| ● 空間線量率測定地点 (週次測定) | ○ 大気中放射能濃度、空間線量率測定地点 (リアルタイムデータ自動送信) |

空間線量率及び地下水中の放射能濃度の測定結果（大熊町）

- モニタリングの地点数（連続測定20箇所、週次測定340箇所）で空間線量率の測定を行っている
- モニタリングの結果（空間線量率は、0.18～9.84 $\mu\text{Sv/h}$ の範囲であり、降雨・積雪、工事の進捗に伴う周辺の線量低減、測定地点の変更等による変動が見られたが、除去土壌等の保管、処理、貯蔵等による周辺への影響は見られなかった）

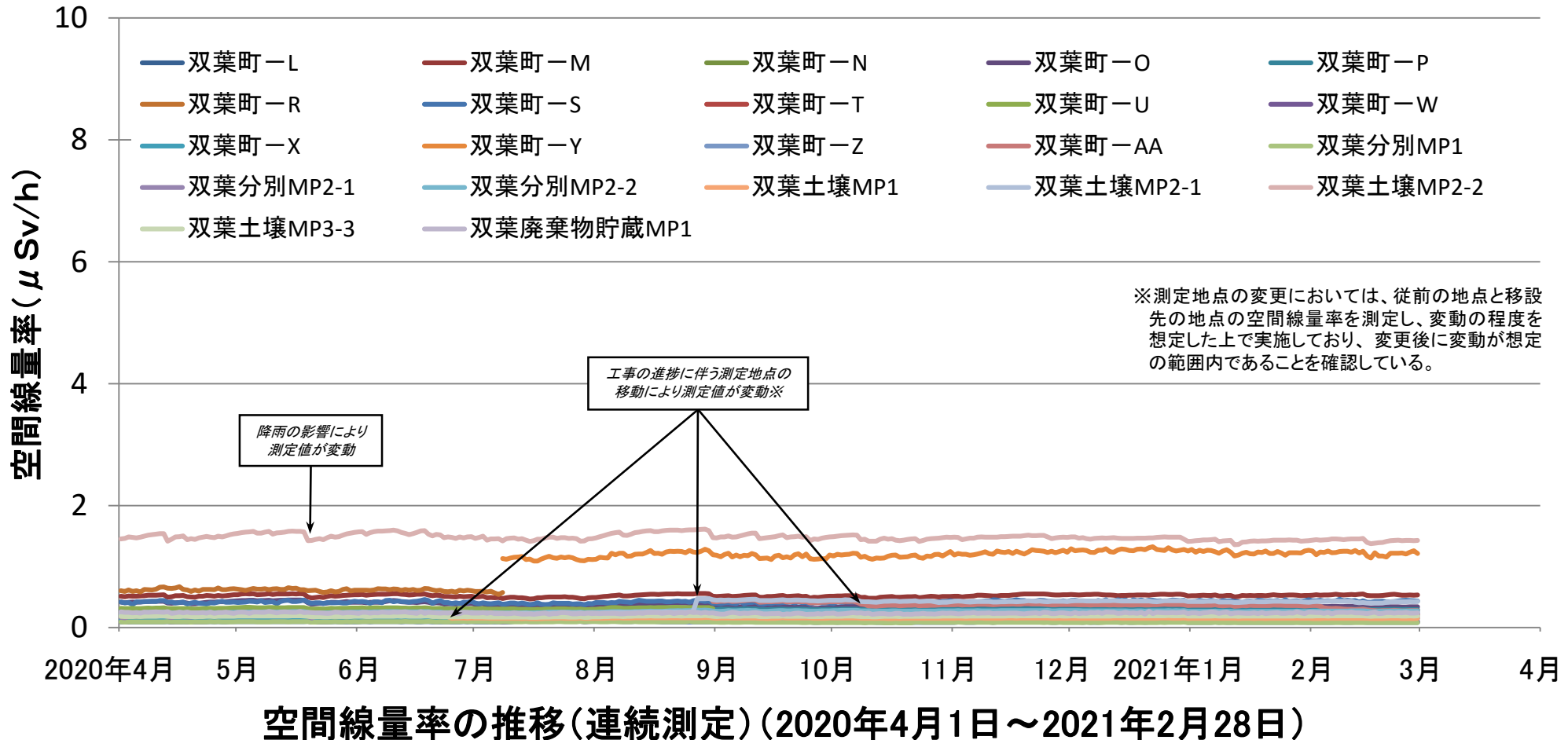


空間線量率の推移（連続測定）（2020年4月1日～2021年2月28日）

- 地下水中の放射能濃度は、全て検出下限値（1Bq/L）未満であることを確認した。

空間線量率及び地下水中の放射能濃度の測定結果（双葉町）

- モニタリングの地点数（連続測定22箇所、週次測定301箇所）で空間線量率の測定を行っている
- モニタリングの結果（空間線量率は、 $0.07 \sim 6.45 \mu\text{Sv/h}$ の範囲であり、降雨・積雪、工事の進捗に伴う周辺の線量低減、測定地点の変更等による変動が見られたが、除去土壌等の保管、処理、貯蔵等による周辺への影響は見られなかった）



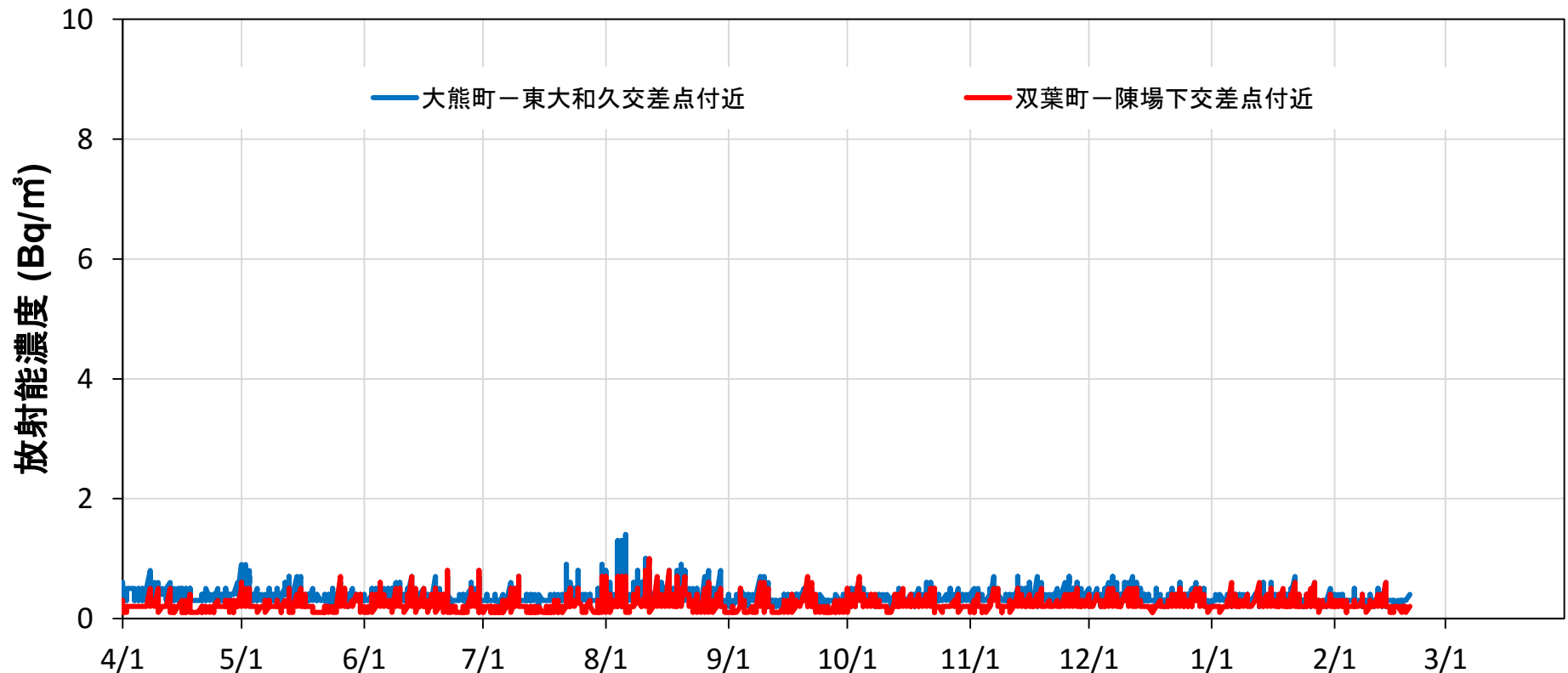
- 地下水中の放射能濃度は、全て検出下限値 (1Bq/L) 未満であることを確認した。

中間貯蔵施設区域境界における大気中放射能濃度の測定結果

○大気中放射能濃度は最大でもセシウム137が $4.26 \times 10^{-3} \text{Bq/m}^3$ (セシウム134は検出下限値未満)であり、濃度限度の7千分の1程度であった(測定頻度:週1回)。

※検出下限値は千分の 1Bq/m^3 程度、濃度限度はセシウム134濃度/20+セシウム137濃度/30 ≤ 1

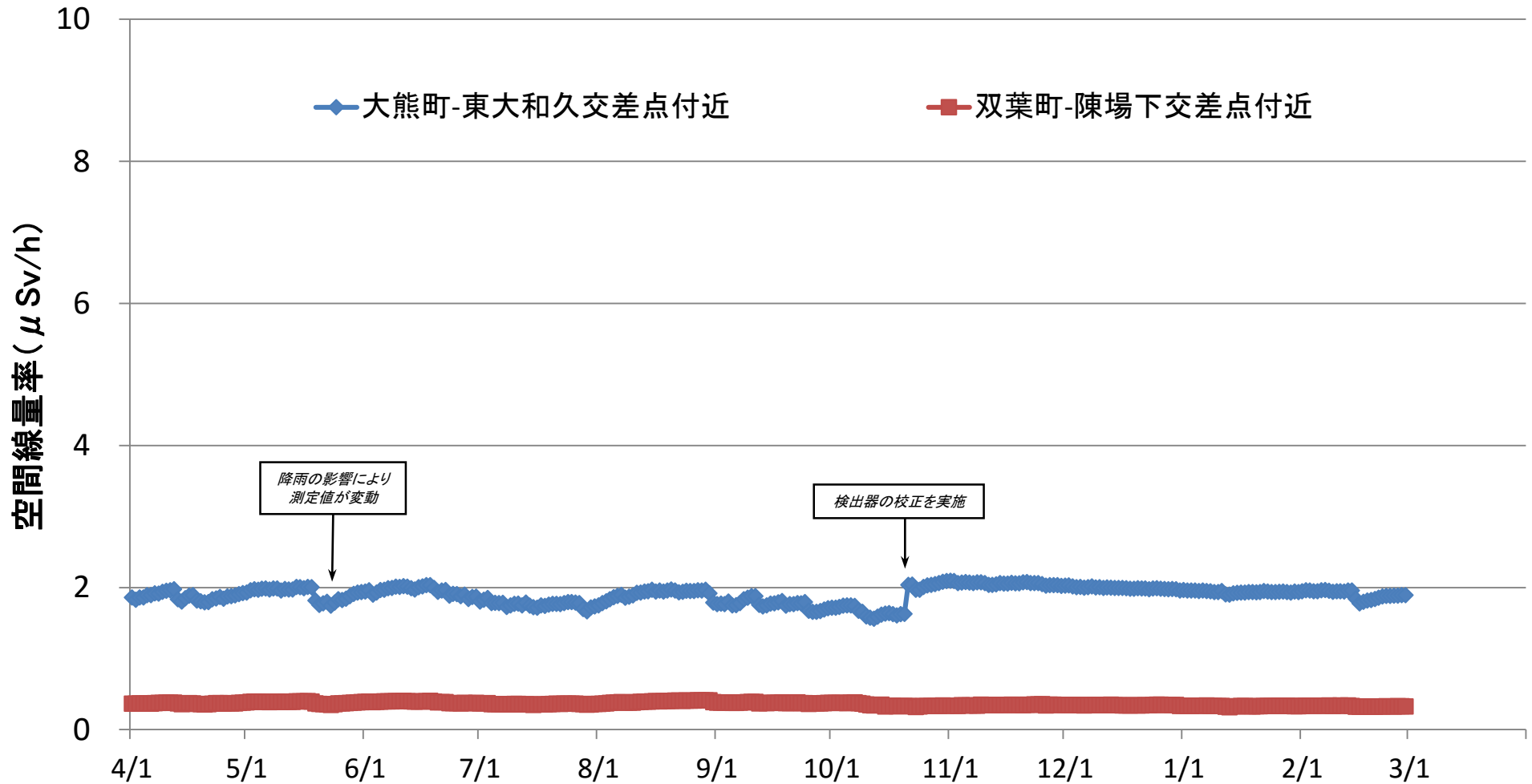
○放射能濃度の変化をより迅速に把握するため、 β 線の放射能濃度をリアルタイムに監視している。連続測定結果は下図のとおりであり、通常の変動の範囲内で推移している。



中間貯蔵施設区域境界における大気中の β 線の放射能濃度(連続測定)
(2020年4月1日~2021年2月19日)

中間貯蔵施設区域境界における空間線量率の測定結果（連続測定）

○ 区域境界における空間線量率は下図のとおりであり、通常の変動の範囲内で推移している。

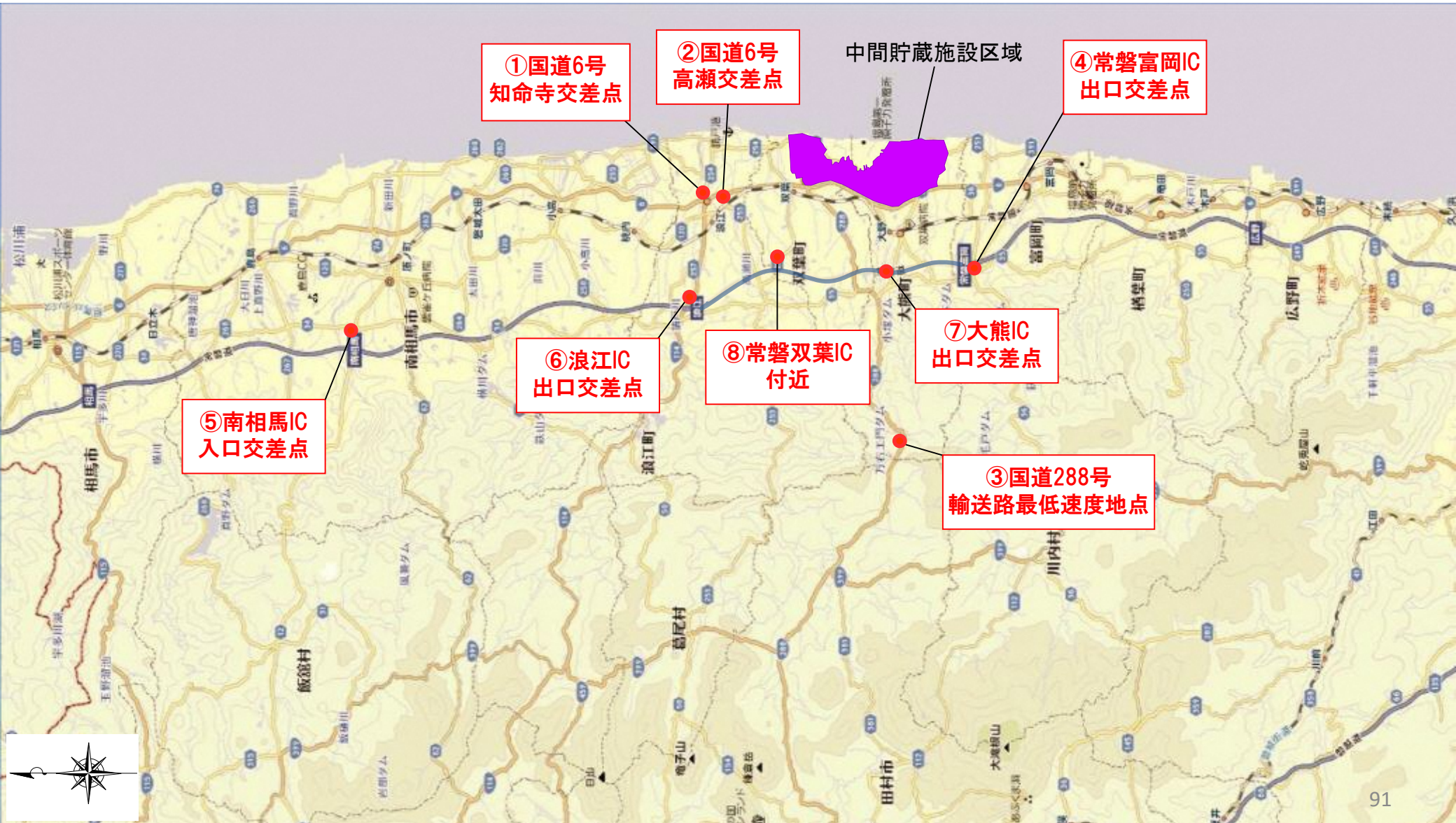


中間貯蔵施設区域境界における空間線量率の推移(連続測定)
(2020年4月1日～2021年2月28日)

輸送路における放射線量率の測定結果

輸送路における放射線量率の測定

- 輸送車両の通過地点のうち交差点や速度低下地点において、遮へい板付きの測定器を用いて周囲の放射線の影響を除去し、車道から歩道方向に入射する放射線量率の変化を測定している。



輸送路における放射線量率の測定結果

○ 輸送車両が通る時などに、数十秒間程度、平常時より高い放射線量率が観測される場合があったが、追加被ばく線量は十分に小さいことを確認した。

	当該地点を通過した輸送車両数 [台]	うち通過時に線量率の増加が観測されたもの [台] ^{※1}	(参考) 当該地点の空間線量率 [μ Sv/h]	(輸送車両通過時)		
				追加被ばく線量率 (瞬間最大値) [μ Sv/h] ^{※2}	線量率の増加が観測された時間 (累積) [分] ^{※2}	追加被ばく線量 (累積) [μ Sv]
①知命寺	18,121	406	0.11	0.05	71	0.02
②高瀬	22,375	2,066	0.15	0.16	601	0.3
③国道288	7,839	246	0.15	0.15	54	0.05
④常磐富岡IC	13,178	77	0.47	0.04	14	0.006
⑤南相馬IC	46,814	5,189	0.11	0.12	1,037	0.7
⑥浪江IC	12,633	2,685	0.30	0.21	839	0.9
⑦大熊IC	180,188	39	0.36	0.19	3.0	0.002
⑧常磐双葉IC	103,088	544	1.01	0.09	62	0.03

※1 各地点の放射線量率の測定結果について「測定期間の平均値+標準偏差の3倍」を超過した輸送車両数。

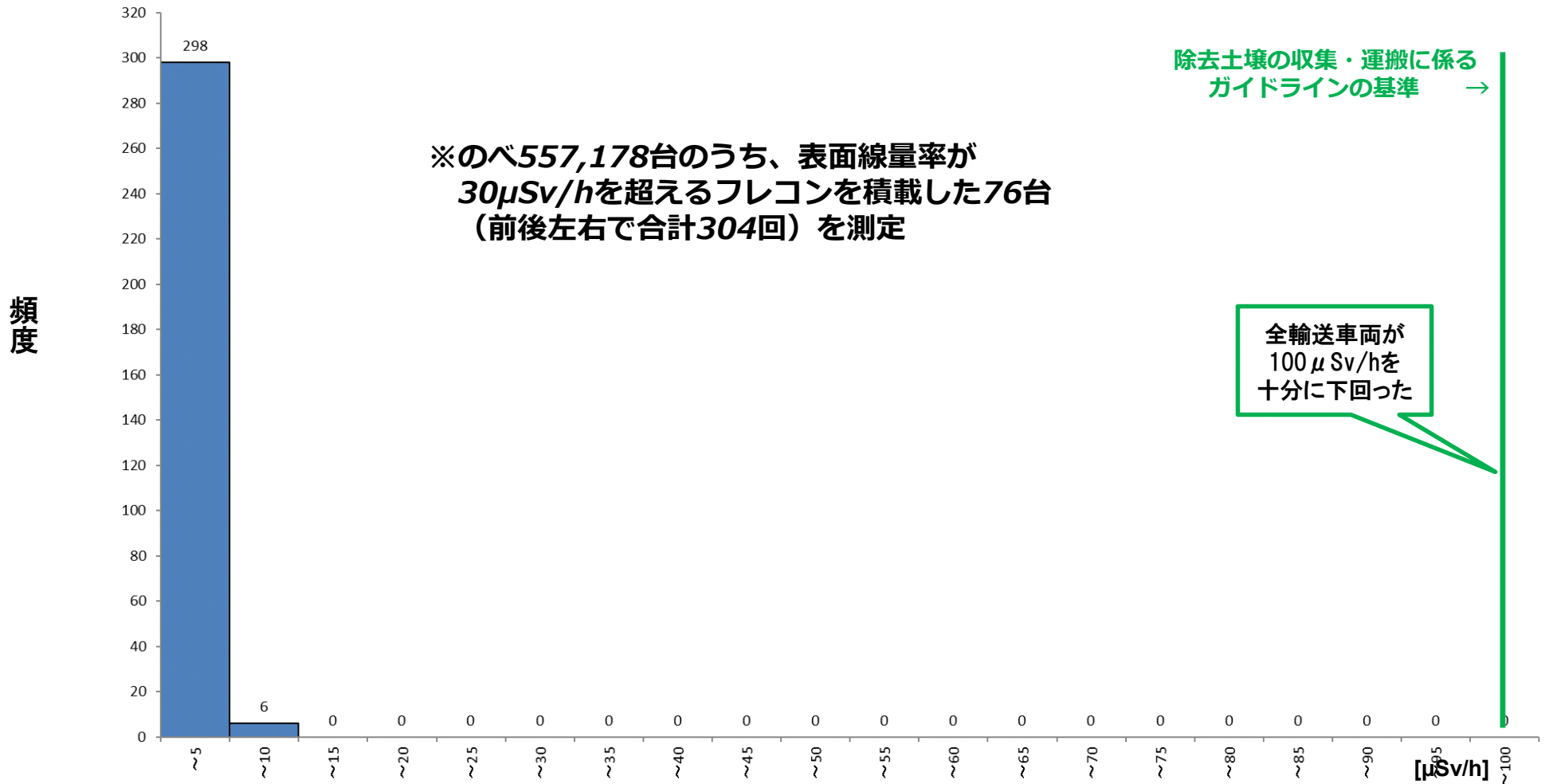
※2 測定は20秒単位。

輸送路における放射線量率の測定結果(2020年4月1日～2021年1月31日)

輸送車両のモニタリング結果

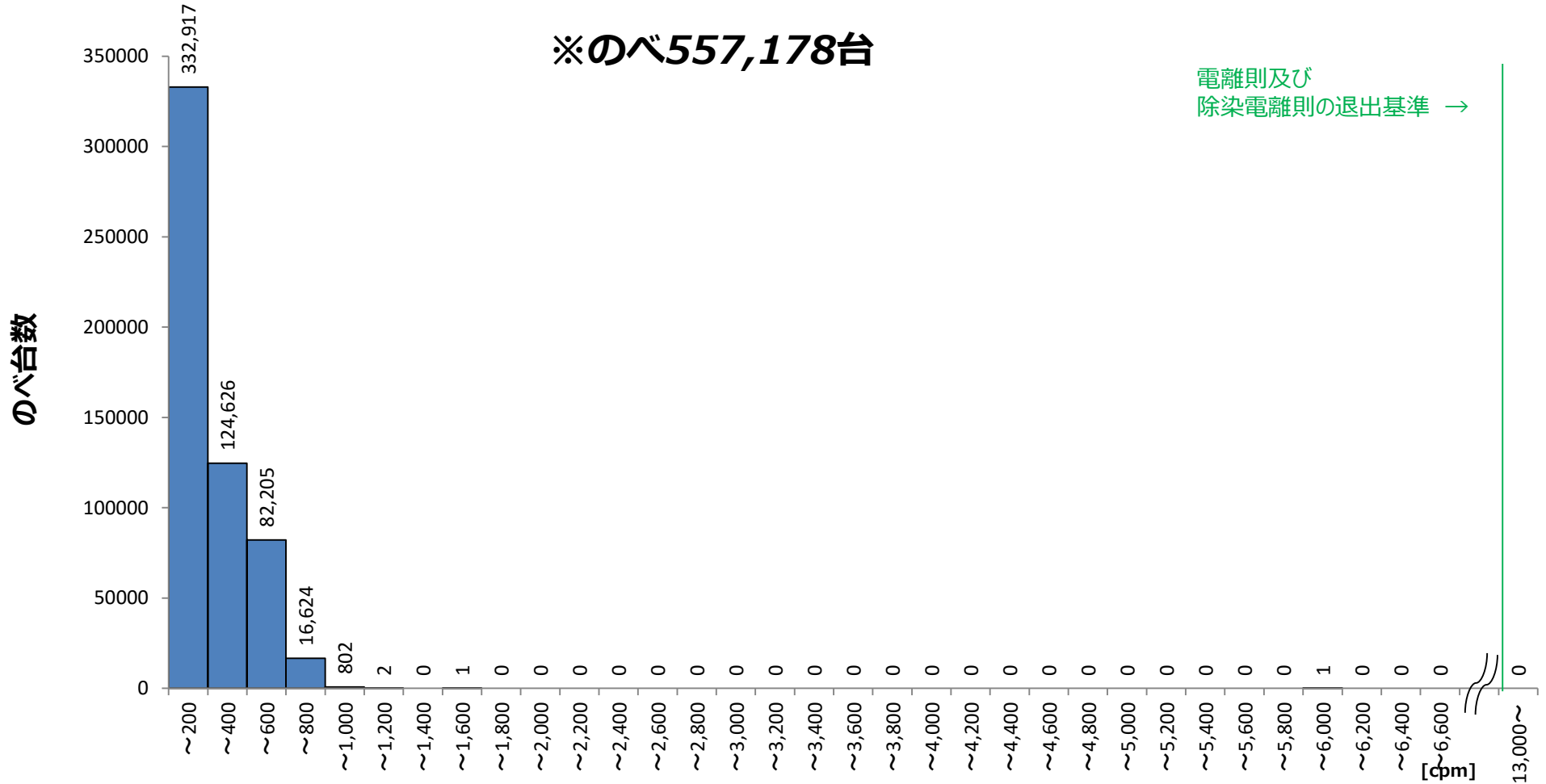
仮置場搬出時の輸送車両周辺の空間線量率の測定結果

○ 仮置場からの搬出時に、表面線量率が $30\mu\text{Sv/h}$ を超えるフレコンを積載した車両について、前後左右1メートル離れた地点で空間線量率を測定し、積載した除去土壌等による周辺への放射線の影響を確認している。



中間貯蔵施設退出時の輸送車両の表面汚染密度の測定結果

○ 中間貯蔵施設からの退出時に、除去土壌等を荷下ろしした輸送車両の汚染検査(スクリーニング)を行い、電離則及び除染電離則に定められた基準を超えていないことを確認している。



輸送車両のスクリーニング時の最大の表面汚染密度の分布(2020年4月1日~2021年2月28日)

※表面汚染密度の値はバックグラウンドを含むグロス値